

2003(平成15)年度

講義内容

仏教学部

人駒澤大學

講 義 内 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	21
(1)	人 文 分 野	21
(2)	社 会 分 野	39
(3)	自 然 分 野	48
(4)	総 合 分 野	71
3	外 国 語 科 目	91
4	保 健 体 育 科 目	205
II	専 門 教 育 科 目	249
III	他 学 部 履 修 科 目	315
IV	短 大 仏 教 科 開 設 科 目	395
V	「日本語」・「日本事情」科目	401
VI	随 意 科 目	415

全 学 共 通 科 目	宗教教育 科目
	人文分野
	社会分野
	自然分野
科 目	総合分野
	外国語科目
科 目	保健体育
	専門教育
履 修 科 目	他学部
開 設 科 目	短大仏教科
	「日本語」 「日本事情」
	随意科目

I 全学共通科目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (禅)	〈田 上 太 秀〉	9
仏教と人間 (仏)	〈長谷部 八 朗〉	9
仏教と人間 [再クラス]	〈熊 本 英 人〉	9
仏教と人間 [再クラス]	〈木 村 誠 司〉	10
仏教と人間 [再クラス]	〈吉 津 宜 英〉	10
仏教と人間 [再クラス]	〈晴 山 俊 英〉	11
文 化 と 宗 教	〈長谷部 八 朗〉	11
社 会 と 宗 教	〈池 上 良 正〉	12
自 然 と 宗 教	〈小 川 順 敬〉	12
坐 禅	〈熊本 英人・木村 誠治〉	13

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	田 ^た 上 ^{がみ} 太 ^{たい} 秀 ^{しゅう}	禅1必	4

講義のねらい	禅学科の学生対象であるので、禅思想の流れをインド・中国・日本にわたって講ずる
履修上の留意点	出席カードを配り、出欠を取る。また、夏期休暇中、宿題を与え、レポートを作成させ成績点の一部に加える。
成績評価の方法	レポート・期末テスト・出欠点の三つを合して評価する。
教科書	田上太秀著『禅の思想』東京書籍刊 1,429 円
参考書等	田上太秀著『禅語散策』（東書選書 104）東京書籍刊 1,000 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	長 ^は 谷 ^せ 部 ^べ 八 ^{はち} 朗 ^{ろう}	仏教1必	4

講義のねらい	仏教の教えや我が国の歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教さらには宗教の意義を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。 後期には、日本仏教に着目し、空海、道元、日蓮、親鸞ほか、主に平安から鎌倉期にかけての仏教諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。
成績評価の方法	成績評価の仕方は未定だが、授業で1、2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。
教科書	使用しない。
参考書等	授業の中で、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 [再クラス]	熊 ^{くま} 本 ^{もと} 英 ^{えい} 人 ^{にん}	全学科2・3・4年	4

講義のねらい	日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。
講義の内容・授業スケジュール	仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。 仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。
成績評価の方法	年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	木 村 誠 司 <small>きむら せいじ</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	吉 津 宜 英 <small>よしづ よしひで</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教 科 書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参 考 書 等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 と 宗 教	は せ べ は ち ろ う 長谷部 八 朗	禅・仏教選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 と 宗 教	いげ がみ よし まさ 池 上 良 正	禅・仏教選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	お がわ とし ゆき 小 川 順 敬	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅 (前期)(後期)	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	禅・仏教選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を振り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え増やしたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13 「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

科
目
宗
教
教
育

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックス B の頁を参照してください。(→P. 495)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	[日本文学「近代」]	〈渡邊重人〉	21
歴史学	[西洋近現代史]	〈渡辺知〉	21
芸術学(1)	[日本美術]	〈北野良枝〉	22
芸術学(2)	[西洋美術]	〈矢野陽子〉	22
芸術学(3)	[音楽]	〈赤羽由規子〉	22
哲学	[近代の人間観と世界観]	〈麻生享志〉	23
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈河谷淳〉	23
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈山口祐弘〉	24
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	24
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	25
科学史	[近代科学の成立と展開]	〈小宮山隆〉	25
倫理学(1)	[人間観]	〈古田知章〉	26
倫理学(2)	[応用倫理学]	〈黒崎剛〉	26
倫理学(3)	[価値観]	〈滝沢正之〉	27
倫理学(4)	[応用倫理学]	〈箭野浩司〉	27
倫理学(5)	[制度とモラル]	〈滝口清栄〉	28
倫理学(6)	[東洋倫理]	〈末木恭彦〉	28
宗教学(1)	[比較宗教文化]	〈池上良正〉	29
宗教学(2)	[聖と俗]	〈田中かの子〉	29
宗教学(3)	[思想と儀礼]	〈小川順敬〉	30
宗教学(4)	[組織と運動]	〈洗建〉	30
人文地理学(1)	[風土と文化]	〈竹林和彦〉	31
人文地理学(2)	[風土と文化]	〈高橋健太郎〉	31
人文地理学(3)	[空間と行動]	〈山口太郎〉	32
人文地理学(4)	[空間と行動]	〈伊藤修一〉	33
教育の思想		〈豊田千代子〉	34
教育の思想		〈北村三子〉	35
教育と社会		〈豊田千代子〉	35
教育と社会		〈北村三子〉	36
発達と学習の心理学		〈大浜幾久子〉	36
発達と学習の心理学		〈角野善司〉	37
カリキュラムと学習		〈大浜幾久子〉	37
カリキュラムと学習		〈角野善司〉	38

(2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳 三〉	39
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康 慈〉	39
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉 井 純 一〉	40
法学・憲法〔法 と 国 家〕	〈佐 藤 多美夫〉	41
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈西 修〉	42
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈富 崎 隆〉	43
経済学〔現代経済と人間〕	〈瀬戸岡 紘〉	44
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石 雄 爾〉	45
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	46
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	47

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	48
地球科学〔地球システムと人間圏〕〈澤口隆〉	49
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真理〉	50
自然環境論〔環境と保全〕〈古藤田一雄〉	51
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—〈山縣毅〉	52
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真理・山縣毅〉	53
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	54
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	54
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	55
情報数学〔情報と論理〕〈上原隆平〉	55
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	56
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真理〉	57
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	57
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕〈小沢誠〉	58
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	59
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	60
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕〈竹田洋一〉	60
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕〈上原隆平〉	61
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈竹田洋一〉	62
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈小沢誠〉	63
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈山本博信〉	64
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈長坂浩史〉	65
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈小川健次郎〉	67
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈上原隆平〉	68
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈遠藤万里〉	68
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈高橋良博〉	69
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—〈堀内正彦〉	70

(4) 総合分野

総合Ⅰ	〈 休 講 〉	
総合Ⅱ	〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	
	〈清水善和・上原隆平・漆原和子・小沢 誠・小高昭一 篠原正雄・橋詰直道・持丸真里・柳澤紀夫・山縣 毅〉	71
総合Ⅲ(1)	〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D.M.〉 72
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡 崎 寿一郎〉 73
総合Ⅲ(3)	〔スペイン語圏文化の諸相〕	〈上 野 勝 広〉 74
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明 人〉 74
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小 哲 雄〉 75
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川 股 陽太郎〉 76
総合Ⅵ(1)	〔民族とは何か〕	〈大 野 祐 二〉 77
総合Ⅵ(2)	〔イスラム〕	〈吉 田 京 子〉 77
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早 川 紀 代〉 78
総合Ⅶ(1)	〔トラブルと法的解決〕	
	〈北野かほる・王志安・小木曾綾・佐藤多美夫・塩入みほも・西修〉	79
総合Ⅶ(2)	〔都市論〕	
	〈早川純貴・浦田早苗・品田知美・中野裕二・保坂尚郎〉	80
総合Ⅶ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	わた なべ しげ と 渡 邊 重 人	禅・仏教選	4

講義のねらい

近代小説の表現形式やサブジャンルの形成を検討することを通じて、わたしたちの《読む》行為におけるさまざまなバイアスについて考察し、履修者のリテラシーを高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 小説のジャンル認定—わたしたちは何を小説と呼ぶのか—
- 2 小説と物語—読者は小説を読むのか？物語を読むのか？—
- 3 三人称小説と一人称小説—錯綜する作者／語り手／読者—
- 4 小説とジェンダー—《読む》行為と性差—
- 5 小説のサブジャンル—商品としての小説—
- 6 表象文化における小説の位置付け—他の文化装置との比較—

履修上の留意点

出席については履修者も自己管理すること。

成績評価の方法

レポート・小レポート・出席状況・授業に対する積極性等を総合して評価する。詳細については第1回の授業時において説明する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

その他

講義中心であるが、希望者がいる場合、履修者による研究発表や討論の実施に時間を割いてもよいと考えている

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴 史 学 〔西洋近現代史〕	わた なべ ちか 渡 邊 知	禅・仏教選	4

講義のねらい

ヨーロッパの近現代の歩みを世界システム論の観点から見て行くこととします。ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、又、過去の出来事が現在の社会にいかに関わりつづいたのか、あるいは、一地域の動向がその他の地域の動向といかに密接に関わりつづいているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様な捉え方を合わせて提示できればと希望しています。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ諸国が15世紀頃より積極的にヨーロッパ外に進出した結果、ヨーロッパとアフリカ大陸、アメリカ大陸を結ぶ大西洋システムが成立しました。このシステムは、18世紀の末から19世紀初にかけておきた一連の事件（アメリカの独立、産業革命、フランス革命、ハイチ革命など）を通じて、世界へと拡大していきます。授業ではその過程を追いつつ、その意味を考えていくこととします。

成績評価の方法

講義の区切りに提出してもらう講義内容をまとめたミニレポートを平常点とし、学年末の試験と総合して評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	禅・仏教選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は室町から桃山まで、後期は江戸時代を扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

そ の 他

毎回スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (2) 〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	禅・仏教選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教 科 書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業では毎回スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (3) 〔音楽〕	あかほゆきこ 赤羽由規子	禅・仏教選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教 科 書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	あさし 麻生 享志	禅・仏教選	4

講義のねらい

どういふものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いです。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われますが、それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものでしょう。しかしそのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもありません。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したいと考えています。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明します。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっています。ですから、過去に行われた議論を紹介するだけでなく、講義を聞く諸君一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示します。

講義の内容・授業スケジュール

主な話題として、プラグマティズム・分析哲学・経験論と合理論・ドイツ観念論・生の哲学などを考えています。また、西洋近現代にきちんと限定するようなことにはせず、古代や東洋思想にも言及する予定です。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めることが決定的に重要。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない、と考えています。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明します。

成績評価の方法

前期・後期試験・レポート2種（前期試験に提出するものと、9月末提出）を中心とし、平常点（出席）を加味して成績を評価します。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、その都度、講義の中で丁寧に紹介します。積極的に、自分で選択し、精力的に読書する姿勢を期待しています。

その他

多少は指名して対話するかもしれませんが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎です。初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンスが済んだら、雑談の内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）

この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわたに 河谷 淳	禅・仏教選	4

講義のねらい

日常において私たちがまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこでは思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気なく発せられた単発の文（命題）にしても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした「流れ」の妥当な形式とは何かを考える学だということができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらにそれを身につける訓練をつむことにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
前期：(a) 論理学の基本概念 (b) 演繹推理（三段論法）(c) 帰納推理
後期：(d) 命題論理 (e) 述語論理

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出欠の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい	伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。		
講義の内容・授業スケジュール	【前期】 1. 論理学とは何か 2. 思考の原理 3. 同一性と同一律 4. 関係の思想 5. 対立と矛盾 6. 矛盾の概念 7. 判断論 8. 無限判断 9. 二律背反 10. 弁証論 11. 無限性の思想 12. 論理思想の比較	【後期】 1. 記号論理学の基本思想 2. 真理関数 3. 標準形 4. 公理体系 5. 定理の演繹 6. 同 7. 同 8. 体系の条件 9. 述語論理学 10. 無矛盾性、完全性、決定問題 11. 伝統的論理学との対応 12. 三段論法の基礎付け	
履修上の留意点	出席を重視する。		
成績評価の方法	テストによる。		
教科書	『論理学概論』（岩波書店）		
参考書等	『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）		

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	野 浩 司 <small>の ひろし</small>	全学科選	4

講義のねらい	日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。 この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、特に話すことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。		
講義の内容・授業スケジュール	思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、司会術、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。		
履修上の留意点	単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。		
成績評価の方法	中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。		
教科書	開講時に指定する。		
参考書等	その都度紹介する。		

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこな まさる 伊古田 理	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつと指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	禅・仏教選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。
そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等もちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	かる た とも あき 古 田 知 章	全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くる さき つよし 黒 崎 剛	全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のもののみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験(レポート)、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たき さわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	全学科選	4

講義のねらい

現代倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、善い悪いというものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。人は殺してはいけない、とよく言うが、死刑はあるし、戦争もある。
また、何かについて「善い」とか「悪い」とか述べたときに、我々は何をやっているのだろうか。少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。
そこで、善悪についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

現代倫理学の主要なトピックを体系的に紹介する。具体的には、まず、契約論、カント主義、功利主義など、規範倫理の学説を解説する。その後、道徳の本性についてのメタ倫理的な考察に移行する。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	や の ひろ し 箭 野 浩 司	全学科選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の〈応用〉という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシュミレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合って、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口清栄 <small>たきぐち きよ せい</small>	全学科選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	末木恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の間で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知るとは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆかかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみ よし まさ 池 上 良 正	全学科選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	たなか のこ 田 中 かの子	全学科選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. プロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	お 小 川 順 敬 おがわ としゆま	全学科選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい けん 建 あらい けん	全学科選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実 に即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけばやし かず ひこ 竹林 和彦	禅・仏教選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験 80%、平常点 20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか ぼし けん たろう 高橋 健太郎	禅・仏教選	4

講義のねらい

文化や風土などを地域社会と関連づけて理解するという、人文地理学の基本概念について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかにか重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。①人文地理学の位置づけ、②文化領域、③文化伝播、④文化生態、⑤文化景観、⑥認知地図、⑦風土、⑧生活様式、⑨居住、⑩風水、⑪言語、⑫民族、⑬宗教・巡礼、⑭観光、⑮ジェンダー、⑯中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、定期試験の結果にレポートの提出状況を加味して採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口 太郎	禅・仏教選	4

講義のねらい

空間（本講義では主に都市空間を取り上げる）における実践のなかで、人文地理学的知を通じて、人文地理学的事象を見出し、あるいは感じ、理解することを目的とする。空間に生きる人々や、その空間に関係する他者（特に観察者）の行動や振舞い方を理解し、考えることに主軸をおく。

具体的には1年間かけて、以下の3点について習得してほしい。

- 1) 都市（事例として主に東京を対象とする）を観察し、記録するメソッド
- 2) 人文地理学の研究手法のうち、特に知覚、行動に関する研究手法
- 3) 空間を理解する方法のひとつとしての景観観察法と、空間における実践としてのまちづくりの事例（国内各地の事例を紹介する）

講義の内容・授業スケジュール

- I インTRODクシヨン
- II 都市を観察し、記録するメソッド
 1. 先達により観察され、記録された東京
例) 小田内通敏、今和次郎、石井實、川本三郎、陣内秀信、路上観察学会、泉麻人、三浦展
 2. 人文地理学における研究手法
時間地理学、認知地図、近代歴史地理学的史料分析、テキスト分析、居住環境評価、フィールドワーク
- III 景観論の系譜と観察方法
 1. 景観行政の系譜 2. 景観の考え方 3. 景観観察方法
- IV まちづくり実践の事例紹介
 1. 歴史的町並みの事例 2. 市街地再開発の事例 3. 現在のまちづくりの潮流

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期、後期に行う試験によって評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）

その他

地理的知識を取り扱う学問は、現在狭義の地理学のみではない。そのため本講義では隣接分野の研究成果も多く取り上げる。広く都市論に興味を持って欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

日常生活の身近な事象の中にも、規則性や一般性が認められることが少なくない。このような事象を地理学ではどのように捉えているのだろうか？講義では、それらを人文地理学の研究成果を踏まえて紹介する。地理学の基本的な理論や考え方についての解説を通して、空間的な見方や考え方の理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

特に都市の人文社会的事象に関して、都市と人間活動の相互作用に注目して概説する。前期には、都市空間とその変容についてみていく。具体的には、(1) 都市の分布と立地、(2) 都市システムと都市機能の変化、(3) 都市構造の変化、(4) 都市の生活環境と行動、後期には、おもにその変容のメカニズムをみる。具体的には、(1) 人口変動と分布・人口移動、(2) グローバル化、(3) 産業立地・モビリティ、(4) 都市空間における知覚・認知、といったテーマを予定している。

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。

成績評価の方法

出席状況と試験の結果から評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

文献などについては適宜講義のなかで紹介する。
なお、高校で使用したものなどでかまわないが、地図帳を準備することが望ましい。

その他

原則として、授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前期)	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点とレポートにより成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周回的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよたちよこ 豊田千代子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点とレポートにより成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの 角野 ぜんじ 善司	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習、および教育評価に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたってのヒントにしてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講を希望する人は受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めません。ですから、欠席すればもちろんのこと、出席していても講義をしっかりと聴いていなければ、単位取得が難しくなります。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大浜 幾久子	12年度以降入学生/禅・仏教2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	すみ 角の ぜん 野善 じ 司	12年度以降入学生/禅仏教2選	2

講義のねらい	この科目では、カリキュラム編成を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。自分が受けてきた教育がどのようなカリキュラムに則って行われていたのかを省みつつ、これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。
履修上の留意点	この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講を希望する人は受講してください。
成績評価の方法	免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数 ^の 半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めません。ですから、欠席すればもちろんのこと、出席していても講義をしっかり聴いていなければ、単位取得が難しくなります。
教科書	『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領解説 総則編』 講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。
参考書等	講義の進行に合わせて、適時紹介します。
その他	前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	呉 炳 三 <small>お びよん さん</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計②標本空間と確率③確率変数と確率分布④母集団と標本⑤推定⑥検定⑦相関⑧帰帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を総合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	<small>すぎ い じゆん いち</small> 杉 井 純 一	禅・仏教選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と人間
 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. 儀礼の構造
 3. 儀礼・神話・世界観
 4. 神聖王権
 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

その他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	さ とう た み お 佐 藤 多 美 夫	禅・仏教選	4

講義のねらい

1. 近代憲法の思想史のなかの日本国憲法の位置を考える。
2. 日本国憲法の構造を人権の視点から考える。
3. 判例を材料として、日本国憲法の姿を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 憲法の内容
2. 憲法の歴史
3. 日本国憲法の特徴
4. 人権と憲法
5. 人権の種類①～③
6. 人権規定の効力①～③
7. 人権と政治機構①～⑦
8. 人権と裁判①～⑤
9. 思想と人権①～④
10. 教育と人権
11. 宗教と人権
12. 生存と人権
13. 刑事手続と人権①～③
14. 平和と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参 考 書 等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	にし 西 おさむ 修	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

何年前かに発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

教科書

開講時に指示。

その他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	とみ さき たかし 富 崎 隆	禅・仏教選	4

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがある。米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったとする論者は多い。しかし、世界政治の方向性がはっきりとしている訳ではない。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通している。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できない。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となる。政治学を学ぶ基本的な意義もここにある。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したい。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれる。講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたい。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治と政治学にどのように影響を与えるかについても検討していきたい。

社会分野

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ政治学－国家と自由民主主義体制の枠組み－
 1. 政治・権力・国家の意味
 2. 望ましい「国家」のあり方（1）；国家の仕事の範囲
 3. 望ましい「国家」のあり方（2）；国家の運営方法
 4. 自由民主主義体制の意味
 5. 民主化と体制変動
 6. 自由民主主義体制の比較枠組み
- II ミクロ政治学－自由民主主義体制の作動メカニズム－
 1. 政党と政党制
 2. 有権者の投票行動と選挙
 3. 官僚制と議会
 4. 利益集団とマスメディア
 5. 中央地方関係
- III 国際政治学
 1. 国際政治の意味
 2. 国際政治の主要理論潮流
 3. 日本の外交政策
 4. 冷戦後の世界政治展開をみる新視点

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

青木・大谷・中邨編『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』（芦書房）2001年

参考書等

適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代経済のしくみを概観し、あわせて現代経済の諸現象を人間の目をとおしてながめてみます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容として以下を予定していますが、受講者の希望により随時追加・割愛します。
 《前期》現代経済の基本的なしくみ：◇資本主義経済のしくみ、◇資本主義の前史、◇等価交換のもとで利潤はなぜ生まれるか、◇価格のメカニズム、◇なぜ違う先進国と後進国の価格格差、◇景気循環のメカニズム、◇技術革新と構造的転換、◇経済学という学問をつくった（そだてた）人びと、など
 《後期》人間の目をとおして現代経済をながめる：◇制度と人間——人間にとって大切なものは人間そのもの、◇要らないものまで欲しがらる——働きすぎの構図、◇クルマ社会の問題点、◇戦争と経済◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済、◇食料と資源、◇適度な規制かそれとも自由と規制緩和か、◇いつおこってもおかしくない国際金融恐慌、など

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげます。毎回の講義では、まず、テーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

年間をとおして随時、受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。この平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のためまえから、再試験も実施いたしません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。日々のニュースとみなさんの周囲にあるさまざまな文献の全体が、いわばテキストです。よい文献などの紹介は随時いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	禅・仏教選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

社会分野

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウエーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 資本主義と民族
9. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても随時とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことで社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり すがこ 柳 堀 素雅子	禅・仏教選	4

講義のねらい

第二次世界大戦後、医学、医療はめざましい勢いで発達し、50年前には人類が考えもしなかったような問題が数多く出てきた。人工呼吸器の登場によって、呼吸停止しても心臓が動いている状態を作り出すことができるようになったし、脳が死んでも肉体は生きている「脳死」という状態も生み出された。このような複雑な状況を生み出してしまった現代に生きている我々は、医療の問題を単に医療関係者の問題としてだけでなく、患者ひとりひとりの重要な問題として受けとめざるをえない状況へと追い込まれている。人の死の迎え方をめぐって、医療者と患者や患者の家族の意見が対立したり、人それぞれの死生観によって死のあり方をめぐっての考え方が異なってくる。そのときに何を自らの思考の手引きにするのかは各人の努力によって、自分の考え方をはっきりさせていくしか方法がないことに気がつくはずである。

現代に生きる我々にとっての新しい「生と死」の考え方を探り出すことを目的として講義を進めていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療が、過去の死生観や思想によって解決できない問題を生み出したのはなぜか？
2. 新しい生命観は生み出されているのか
3. 科学技術時代の生と死とは？
4. 我々はどこへ行くのか？

履修上の留意点

講義中に私語をしたい人は、履修をしないでいただきたい。

成績評価の方法

総合的に評価する。
何回もレポートを提出してもらうので、レポートを提出したくない人は履修しない方がよいでしょう。

教科書

なし。

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義の他にビデオ、OHPを大量に使用します。時間があれば、グループディスカッションや全体の討論も行ないます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 (大学生の心理 教育臨床心理学の立場から)	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話できればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	禅・仏教選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
 - a. 地球の歴史・生命の起源
 - b. 生命の誕生
 - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
 - d. 植物の物質生産
 - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
 - f. 遷移——植物群落の世代交代
 - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
 - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
 - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質がつくる豊かな生活
 - b. ゴミ焼却とダイオキシン
 - c. ダイオキシン汚染
 - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・バイオテクノロジー
 - e. 遺伝子組み換え生物
 - f. クローンと動物工場
 - ・地球温暖化とエネルギー問題
 - g. 地球温暖化のメカニズム
 - h. 生態系におよぼす影響
 - i. 新エネルギー革命
 - j. 原子力利用の諸問題

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球システムと人間圏〕	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	禅・仏教選	4

講義のねらい

宇宙形成から150億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

成績評価の方法

出席状況（30%）、ノート提出（30%）、試験（40%）

教 科 書

使用しない。適宜プリントを配布。

参 考 書 等

『岩波講座・地球惑星科学』（全14巻）

そ の 他

板書が多いので、毎回出席してきちんとノートを取ること。最終的な評価の対象とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	もち まる まり 持 丸 真 里	禅・仏教選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。

後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

- ①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮
内分泌攪乱物質
オゾン層破壊

- ②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊
近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）

これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	ことうだ かず お 古藤田 一 雄	禅・仏教選	4

講義のねらい

地球は“水の惑星”と呼ばれるように、地球表面の約70%は水で占められている。地球の水は、地球上の大気・陸地・海洋の三圏を絶え間なく循環し、自然環境を形成する重要な要素の一つになっている。本講義は、先ず地球上の水循環(水文循環)に関する基礎知識を理解し、つぎに大気・地上・地下を巡る水の動態の把握とその環境場との相互関係についての理解を深める。最後に、人間生活とかかわりの深い水環境・水資源・水質の保全について考究する。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容に沿って、講義を進める。

1. 水と人間の関わり合い
水と古代文明
2. 地球上の水循環
水循環の思想の変遷
陸水の循環
日本の水土循環
3. 水利用と土地・水循環
わが国の水利用
循環汚染
水と生活

自然分野

履修上の留意点

やむを得ず欠席した場合には、欠席届を担当教員に直接提出すること。

成績評価の方法

前期の試験はレポート提出(課題は夏休み前に掲示する)。
期末試験は定期試験(筆記)で行う。
出席率は10%を総合評価の際、加味する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

参考書は講義中に随時紹介する。

その他

高校で使用した地図帳を持参すると講義の理解の手助けになるとと思われる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔環境と保全〕 (夏季集中)	やま がた 山 縣 毅	禪・仏教選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○	○	8月27日 水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里・山縣 毅	禅・仏教選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

自然分野

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
- (1) 地球環境の変遷（プレートテクトニクスからプレリウムテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズム
 - (3) 火山活動のメカニズム
 - (4) プレリウムの活動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) 化石燃料の化学
 - (3) 大気環境の変化
 - (4) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	禅・仏教選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線形代数学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	禅・仏教選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田 賢一	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際の応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：論理の基礎と応用、情報理論、情報数理、言語理論、線型代数とその応用、後期：線型計画法、確率現象と社会現象、数値解析とその応用

履修上の留意点

高校数学の初歩的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な定義、性質を確実に把握する必要がある。

成績評価の方法

試験結果を中心に、レポート、小テスト、出席状況等を加味し総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

プリントは数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	上原 隆平	禅・仏教選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。次にオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。特に小テストを授業の最後に適宜行ない、その結果を重視して成績をつける予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。また Web や電子メールを使って補助資料を配布するので、インターネットに接続されたコンピュータが使用できることが望ましい。ただしこれは必須ではない。使用できない学生には個別に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原正雄 <small>しのはらまさお</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長? 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長? X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維 合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題 内分泌攪乱物質 フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しの篠原まさお	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。

太陽：構造 エネルギー源

恒星：研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源

後期は銀河をとりあげます。

銀河系：星団 星雲 恒星の運動 星生成領域

銀河：銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙：宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お <small>ざわ</small> 小 沢 ま <small>まこと</small> 誠	禅・仏教選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	禅・仏教選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“情報リテラシー”を実習を通じて理解する。インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

これまでのコンピュータシステムは、たとえば企業では、情報システム部門や専門家によって作られ、エンドユーザ部門に提供されてきた。パッケージソフトウェアの普及などによって身につけることができる情報処理技術に伴って、ユーザ自身がコンピュータシステムを作り上げることも可能になった。このように情報技術の環境が整いつつある。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。本講座では、情報を読み、書き、プレゼンテーションし、応用する能力（情報活用能力または情報リテラシー）をエンドユーザであるみなさんがどのようにして身につけるか、実習を通じて学習する。

- ・表計算ソフトの計算処理と各種操作方法（起動と終了、表示窓と格納箱の切り替え、ブックの保存、データの入力と編集、数式の入力、相対参照と絶対参照、オートフィル、書式設定、罫線、グラフの作成と編集、関数の利用、データの並び替え、複数のワークシートの利用、作図のツール）
- ・Webページの概要
- ・インターネットの諸サービスの活用

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。試験前にあらかじめ提示した課題を最終回の授業において実施し、提出するという形態をとる。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お 川 けんじろう 小 川 健次郎	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	禅・仏教選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして学期末に行うテスト(実技+筆記)の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ はら りゆう へい 上 原 隆 平	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	禅・仏教選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

そ の 他

授業日程
コンピュータ基礎（11）

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日
コンピュータ基礎（15）

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金			○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月			○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火			○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水			○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木			○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金			△	△	△	8月27日	水					

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お <small>ぎわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	禅・仏教選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもとひろのぶ 山本博信	禅・仏教選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。PC（パソコン）で作成できる画像をどのように処理して活用するかについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及している。日常生活においても、パソコンなどに接する機会が増え、これらを活用することがますます必要となってきた。パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理して情報を作成、発信することができるようになった。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。パソコンでどのようにして画像を作成してホームページの発信に活用するかについても学ぶ。

- ・コンピュータによる情報処理と組織による情報処理について
- ・表計算ソフトの基礎、応用
 - (1) 行列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書へ表やグラフを埋め込み仕上げる） (6) VBAによる問題解決
- ・Windowsの環境について（個人情報の自己管理方法など）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報を収集して文書を作成する）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現（画像）およびその作成技術について）

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	△	△	△				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○				8月27日 水						

△は予備日
コンピュータ基礎 (17)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金							8月20日 水				○	○	○
8月4日 月							8月21日 木				○	○	○
8月5日 火							8月22日 金				○	○	○
8月6日 水							8月25日 月				○	○	○
8月7日 木							8月26日 火				○	○	○
8月8日 金							8月27日 水				△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (14)(18)(19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ぶみ 長 坂 浩 史	禅・仏教選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成してもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (14)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○				8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○				8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○				8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○				8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○				8月26日	火						
8月8日	金	△	△	△				8月27日	水						

△は予備日
コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金				○	○	○	8月20日	水						
8月4日	月				○	○	○	8月21日	木						
8月5日	火				○	○	○	8月22日	金						
8月6日	水				○	○	○	8月25日	月						
8月7日	木				○	○	○	8月26日	火						
8月8日	金				△	△	△	8月27日	水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水				○	○	○
8月4日	月							8月21日	木				○	○	○
8月5日	火							8月22日	金				○	○	○
8月6日	水							8月25日	月				○	○	○
8月7日	木							8月26日	火				○	○	○
8月8日	金							8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お 小 川 けんじろう 小 川 健次郎	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請しておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金				○	○	○	8月20日	水						
8月4日	月				○	○	○	8月21日	木						
8月5日	火				○	○	○	8月22日	金						
8月6日	水				○	○	○	8月25日	月						
8月7日	木				○	○	○	8月26日	火						
8月8日	金				△	△	△	8月27日	水						

△は予備日
コンピュータ基礎 (20)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○				8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○				8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○				8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○				8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○				8月26日	火						
8月8日	金	△	△	△				8月27日	水						

△は予備日
コンピュータ基礎 (22)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ ぼら りゅう へい 上 原 隆 平	禅・仏教選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	禅・仏教選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりと基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤万里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	たか ばし よし ひろ 高 橋 良 博	禅・仏教選	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕 (夏期集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることも含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいふべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水						

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 II [自然観察入門—富浦 をめぐる人と自然]	清水 善和・上原 隆平 漆原 和子・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫・山縣 毅	禅・仏教選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。また、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然であるので、地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的背景を知る必要もある。

本講義の前半（4～7月中旬）は、本校教室での植物、鳥類、地質・岩石、天体、身近な自然環境などの自然観察の方法を中心に講義をおこなう。また、植物観察やバードウォッチングなど一部の講義では駒沢公園を利用した実習もおこなう。

後半（7月20～24日）は、千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスに合宿して（4泊5日）、具体的な調査方法やデータ処理の仕方、レポートのまとめ方等の集中講義（午前）と植物・植生、地形・地質・土壌、歴史・地理の野外実習（午後）をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体望遠鏡を用いた天体観察の実習も行う。これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期講義

- 4月11日 (1) ガイダンス (清水)
- 18日 (2) 自然観察の方法、生物図鑑の使い方 (清水)
- 25日 (3) 植物観察 (駒沢大学) (清水)
- 5月2日 連休
- 9日 (4) バードウォッチングの方法 (柳澤)
- 16日 (5) バードウォッチングの実際 (駒沢公園) (柳澤)
- 23日 (6) 岩石・地質の見方1 (山縣)
- 30日 (7) 岩石・地質の見方2 (山縣)
- 6月6日 (8) 化学的な自然の見方1 (持丸)
- 13日 (9) 化学的な自然の見方2 (持丸)
- 20日 (10) 天体観測の方法1 (篠原)
- 27日 (11) 天体観測の方法2 (篠原)
- 7月4日 (12) レポートの作成法 (清水)
- 11日 (13) 富浦実習の準備 (清水)

7月20日—24日 富浦実習（4泊5日）：午前の講義と午後の野外実習、夜の天体観察など。

- 9月12日 (14) レポート提出
- 26日 (15) レポート講評・返却

履修上の留意点

前期半期の講義と7月下旬の富浦実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦実習に参加できない学生は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、富浦実習に参加できる学生のみ履修すること。なお、9月卒業を予定している学生は履修できない。

富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費16,000円は4月に徴収する）。

実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスをおこない、履修希望者が定員を越えた場合にはその場で抽選をおこなうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

多数の教員が分担して講義と実習をおこなうので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価をおこなう。とくに、富浦実習については現地での実習をふまえた課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はおこなわない。

教科書

特になし。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか ぎき としちろう 岡 崎 寿一郎	全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参 考 書 等

参考書・文献については適宜言及します。

総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味がなくても（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし の あき と 林 明 人	全学科選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸小哲雄	全学科選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化にたいする批判）することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス：とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン（横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎 <small>かわ また よう たろう</small>	全学科選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、スコットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックステュー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識することである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって、最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙(A4)10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラ等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ講義を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おおののゆうじ 大 野 祐 二	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よしだ きょうこ 吉 田 京 子	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを採用する。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々のトピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はや かわ のり よ 早 川 紀 代	全学科選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？、世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？。こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
 - b 自分らしく働いて自分を高く売ってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く。
 - c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
 - d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考え
で性をうるからいいの？ 人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映はする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ (1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王志安 小木曾綾・佐藤多美夫 塩入みほも・西修	全学科選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一樣でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」塩入みほも
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

総合分野

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII 〔都市論〕	早川純貴・浦田早苗 品田知美・中野裕二 保坂尚郎	全学科選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4~6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)

品田友美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見だせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(4回/9月・10月) ——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。

早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 . 外 国 語 科 目

外
国
語

外
国
語

3 . 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

英語	I A	(禪)	〈高橋 寛〉	91
英語	I A	(禪)	〈照山 雄彦〉	91
英語	I A	(仏)	〈鈴木 美貴子〉	92
英語	I A	(仏)	〈逢見 明久〉	92
英語	I A	(仏)	〈西村 祐子〉	93
英語	I B	(禪)	〈岡崎 寿一郎〉	94
英語	I B	(禪)	〈亀田 三重子〉	94
英語	I B	(仏)	〈国見 晃子〉	95
英語	I B	(仏)	〈本間 章郎〉	95
英語	I B	(仏)	〈前田 脩〉	95
英語	II A	(禪)	〈河内 賢隆〉	96
英語	II A	(禪)	〈佐藤 勝〉	96
英語	II A	(仏)	〈芝田 興太郎〉	97
英語	II A	(仏)	〈宇都宮 秀和〉	97
英語	II A	(仏)	〈武藤 久緒〉	97
英語	II B	(禪)	〈小笠原 隆元〉	98
英語	II B	(禪)	〈村石 恵照〉	98
英語	II B	(仏)	〈川崎 笑佳〉	99
英語	II B	(仏)	〈高柳 文江〉	99
英語	II B	(仏)	〈河内山 有佐〉	99
英 会 話	I		〈ラージ, R.〉	100
英 会 話	I		〈ウェルズ, J.K.〉	100
英 会 話	I		〈ソルタ, P.N.F.〉	101
英 会 話	I		〈デンドウ, G.〉	101
英 会 話	I		〈ジトウィッツ, P.D.〉	102
英 会 話	I		〈プラスキー, J.C.〉	102
英 会 話	I		〈ウエイド, D.A.〉	102
英語	L L	I	〈甲斐 捷子〉	103
英語	L L	I	〈加藤 佐和子〉	103
英語	L L	I	〈久保 ひさ子〉	104
英語	L L	I	〈中林 正身〉	104
英語	L L	I	〈西村 祐子〉	105
英語	L L	I	〈塙 美智子〉	105

〔ド イ ツ 語〕

ドイツ語	I A	(禪・仏)	〈栗原 万修〉	106
ドイツ語	I A	(禪・仏)	〈清水 修〉	106
ドイツ語	I B	(禪・仏)	〈栗原 万修〉	106
ドイツ語	I B	(禪・仏)	〈岡本 時子〉	107
ドイツ語	II A	(禪・仏)	〈松岡 晋〉	107
ドイツ語	II B	(禪・仏)	〈河上 和史〉	107

〔フランス語〕

フランス語ⅠA (禅・仏) 〈佐藤久美子〉	108
フランス語ⅠA (禅・仏) 〈芦原 眷〉	108
フランス語ⅠA (禅・仏) 〈遠山博雄〉	109
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈桑田禮彰〉	109
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈竹田正純〉	109
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈浜崎設夫〉	110
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈小玉齊夫〉	110
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈前田祝一〉	111
フランス語ⅡB (禅・仏) 〈菅谷 暁〉	111

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈布施直子・胡玉華〉	113
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈福地桂子・前川 亨〉	114
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈工藤早恵・布施直子〉	114
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈戸張嘉勝・下出宣子〉	114
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈天野 節・佐藤普美子〉	115
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈釜屋 修〉	115
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈小川 隆〉	115
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈佐藤普美子・塩旗伸一郎〉	116
中国語ⅡA (禅・仏) 〈釜屋 修〉	116
中国語ⅡA (禅・仏) 〈櫻庭和典〉	116
中国語ⅡA (禅・仏) 〈李 雲〉	117
中国語ⅡA (禅・仏) 〈松本丁俊〉	117
中国語ⅡB (禅・仏) 〈王 聡〉	117
中国語ⅡB (禅・仏) 〈平石淑子〉	118
中国語ⅡB (禅・仏) 〈弘兼加奈子〉	118

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈亀山晃一〉	119
スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈ルイズティノコ, C.〉	119
スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈中川 清〉	119
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈米田博美〉	120
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈佐藤麻里乃〉	120
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈荻野雅司〉	121
スペイン語ⅡA (禅・仏) 〈大岩 功〉	121
スペイン語ⅡA (禅・仏) 〈福本久美子〉	122
スペイン語ⅡB (禅・仏) 〈宮地達郎〉	122

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA (禅・仏) 〈佐野朝子〉	124
ロシア語ⅠB (禅・仏) 〈廣田英靖〉	124
ロシア語ⅡA (禅・仏) 〈杉山秀子〉	125
ロシア語ⅡB (禅・仏) 〈木村英明〉	125

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	126
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	126
英語 I A	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	126
英語 I A	〔再クラス〕	〈太田 美智子〉	127
英語 I A	〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	127
英語 I A	〔再クラス〕	〈高橋 寛〉	127
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	128
英語 I A	〔再クラス〕	〈塙 美智子〉	128
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	128
英語 I A	〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	129
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	129
英語 I A	〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	130
英語 I A	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	130
英語 I A	〔再クラス〕	〈桧山 晋〉	130
英語 I A	〔再クラス〕	〈森田 隆光〉	131
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	131
英語 I A	〔再クラス〕	〈前期：川股陽太郎 後期：八十木裕幸〉	131
英語 I A	〔再クラス〕	〈西原 克政〉	132
英語 I B	〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	132
英語 I B	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	132
英語 I B	〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	133
英語 I B	〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	133
英語 I B	〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	133
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	134
英語 I B	〔再クラス〕	〈石原 孝哉〉	134
英語 I B	〔再クラス〕	〈前田 脩〉	134
英語 I B	〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	135
英語 I B	〔再クラス〕	〈村石 恵照〉	135
英語 I B	〔再クラス〕	〈町田 成男〉	135
英語 I B	〔再クラス〕	〈松堂 啓子〉	136
英語 I B	〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	136
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	136
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	137
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	137
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	137
英語 II A	〔再クラス〕	〈川股 陽太郎〉	138
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	138
英語 II A	〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	138
英語 II A	〔再クラス〕	〈ピアス, D. M.〉	139
英語 II A	〔再クラス〕	〈前期：田中靖子 後期：矢島直子〉	139
英語 II A	〔再クラス〕	〈小笠原 隆元〉	140
英語 II A	〔再クラス〕	〈河内山 有佐〉	140
英語 II A	〔再クラス〕	〈大 渕 利春〉	140
英語 II A	〔再クラス〕	〈山 岸 二郎〉	141
英語 II B	〔再クラス〕	〈前期：岩井洋美 後期：矢島直子〉	141
英語 II B	〔再クラス〕	〈池 上 賀英子〉	141

英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	142
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	142
英語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川公一〉	142
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	143
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川股陽太郎〉	143
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	143
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	144
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	144
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	144

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	145
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	145
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	145
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈百済勇〉	146
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	146
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	147
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	147
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	147
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	148
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈百済勇〉	148
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	149
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	149
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	149
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百済勇〉	150
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百済勇〉	150
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	151

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	151
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原春〉	151
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	152
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	152
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈竹田正純〉	152
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	153
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	153
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈伊藤なお〉	154
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	154
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	154
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	155
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	155
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	155
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	156
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	156

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江林英基〉	157
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸張嘉勝〉	157
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山静〉	157

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤 普美子〉	158
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈天野 節〉	158
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根岸 政子〉	158
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻庭 和典〉	159
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰和〉	159
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈李 雲〉	159
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈三田村 圭子〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小川 隆〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉華〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈弘兼 加奈子〉	161
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	161
中国語ⅡA	〔再クラス〕〈平石 淑子〉	161
中国語ⅡA	〔再クラス〕〈李 雲〉	162
中国語ⅡA	〔再クラス〕〈秋元 翼〉	162
中国語ⅡA	〔再クラス〕〈大久保 明男〉	162
中国語ⅡB	〔再クラス〕〈塩旗 伸一郎〉	163
中国語ⅡB	〔再クラス〕〈李 雲〉	163
中国語ⅡB	〔再クラス〕〈蘭 明〉	163

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮地 達郎〉	164
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大岩 功〉	164
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上野 勝広〉	165
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤 紘子〉	165
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻野 恵〉	165
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻野 雅司〉	166
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤 麻里乃〉	166
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福本 久美子〉	166
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大岩 功〉	167
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈佐藤 紘子〉	167

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣田 英靖〉	168
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐野 朝子〉	168
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木村 英明〉	169
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安德 ニーナ〉	169
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	170
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安德 ニーナ〉	170

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	171
英 文 講 読	〈前 田 脩 一〉	171
英 文 講 読	〈横 森 正 彦〉	171
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	172
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	172
時 事 英 語 研 究	〈河 内 賢 隆〉	172
マルチ・メデイア	〈落 合 和 昭〉	173
マルチ・メデイア	〈大 庭 直 樹〉	174
マルチ・メデイア	〈町 田 尚 子〉	175
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P.D.〉	176
英 会 話 II	〈プラスキー, J.C.〉	176
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D.M.〉	177
英 会 話 III	〈ウエルズ, J.K.〉	178
英 会 話 III	〈ウエイド, D.A.〉	178
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C.M.〉	179
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	180
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	180
英 語 L L II	〈町 田 尚 子〉	181
英 語 L L III	〈岸 本 茂 和〉	182
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	182
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	183
ドイ ツ 語 外 国 書 講 読	〈松 岡 晋 一〉	183
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	184
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	184
ドイ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	184
ドイ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	185
ドイ ツ 語 I A (選)	〈栗 原 万 修〉	185
ドイ ツ 語 I B (選)	〈織 田 繁 美〉	185
ドイ ツ 語 II (選)	〈百 濟 勇 一〉	186
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈遠 山 博 雄〉	186
時 事 フ ラ ン ス 語	〈遠 山 博 雄〉	186
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	187
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M.〉	187
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M.〉	187
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	188
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈長 谷 川 光 明〉	188
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	188
中 国 語 外 国 書 講 読	〈佐 藤 普 美 子〉	189
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	189
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修 一〉	190
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	190
中 国 語 L L II	〈小 川 隆 一〉	190
中 国 語 I A (選)	〈蘭 明 一〉	191
中 国 語 I B (選)	〈釜 屋 修 一〉	191
中 国 語 II (選)	〈松 本 丁 俊 一〉	191
ス ペ イ ン 語 外 国 書 講 読	〈真 下 祐 一 一〉	192
時 事 ス ペ イ ン 語	〈上 野 勝 広〉	192

上級スペイン語	〈上野 勝 広〉	192
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	193
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	193
スペイン語 I A (選)	〈中川 清〉	193
スペイン語 I B (選)	〈亀山 晃 一〉	194
スペイン語 II (選)	〈荻野 雅 司〉	194
ロシア語外国書講読	〈廣田 英 靖〉	194
時事ロシア語	〈木村 英 明〉	195
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	195
ロシア語 L L I	〈安徳 ニーナ〉	195
ロシア語 L L II	〈安徳 ニーナ〉	196
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	196
ロシア語 I B (選)	〈木村 英 明〉	197
ロシア語 II (選)	〈安徳 ニーナ〉	197
朝鮮語 I A・I B (選)	〈宋 美 玲〉	197
朝鮮語 II (選)	〈宋 美 玲〉	198

外
国
語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	高 橋 寛 <small>たか はし ひろし</small>	禅1必	2

講義のねらい

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多くの会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。

教 科 書

Hear It! Say It! (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	照 山 雄 彦 <small>てる やま ゆう ひこ</small>	禅1必	2

講義のねらい

高校までに修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、平易な英語表現と読解を身につける授業を行う。そのためには多くの英文に触れながら、できるだけ暗記し実際にその表現を身につける努力を重ね、さらに読解力も身につけるように授業をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

上記の内容を達成するために、前半は最重要動詞、最重要名詞、また基礎となる文型をいくつもの例題を使った文章を暗記し習得していく。後半はそれを応用し、やや難解と思われる文章に接していく。

履修上の留意点

宿題を毎回出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

毎時間授業を始める前にテストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教 科 書

照山雄彦著『総合英語』(株上武印刷・出版)

参 考 書 等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	鈴 木 美 貴 子	仏教1必	2

講義のねらい

高校までに学んできたことを活用し、実践的な英語を習得することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

旅行英語を覚える為の会話作文のテキストを用いる。
随時、リスニングの練習や英文法の復習を行う。

履修上の留意点

毎時間、useful expressions をできるだけたくさん覚えていただきたい。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

教 科 書

行時潔『Let's Travel Abroad! 海外旅行に行こう!』(松柏社) 1,800円

そ の 他

辞書を常に持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	逢 見 明 久	仏教1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。

履修上の留意点

平常点の比重が大きいため、欠席は成績評価に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。

成績評価の方法

評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。

教 科 書

随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	にしむら ゆうこ 西村 祐子	仏教1必	2

講義のねらい

コンピュータ教場を使用し、インターネットを利用して書く力を中心をおいた総合的な英語力をつけるための訓練をおこなう。コンピュータ初歩とインターネットの使い方指導、英語でかく電子メールの初歩をまなぶ。そして教場で毎回実際に課題をこなし、電子メールで提出してもらいながら添削を送りかえし、練習をかさねていくことで英文電子メールやインターネットの英語サイトになれていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

成績評価の方法

成績評価は、平常点のみにて採点。ほとんど毎週課題が与えられ、電子メール、教場の課題提出がある。定期試験はおこなわない。なお、学生はコンピュータ教場を使用するため、全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

そ の 他

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際必要なので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おが ざき 寿一郎 岡 崎 寿一郎	禅1必	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教 科 書

岡崎寿一郎編註『猫のパジャマ=すてきな人ってこと』(太陽社) 1,426円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	かめ だ みえこ 亀 田 三重子	禅1必	2

講義のねらい

日常よく用いられる表現を意外と知らないものである。ここでは平易な文章を何度も繰り返して学ぶ事により、身につけてしまう事を目的とする。色々な場面を設定し、楽しく学びながら英語を自然に使えるようにもってゆきたい。

成績評価の方法

出席：20点。授業態度：30点。期末試験：50点。
前期、後期 合計 200点

教 科 書

Homestay English (英潮社)

参 考 書 等

プリント、その他。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	くにみあきこ 国見晃子	仏教1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌のヒアリング練習を行うことで、英語特有の音声変化現象や話し言葉のスピードの速さに慣れることを目的とする。また時代背景を考慮しながら歌詞を分析することで、曲の理解を一層深いものにする。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす)。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

Nobuhiro Kumai/Stephen Timson 共著、『Hot Beat Listening Book 2 (ホットビート・リスニングブック 2)』(マクミラン) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ほんまあきお 本間章郎	仏教1必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思えます。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における質問に対する返答、小テスト、前期と後期とにおこなう試験によって成績を評価します。

教科書

伊勢村定雄他著『English through American Life: An Introduction (アメリカン・ライフを英語で)』(北星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	まえだおさむ 前田 脩	仏教1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめに10分～15分程度リスニングを行います。テキストは毎回あてますので予習は必須です。前期はリスニングに力を入れ、後期はテキストの読みのスピードをはやめ、正確な内容把握を求めます。同時に英米文化について最少限の知識を身につけてほしい。時に英字新聞のコピーを使用することがあります。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程度、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教科書

『白衣の女』(南雲堂フェニックス) 1,200円
『基礎力アップ・TOEICテスト・リスニング』(成美堂) 900円

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	かわ うち けん りゆう 河 内 賢 隆	禅 2 年	2

講義のねらい

本テキストはニュースの断片的な記事と云うより、世界の動きを見つめた批評集である。時々刻々、流動している世界を展望しうる力を養うには、このような最新の批評に慣れることが必要である。私の時事解説を加えながら授業をすすめていく。少しむずかしいかも知れないので、しっかりした予習を求める。

成績評価の方法

演習形式の少人数クラスなので、出席点と発表点(年間3回以上)を重視する。前者30点、後者30点、それに2回の定期試験の結果で評価する。

教 科 書

News Worthy 2003 (マクミラン)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	き とう まさる 佐 藤 勝	禅 2 年	2

講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英文法を踏まえた正確な英作文力の充実を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

プリント演習の後、教科書での授業を行います。教科書の進度は2回で1章から徐々に上げて行きます。

履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点(出席状況・授業態度等) + レポート + 定期試験。

教 科 書

石黒 編著『大学英文法の基礎演習』(桐原書店) 1,400円

参 考 書 等

推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』(大修館書店)
『プログレッシブ英和中辞典』(小学館)(含上記社和英辞典)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	しば た こうたろう 芝 田 興太郎	仏教2年	2

講義のねらい

教科書を用いて正確な英文を書く力を高める一方、内容のある essay（自由作文）を書きあげることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、練習問題に取り組む。年間に essay の提出が2、3回。

履修上の留意点

自宅学習が欠かせない。辞書必携。

成績評価の方法

essay の内容、随時小テスト、出席率、積極性、礼儀を総合的に判断する。

教 科 書

中村良広著 *English Writing Without Tears*（松柏社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	仏教2年	2

講義のねらい

子供たちは、まず文字を見るのではなく、対象や、関係を見ながら言語を習得していく。親・兄弟、友達などに教えてもらいながら。我々の外国語習得も、なるべく文字を視覚化しながら行っていくのが、自然の理にかなっているように思われる。

それには、いわゆる「句動詞」を用いるのが効果的である。「消す」は、著者が指摘しているように、extinguish よりも、put out の方が視覚的である。

以上のことは、つきつめると哲学的、宗教的な次元の問題でもある。図を用いながら、句動詞を中心に勉強していく。

成績評価の方法

成績は平常点。出席は2/3以上。

教 科 書

山村三郎/Steven D. Cousins 著『*Colloquial Expressions in Everyday Life*（基本動詞20の日常会話演習）』（マクミラン・ランゲージハウス）1,800円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	むとう ひさお 武 藤 久 緒	仏教2年	2

講義のねらい

英語で書いて話せる実践的能力の強化を目標とします。従って平易な英文を文法理解を基礎に正しく書く訓練が授業の中心となります。

講義の内容・
授業スケジュール

現在・過去・未来、仮定、使役、許可、依頼・勧誘、提案、意図・決定、推量、原因・理由、目的・結果、譲歩・様態、比較、強調など発想別に16の概念の型と表現方法を学習します。習得した知識を応用、特定のテーマで作文し、前後期一回づつ提出してもらいます。

前期 第1課から第8課まで
後期 第9課から第16課まで

履修上の留意点

毎回、受講者に順次作文を板書発表してもらいますので予習をして下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、作文リポート、出席状況などを考慮して行います。

教 科 書

岸野英治著『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おがさわら りゆう げん 小笠原 隆 元	禅 2 年	2

講義のねらい

英語で禅に関する文献の初歩的な読解力の感性・実力をつけることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

日英両語による理解増進を心がけて行う。

履修上の留意点

適宜、参考文献を示し読後感想レポートの提出を課す予定。実績を示し単位認定に資する。

成績評価の方法

総合的に評価する。授業初回時に詳説。

教 科 書

『ZEN MIND, BEGINNER'S MIND (禅心 初心)』(NEW YORK・WETHER HILL)
価格は2,000円程度。
他にも何か購入してもらおう予定。

そ の 他

授業初回時には必ず出席する事。諸資料配布と英語力の実力考査を実施する。辞書持参で必ず出席する事を要求する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	むら いし え しやう 村 石 恵 照	禅 2 年	2

講義のねらい

テキストを中心に、英文の基本的読解方法と現代社会に関わる様々なトピックを英文で読める読解力を習得する。

成績評価の方法

授業参加意欲、出席、テストなどで総合的に評価。

教 科 書

『The Powerful Reader Basic (英文講読の新技法・基礎編)』(マクミラン・ランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	川崎 笑佳 <small>かわ さき えみ か</small>	仏教2年	2

講義のねらい

1年次の読解能力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心で行うが、必要に応じてTOEIC、TOEFL等の教材も利用する。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教 科 書

『ニュースで学ぶ総合英語－Real Stories in the News』(成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	高柳 文江 <small>たか やなぎ ふみ え</small>	仏教2年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピクス文の中の語彙、慣用句、文法を演習を通して理解します。更に、それを基に、writing、speaking両面から文書を作る事もめざします。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半、より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験・後期試験)60% 日常点(出席、演習テスト等)40%

教 科 書

『World Today－文化の諸相』(鳳書房) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	河内山 有佐 <small>こうち やま あり さ</small>	仏教2年	2

講義のねらい

スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる。

講義の内容・
授業スケジュール

プレゼンテーション(Show & Tell)教科書におけるダイアログの応用表現 ディスカッション

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション重視

教 科 書

EVERYBODY'S TALKING (マクラミン) 1,748円

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラージ, R.	禅・仏教1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウエルズ, J. K.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION !!!
Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ソルタ、P.N.F.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units, a workbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

Communicate : Book 1 a / David Paul / Macmillan Language House.
Student's Book 1 a (1, 230) & Workbook 1 a (880).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	デンドウ, G.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ジトウィッツ, P. D.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social usel and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教 科 書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillian Language House, 1994.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	プラスキー, J. C.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

The goal of this coarse is for students to begin expressing themselves at a basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%) , homework (30%) and a final oral/written test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウエイド, D. A.	禅・仏教1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL のスコア450点、TOEIC のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。IA の振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	禅・仏教1年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意志伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意をして下さい。

教 科 書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か どう きわ こ 加 藤 佐和子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・ 授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教 科 書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保ひさ子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

海外旅行の場面別で、一回で通じる短かい会話文を習得することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して聞きとり、書きとり、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように、暗記する。毎回小テストあり。

履修上の留意点

LL 授業は、本来、ラボによる practical training のため、欠席しないように、お願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50% 但し、小テスト、発表を含む。

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	中林正身	禅・仏教1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ぼくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験をおとして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭や LL 自習室を利用しての予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	<small>にしむらゆうこ</small> 西 村 祐 子	禪・仏教1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語ではなしてみることからはじめる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんど授業を英語ですすめるようになる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスの取得は商業プロバイダーのものもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参考書等

『サバイバルイングリッシュ』（朝日出版）1、2をおもに使用。テキストは購入する必要はない。
使用ビデオ：Grapevine 1.2.3、Survival English 1.2 など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	<small>はなわみちこ</small> 瑞 美智子	禪・仏教1年	2

外国語

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listening（パーフェクト・リスニング）- TOEIC テスト対応問題付 -』（朝日出版）2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	栗原 万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	禅・仏教1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I A は文法、I B は講読です。このクラスではドイツ語文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席しないように。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

斎藤他『ドイツ文法プレリユード』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	清水 修 <small>しみず おさむ</small>	禅・仏教1年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。

ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということ considering、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいください。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	栗原 万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	禅・仏教1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I B は講読となっていますが、このクラスは初級の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと習得できませんので、授業への出席を条件とします。欠席しないように。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

入谷他『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B	おが ちと とき こ 岡 本 時 子	禪・仏教1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教 科 書

教科書については開講時に指定します。

参 考 書 等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	まつ おが すずむ 松 岡 晋	禪・仏教2年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2~3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずです。教科書終了後は、また別の文章をコピーで配布して読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教 科 書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '02年トピックス』（朝日出版社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	かわ かみ かず ひと 河 上 和 史	禪・仏教2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

成績評価の方法

授業と試験を統合して判断する。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	佐藤 久美子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておく）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教科書

佐藤著『アベセデ フランセ』（白水社） 定価2,500円

参考書等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

その他

教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	芦原 眷	禅・仏教1年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようになります。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

安田悦子『ヴィット・メ・ビヤン』（白水社）1,631円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	<small>と お や ま ひ ろ お</small> 遠 山 博 雄	禅・仏教1年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。動詞活用を書き取りもあります。

教 科 書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2002年度版）』（朝日出版社）

参 考 書 等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	<small>く わ た の り あ さ</small> 桑 田 禮 彰	禅・仏教1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』（第三書房）

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	<small>た け だ ま さ ず み</small> 竹 田 正 純	禅・仏教1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎を身につけ、応用力を養うことを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

特に発音練習には十分な時間を割いていくが、最終段階の接続法まで進むつもりなので、かなりのスピードで授業は進行する。熱意をもって取り組んでもらいたい。教科書を完全にマスターすれば仏検3級も夢ではない。

履修上の留意点

付録CDによる自宅での発音練習を義務づける。辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで何度も小テストを行う。その結果をベースに前後期2度の試験で評価する。

教 科 書

久松健一『フェリシタシオン！－仏検シャ・シャ・シャー』（駿河台出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	はま さき せつ お 浜 崎 設 夫	禅・仏教1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教 科 書

滑川『ポケットにフランス語』（第三書房）

参 考 書 等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、日仏文化のなかでの体験談を、それぞれの人の、異なった、あるいは同じ反応の類型を確かめながら、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。教科書の講読以外に、音としてのフランス語の授業も、少ない時間ながら、適宜、可能であれば、組み込んでみる予定です。フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方、を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教 科 書

コルノリエ・野村 著 『私の日仏異文化体験』（第三書房）1,500円

参 考 書 等

『現代和仏小辞典』（白水社）が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語1A・1Bの単位の取れていない人は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで基本的には成績を評価しますが、授業中の課題や出席状況にも配慮します。

教 科 書

ロニー・ブローマン著、桜井幸子編『ボランティアとその体験から、国境なき医師団の挑戦』（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	すが や さとる 菅 谷 暁	禅・仏教2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教 科 書

ボームルー著『セレクション時事フランス語（1997-2002）』（朝日出版社）1,800円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

中国語

中国語 I A・I B

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A-I Bという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。I A-I Bの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語 II A

I A-I Bの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語 II B

I A-I Bの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のII Aに対し、II Bの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記I A-I Bに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習事典』（2002年 朝日出版社）2800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日事典〔第2版〕』（2003年小学館）語法解説や図版豊富。6300円
 相原茂『講談社中日事典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日事典』（2001年三省堂）4000円
 武信彰『プログレッシブ中国語事典』（1998年小学館）3500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語事典』（2002年白水社）7800円
 愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年大修館書店）8600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。
 対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年小学館）7000円
 倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年岩波書店）5000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	布施直子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	胡玉華		

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。学年初めに発音の基本を学び、そののち日常会話で使われる単語や中国語文の組み立てを学ぶ。「読む・聞く・話す・書く」練習を通して理解を確かなものにする。

履修上の留意点

授業への出席を第一にして、まじめに練習にとりこんでくれることを望む。

成績評価の方法

テストと、出席状況によって評価する。

教科書

竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	前川亨		

講義のねらい

福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	禅・仏教1年	2
中国語 I B	布施直子		

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙、文法や言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	戸張嘉勝	禅・仏教1年	2
中国語 I B	下出宣子		

講義のねらい

発音（ピンイン）方法と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を概念的に認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を学ぶ。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
- ③文法は教科書の展開に沿って、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験・期末試験・授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編 例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	天野節	禅・仏教1年	2
中国語 I B	佐藤普美子		

講義のねらい

天野 (A)、佐藤 (B) が同一の教科書で行う授業です。中国語の発音表記 (ピンイン) をしっかり覚え、正確な発音と基本語法を身につけましょう。

履修上の留意点

ともかく毎回出席して、「耳」と「口」をフルに使うことが大切です。

成績評価の方法

平常点 (出席、授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価は A、B 担当教員がそれぞれ行ないます。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』(朝日出版社) 2,200 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	禅・仏教1年	2
中国語 I B			

講義のねらい

中国語の発音の基本を学び、発音表記のピンインを習得し、語法のしくみを一通り学ぶ。見る外国語から読み、話し、聞いてわかる外国語へ、積極的に学んでいただく。

講義の内容・授業スケジュール

同一教師が同一テキストで週二回授業を行なう。連休直後までは発音の基礎を学んでもらう。そのあと正確な発音を身につけて中国語のしくみを考え、生きた表現に近づいていただく。

履修上の留意点

散漫な出席、授業中の私語はお断り。

成績評価の方法

出席点、受講時の積極性、宿題・小テスト、定期試験の成績を重視し、評価のポイントとする。理由なき欠席は前・後期各 3 回を限度とする。

教科書

荒川清秀『簡明中文システム 15』CD 付 (同学社) 1,800 円。(『中文システム 15』とは別の『簡明』版なのでまちがえないように)

参考書等

開講後に説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川隆	禅・仏教1年	2
中国語 I B			

講義の内容・授業スケジュール

IA と IB とで特に内容を分けず、週 2 回の授業で、ともかくどどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全 15 課で、3~4 課に 1 度くらいの割合でテストを行い、解答はすべてピンイン (ローマ字・声調記号) で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

荒川・周・塩山『キャンパスライフ中国語』(白帝社) 2,400 円 (CD 付)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	佐藤 普美子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	塩旗 伸一郎		

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が共通のテキストを使い、週2回の授業を行います。主としてA（佐藤）が文法説明、B（塩旗）が課文と口頭練習を担当します。

履修上の留意点

最初の1~2か月は発音の基礎を学びます。この時期に欠席すると追いつくのは難しいので、休まず積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点（出席、学習態度）+小テスト（年数回）+期末テスト（年2回）を総合的に評価します。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	釜屋 修	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語Iで学んだ力を活用してやさしい読物に挑戦する。朗読を通して発音をより正確にし、不確実なところを矯正する。

講義の内容・
授業スケジュール

週一回の学習機会なのでつみ重ねがたいせつとなる。毎回指名して朗読、翻訳をこころみってもらう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、予習をしてくること。

成績評価の方法

出席状況、平常点、定期試験により総合的に判定する。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』（金星堂）1,850円

参考書等

辞書を必要とする。ふさわしい辞書を開講後に紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	櫻庭 和典	禅・仏教2年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教科書

八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A	李 雲	禪・仏教2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三瀧正道、楊光俊『現代中国走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A	松 本 丁 俊	禪・仏教2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国語の能力は、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」という面にわたるコミュニケーション能力を指す。この四技能が同時並行的に伸長することによって中国語習得を目指し、週1回の授業で、1課を2～3回で終わられる様にする。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とするが、授業中の状況、例えば発音、訳、練習及び出席状況によって加味する。

教科書

金路『コミュニケーション中国語』（白帝社）2,600円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II B	王 聡	禪・仏教2年	2

講義のねらい

発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進んでいくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発音の復習。
2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次に学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ－日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II B	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教 2 年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の多様な動詞の使い方を中心に学習する。正しい発音の習得にも力を入れる。

履修上の留意点

①四分之三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常点、及び期末試験による。

教 科 書

戸沼市子他著『動詞をながめて中国語』（朝日出版社）2,100 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II B	ひろ かね かな こ 弘 兼 加奈子	禅・仏教 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次に学んだ文法事項を復習しながら、置き換え練習、簡単な会話練習、ヒアリング等を行なう。

成績評価の方法

成績は年間約 4 回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教 科 書

高橋良行・村上公一・陸明『楽しい中国語コミュニケーション』（同学社）2,100 円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	禅・仏教1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習を継続させる為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	なか がわ きよし 中 川 清	禅・仏教1年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉『スペイン語への誘い』（芸林書房）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	よねだひろみ 米田博美	禅・仏教1年	2

講義のねらい

現代における二国間、多国間、地域間のつながりは、増々加速されています。経済における二国間自由貿易協定はその象徴とも言えます。貿易や投資の交流、文化や芸術での交流、人的交流などは、情報技術の革新もあり、急速に深まり、世界は相互依存、相互理解の必要性が高まっています。約4億の人口を有し、20カ国以上の国々で構成されるスペイン語圏諸国の自然は魅力に富み、音楽、文学、芸術などの文化は多様で豊かであり、日本にとり、ますますその重要性を増すでしょう。言葉は力です。スペイン語を学ぶことにより、自らの世界、視野を広げることを希望します。言葉をマスターする上で、何よりも意欲、心構えが最も大切であり、強い目的意識をもって、授業にのぞんで下さい。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。仮に欠席をしたとしても、自らの努力で補うことも充分可能であり、折角定めた初心を安易に放棄しないことを望みます。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『和中西辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

スペイン語圏の文化を紹介したビデオや短編映画を鑑賞できる機会もつくる考えです。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	さとうまりの 佐藤麻里乃	禅・仏教1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験などを総合して評価する。

教科書

田尻陽一・西川喬共著『初級スペイン語講座』（芸林書房）2,000円

参考書等

辞書：『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I B	おぎのまさじ 荻野雅司	禪・仏教1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参 考 書 等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	おおいわいさお 大岩 功	禪・仏教2年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	福 本 久美子 <small>ふくもと くみこ</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）
プリント（授業中に配布）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II B	宮 地 達 郎 <small>みやち たつろう</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書

『新日本語の基礎I 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	佐野朝子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	廣田英靖	禅・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	^{すぎ} 杉 ^{やま} 山 ^{ひで} 秀 ^こ 子	禪・仏教2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教 科 書

1年次に使用した教科書と文法表。

そ の 他

プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	^き 木 ^{むら} 村 ^{ひで} 英 ^{あき} 明	禪・仏教2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

教 科 書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

そ の 他

プリント配布。

[英 語] [再履修クラス]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西村 祐子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

テキスト：*Subject: E-mail: writing effective messages* (南雲堂)

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわいひろみ 岩井 洋美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常表現を題材にしたテキストで、多くの練習問題に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

語彙や文法、会話表現の習得。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと2回の期末試験で評価。

教 科 書

Communication in the Real World (TOEICに役立つ日常英語) (成美堂) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩的な会話を意識した英作文を行う。最初に会話形式の必修短文を作文し、何度か声に出して暗誦するようにする。次に応用として弱冠長めの文章を作文してゆく。前者では発話を、後者では文法を課題に学習する。

成績評価の方法

宿題は課さないが、授業中に指名して発表してもらうので必然的に集中して作業に臨むことになる。再クラスということもあり出席は重視。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教 科 書

『*Let's Try English* - 英語でトライー』 (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おお たい みちこ 太田美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Say It In Songs (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	い とう みよこ 伊藤美代子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. *Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa* 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円
2. 伊藤美代子(編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか はし ひろし 高橋寛	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義では英会話の基礎を身につける為、リスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。

教科書

Everyday Talk (朝日出版社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。
講義の内容・授業スケジュール	一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。
履修上の留意点	大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてもらうことを望む。
成績評価の方法	前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。
教 科 書	<i>A Short History of the World</i> (こびあん書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 冨 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	基本動詞を中心にした慣用句を含んだスキットや練習問題を行っていく。日常基本表現から会話表現の理解と運用能力を高めていくことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	話題性がありウィットに富んだ会話を楽しみながら基本動詞、慣用語句等を身につけ生きた表現が自然に出る様にする。
履修上の留意点	復習や予習をし、書いたり発話の練習を行う。
成績評価の方法	出席率重視 (70%)、普段の授業態度 (10%)、後期試験 (20%)
教 科 書	<i>Writing Better English</i> (金成堂) 1,600 円
参 考 書 等	参考書等を勧める場合はその都度黒板に板書して説明する。
そ の 他	テープや声を出して練習する場が多いので積極的に授業に参加する態度を要す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	つか もと とし お 塚 本 利 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生活、コンパなどについて意見・考えを英語で書く小テスト (20~30分) を行います。
成績評価の方法	授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。
教 科 書	『語順が身につく英作文』(朝日出版) 1,800 円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	かわしまひろゆき 川島弘之	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しむことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロックを中心とした音楽を教材として使う。テキストと共に学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を使用する。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼になっている。ロックの歌詞の中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「Love」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心、私たちの心が揺さぶられ、英語音声への感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

授業では、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- ①『ロックの心 (1)』（大修館書店）
- ②「学生のリクエスト曲」

参考書等

- 『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
- 『ロックの意味』（草思社）
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
- 『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

ビデオ、DVD、のロック・コンサートで英語を楽しむ。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おのえのりこ 尾上典子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presley などアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron, 宮野智靖著『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』（金星堂）1,800円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おお いた ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

モデルとなる優れた英文を「応用」することにより日本語を介さず自然な英文が書けるよう訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな分野・領域における基礎的な知識を伝える文章からテキストは構成されている。自然科学・地理・歴史・文化・言葉と文学・数学・音楽など内容は多岐にわたるが、各トピックの全体像をまず説明した上で特定箇所へ焦点をあて、そこに見られる文法事項を確認する。その上でトピック全体を俯瞰し、重要な単語や言い回しなどを文脈の中で理解するとともに段落の構成方法なども学ぶ。一連の作業を終えた上で最後に応用英作文を行う。トピックに関連する内容を自由に表現してもらい積もりである。

履修上の留意点

英和・和英辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期テスト、授業時の応答の様子、提出してもらった自由英作文、出席状況などから総合的に評価する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で楽く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみ え 高柳 文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に writing、speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3 以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験) 60%、日常点(出席、演習テスト等) 40%

教科書

『World Today - 文化の諸相』(鳳書房)

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 桧山 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価 50%、前期・後期試験 50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	もり た たか みつ 森 田 隆 光	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験 リポート年1回（英文にて）

教 科 書

開講時指示

そ の 他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわ ほん やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験 60パーセント、平常点 40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation によって判断する。

教 科 書

『Cultivating Writing Skills（基本語彙を使った発展英作文）』（朝日出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	前期：かわ また よう たろう 川 股 陽太郎 後期：や そ ま ひろ ゆき 八 十 木 裕 幸	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・
授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、語法、慣用表現、文体；informale style, formal style, selection and unity of style...

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりとって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席—4点減点、レポート—1回4点、小テスト—1回2点、前期後期テスト—合計100点、授業態度（発表まで）を総計して評価します。

教 科 書

武田良一『英語表現法入門』（英宝社）1,900円＋税
プリント

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850 語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していってもらいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	て じま けい こ 手 島 敬 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	はやし たか のり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

読解の授業では構文を正確に捕らえながら邦訳することを第一の目標とする。その上で内容の要約も念頭に置き、時事的な内容のテキストを使用する。またリスニングでは、各項目のテーマごとに単語レベルから対話・普通文レベルへと聞き取りを進めてゆく。

成績評価の方法

読解では担当する文章をあらかじめ割当て発表してもらう。リスニングは定期的に小テストを行い、読解の発表と合わせて平常点とする。出席点を含む平常点を 50、定期テストを 50 の割合で評価する。

教科書

『エコライフと経済』（南雲堂）
『五分間ヒアリング』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	木 村 克 彦 きむら かつ ひこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教 科 書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	武 藤 久 緒 むとう ひさ お	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：The Cat and Cricket Game
The Rainy Afternoon
Spinnie The Spider's Solution
後期：Chipper and the Sunflower Seed Tray Perfume

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教 科 書

ジュリア・高矢著 *Tom Black and Friends* (英宝社) 1,200 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	江 田 幸 子 えだ さち こ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現方が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教 科 書

John S. Lander 著『*HOLLYWOOD 2 Short Scenes from the Movies* (ビデオで見る映画とスターたち)』(朝日出版社) 1,800 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1単元終るごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

Beginning Video English (鶴見書店) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	い し はら こう さい 石 原 孝 哉	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教 科 書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	ま え だ おさむ 前 田 脩	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現実に役立つ英語と同時に英米の文化の一片でも知識として取り入れて、授業をすすめます。毎回あてますので予習は必須です。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教 科 書

Survival English (Book 1) (朝日出版社) 1,359円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	おお たい ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

英和辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれの期末試験、授業時の応答の様子、および出席状況などにより総合的に判断する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [再クラス]	むら いし え しょう 村 石 恵 照	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストを中心に、英文の基本的読解方法と現代社会に関わる様々なトピックを英文で読める読解力を習得する。

成績評価の方法

授業参加意欲、出席、テストなどで総合的に評価。

教科書

『*The Powerful Reader Basic* (英文講読の新技法・基礎編)』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [再クラス]	まち だ しげ お 町 田 成 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。リスニングについては、テープを聞きながら文章の大意を把握する。

成績評価の方法

出席点と発表と年2回の試験の総合評価とする。

教科書

現在多数の中から検討しているので、第一回めの授業で発表する。また、その時、プリントしてテキストの内容を説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

リスニング力の向上を目指す。ごく平易な口語英語のリスニングを通じて、基礎力の強化をはかる。4課ごとにまとめの小テストを行い習熟度を確認していく。また適宜、プリントを使用している学習も行う。

成績評価の方法

2/3以上の出席を満たすこと。
年4回予定している小テストと定期試験の成績を重視する。

教 科 書

Learn to Listen (マクミランランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。
ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の story を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。
ごく基礎的な英語を（最初から再学習するつもりで）しっかりとおぼえてもらいます。
テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

履修上の留意点

後期最後に総まとめ試験実施（授業時間中の小テスト重視）

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席（厳守）、授業中の発表、小テスト（70～80%）及び後期試験の結果によりおこないます。

教 科 書

INTERMEDIATE Faster Reading (成美堂) 1,600円

参 考 書 等

プリントを使用することもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	いい めま よし なが 飯 沼 好 永	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教 科 書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子『*Reading Landmarks of the world* (英文読解のトレーニング)』（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	佐藤 明子 <small>さとう あきこ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『*Real Life in Britain* (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円(税別)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	宇都宮 秀和 <small>うつのみや ひでかず</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

再クラスを受け持って受ける印象は次のようなものである。1) 学力はあるのに、出席日数が不足して単位が取れない場合。2) 基礎的なことを理解しないままに、ズルズルやって来た場合。

前者の場合、理由はいろいろあるだろうが、多くの場合、自分の生活を律することが出来なくて、なんとかなるだろう位の気持で学生生活を送っているような印象を受ける。しかし、セルフ・コントロールが出来なくては社会生活を送ることが出来ない。

後者の場合、納得しないまま、なんとかなるだろう、あとで分かるようになるだろう、の気持があるように思われる。

いずれにしても、「基本」をしっかりやること。生活においても、勉強においても。

成績評価の方法

成績は平常点。出席は2/3以上。

教科書

テキストはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おかざき としあちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

高山宏編注『古代世界を探る』(金星堂) 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川 股 陽太郎 <small>かわ また ようたろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

IAを基礎として英語の運用能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡 崎 寿一郎 <small>おか さき としいちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

教養課程英語研究会編『精説高等英文法』(文化書房博文社)1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	井 伊 順 彦 <small>い のぶ ひこ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

言葉の4機能である「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」のうち、前の3つに重点を置いて、英語の実用能力を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

カセットテープを多用して、かなりの量の聞き取りや書き取りをおこなう。また、単語の並びかえというかたちで英作文能力の向上もめざす。

履修上の留意点

以上のような授業形態であるため、毎回なんらかのかたちで指名される諸君は半数以上になる。4年生に対しても、出席し、なおかつ活動することが大前提であると警告しておく。

成績評価の方法

授業中の活動状況、数回の小テスト、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

The Signs of the Times: America and Japan (日米カレント・トピックス)(朝日出版社)1,650円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 A	ピアス, D. M.	全学科3・4年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation: one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 A	前期: 田中靖子 <small>たなか やすこ</small>	全学科3・4年	2
	後期: 矢島直子 <small>やしま なおこ</small>		

講義のねらい

大学1年で得た英語力をもとにして、英語を書く力をさらにつけてもらいたいと思います。センテンスを書くだけでなく、パラグラフを書くことを目指します。

履修上の留意点

教室でどンドン当てますから、予習をしてくること。英語の文章を自分なりに書いた上で、授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	小笠原 隆元 <small>おがさわら りゅうげん</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語学習歴が8～10年にもなる受講生の実力、意志伝達・運用能力の向上をめざしたい。日、英両語で自信を持って発言出来るように努めてほしい。

履修上の留意点

授業初回時に英語力実力検査を実施するので必ず辞書持参の事。さらに関連諸資料、提出物を配布するので、受講者は必ず出席する事。

成績評価の方法

単位認定は各人各様の事情もあろうが試験・出席点・提出物・授業への参加度等々の総合的評価で行う。

教科書

テキストはまず次のものを購入されたい。
『英語自己表現の基礎レッスン』(松柏社) 1,600円+税
◎他詳細は教場で順次示すので留意。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	河内山 有佐 <small>こうちやま ありさ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる。

講義の内容・授業スケジュール

プレゼンテーション (Show & Tell) 教科書におけるダイアローグの応用表現 ディスカッション

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション重視

教科書

EVERYBODY'S TALKING (マクラミン) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	大 淵 利 春 <small>おお ふち とし はる</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語Ⅰ A で学んだことを基礎として、英語による意志伝達能力の向上を目指す。

履修上の留意点

予習をしっかり行い、辞書を必ず持参するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前・後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容、授業態度などから総合的に評価します。

教科書

Both Sides Now (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 A	山岸二郎 <small>やまがしじろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

カタログによれば本書は総合に区分されている。が、Exercisesもあり、これを利用して、英文を書くことに力点を置く。
 こゝ十余年、ソ連邦の崩壊もあり東ヨーロッパは苦難の道を辿っている。西ヨーロッパもこれと直接又は間接的に係りながら、EUという大経済圏を目指して、努力を続けている。この現実を通観し、理解を深めると共に新しいヨーロッパの実状に触れたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、課題、テストなど総合的に評価する。

教科書

John H. Randle・辻 昌弘『*This is Europe* (新しいヨーロッパ)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 B	前期：岩井洋美 後期：矢島直子 <small>いわたいひろみ やしまなおこ</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

大学1年で学んだ英語を基礎にして、英文を正確に読むこと、後には量を多く読むことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてくる。ただ単語の意味を調べるだけでなく、文章の意味を理解して授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 B	池上賀英子 <small>いけがみかえこ</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

IBの学習を基礎として英語の読解力を一層に質と量において、向上することを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎学力の習熟を主眼とし、英米を始めとする英語圏における英語を取り巻く文化的・社会的な背景の理解を学習していきます。適宜、視聴覚器材も使用します。

履修上の留意点

可能な限り出席し、授業に積極的に参加することを、第一義と考え強く求めます。

成績評価の方法

授業内での演習と発表、周期的課題提出、小テスト、定期試験の成績を総合して評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

国際化が進展するにつれ、国外はもちろん国内においても外国人とのコミュニケーションを円滑に進めることが必要です。
言葉の問題もさることながら文化や価値観の違いがあります。おたがいの理解を深めることが必要です。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるがここでは主として読解力に主眼をおいている。

履修上の留意点

練習問題は Questions や Vocabulary に関するもの Idiom や Usage など多様である。

成績評価の方法

評価は出席、レポート、テストなど総合評価です。

教科書

『*Clearly Britain, Clearly Japan* ちょっとイギリス拝見』(南雲堂)

その他

月曜日 4 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれては日常生活すらできなくなっている。特に英語は世界各地で使用されやすい言語として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるが、ここでは主として読解力に主眼をおいている。又、重要な単語、イディオム、構文などをちりばめて、多様性にとんだ英文が学びとれるようにしてある。

履修上の留意点

練習問題は T-F Questions をはじめとして Vocabulary Quiz や Idiom and Usage など Completion Exercise も用意してあります。

成績評価の方法

評価は、出席とテストなど総合評価です。

教科書

『*Everyday Economics* (よくわかる経済英語)』(南雲堂) 1,800 円

その他

月曜日 5 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	はせがわこういち 長谷川公一	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。

成績評価の方法

出席率プラス前後期 2 回のテストによって採点する。

教科書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おちろ あい かず あき 落合和昭	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる。）出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) *Phrasal Verbs* (オックスフォード大学出版局) 2,200円
- 2) 『話すための口語英語リスニング』(成美堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ また よう たろう 川股陽太郎	禅・仏教3・4年	2

外国語

講義のねらい

I Bを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ うち けん りゅう 河内賢隆	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

このクラスは3・4年生を対象とした再クラスなので、英語の苦手な諸君が多いと思われる。でも、我々の身近に迫った英語は何としても克服しなければならない。こゝで取り上げた英語は、我々の周辺で起きた、わかり易い記事である。授業の始めと終りにテープレコーダーを用いて耳の訓練も重視する。「努力なくして英語の上達はあり得ない」とにかく頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

出席点と発表点（通年3回以上）を重視する。前者30点、後者30点、それに前・後期の試験で評価する。

教科書

Mini World 2003 (マクミラン)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし がず 本 間 俊 一	禅・仏教3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ささ くら さだ お 笹 倉 貞 夫	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語の運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック (The Big Book of Amazing Facts)』(太陽社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	にし だ よし がず 西 田 義 和	禅・仏教3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的な幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき、文法をはじめ語彙など重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景等も重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未知の語句等があると思うが、文脈からそれらは容易に理解できよう。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、前・後期の定期試験などを総合的に判断して評価する。ただし、原則として平常授業の欠席率が三分の一を越えた場合は不合格とする。

教科書

開講時に指示する。

その他

上記で述べたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので受講者は必ず出席するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野 博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	松岡 晋 <small>まつおかすすむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	織田 繁美 <small>おだしげみ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法というと無味乾燥という印象が思い浮かぶかも知れない。そのため授業に出たくないという気持から、遅刻し、休みがちになるのかも知れない。最初の4~5回、夏休み後の2~3回、この弱い気持を封じ込めて授業に出席し、授業初めの説明30~40分静かに耳を傾け、その後の演習では自分に当たっていなくても、2~3題は解いてみるという前向きの気持で授業に臨むようにすれば、授業も後半に入る頃には、ドイツ語のしっかりした基礎が身についていくのが実感できることと思う。

履修上の留意点

授業初めの説明は殊に大切なので遅刻しないこと。一回一回の授業内容が有機的な積み重ねになるので欠席しないこと。

成績評価の方法

演習で正解に達すると、その都度、出席簿にチェックされ、これが平常点として加味され、成績評価にかなりのウェイトが置かれる。これに前・後期末のテスト結果が成績評価に加わる。

教科書

高橋行徳著『わかり易いドイツ文法』（芸林書房）1,300円

参考書等

プリントを併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	もも すみ いまむ 百 済 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、応用問題にその重点を置く。毎回、何等かの形で試験をして、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストに沿って、章ごとに進む。そして毎回小テストを行う。次の時間にそれを採点して返す。

履修上の留意点

この受講生は、成績よりも単に出席していなかったが故に単位を落としたのが殊勝な理由であろう。それ故に、毎回出席がまずその前提である。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、小テスト、それ採点を採点して返すという繰り返しである。それ故に、平常点その基本となる。期末試験は行わない。

教 科 書

「わかって楽しいドイツ語」：在間進、三修社、2,200円

参 考 書 等

初年度で使用したドイツ語辞書、教科書を持参のこと。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	い が ら し のぶ こ 五十嵐 信 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教 科 書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を！』（改訂版）（三修社）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級ドイツ語のごく基本的な事柄を習得することを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

高木実・常木実『新初級ドイツ語読本』（郁文堂）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	の じま とし あき 野 島 利 彰	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な文章を読みながらドイツ語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題を毎回、提出宿題にします。文章の訳読は希望者に任せます。練習問題を解きながら授業を進めます。

履修上の留意点

宿題を提出することが大事です。

成績評価の方法

宿題を提出したか否か、出席が基準を満たしているか否か、と期末試験の成績で総合的に判断します。

教 科 書

在間／イエセル著『ヴェーラとヴェルナー』朝日出版 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	まつ おが すずむ 松 岡 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章（1～2ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所のと訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教 科 書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か（新訂版）』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教科書

河合節子・林良子・四ツ谷亮子著『はじめてのドイツー使えるドイツ語表現』(改訂版)(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	ももづみいさむ 百 濟 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

既に10年以上、ドイツで最も重要な研究機関、「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこで欧州の学部学生、院生及び研究者の語学研修を身近に見ている。それを駒澤大学の学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に専門に目を向けること。それには語学の修得が前提となる。当然に数カ国語が必要だ。ここではドイツ語の履修だが、使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英語会話を併存させる。毎回の出席が前提。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、先ずは大切だ。毎回出席出来ない学生は履修しないこと。連絡を密にするために、メールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席を前提にしているが故に、学期全体の評価は平常点とする。その結果として学期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英語会話を中心にするが故に、その都度プリントで渡す。

参考書等

このクラスは、再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	しばのひろこ 柴野博子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步つみ重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』（朝日出版社）1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	もと橋うきょう 本橋右京	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。
毎時間 CD-ROM を利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実なものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

発音と初級文法を初めからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには、必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また、時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力が付くと思います。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教科書

小塩節『ドイツこころの旅』（朝日出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

1991年以来ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」の客員研究員をしている。そこではドイツ以外の外国の学部学生、院生、研究者なども研修生として来ている。そこで共通する明白な問題意識は、学習、研究の目的、それに伴っての語学修得意識が強い事である。駒澤大学の学生にそうしたことを伝授すること。

講義の内容・授業スケジュール

各学部の学生がいるが、それぞれ専門課程に進む。その為にこれまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

まずは、毎回出席することである。語学は反復練習のなにもものでもない。そうした継続した学習態度を研鑽してもらう。連絡を密にするが、それにはメールを使う。

成績評価の方法

毎回の出席を前提としているが故に、学期全体の平常点で採点する。その結果として、期末試験は行わない。

教 科 書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、教場でその都度プリンを配布する。

参 考 書 等

再履修故に、既に購入したドイツ語辞書、また使用した「ドイツ文法書」を持参のこと。

そ の 他

水曜日1時限

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこでの真摯な学部学生、院生、研究者達の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝習したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に自分の専門を履修する目的意識、その前提である外国語修得が必要だ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、まずは大切だ。毎回出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするためにメールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席が前提であるだけに、平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、その都度プリントを配布。

参 考 書 等

このクラスは再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」を持参すること。

そ の 他

水曜日3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確かなものとします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を学習します。

履修上の留意点

文法の習得は特に一步一步の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

山村他著『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	あし はら けん 芦 原 巻	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小玉 齋 夫 <small>こ だま なり お 夫</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法 上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書 小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社、1600円）

参考書等 辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	長谷川 光 明 <small>は せ が わ み つ あ き</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・授業スケジュール 下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期2回行います。

履修上の留意点 フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期後期試験及び平常点。

教科書 稲田晴年『納得できるフランス文法』（第三書房）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	竹田 正 純 <small>た け だ ま さ ず み</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の音を大切に、基礎的な項目の修得を心掛けたい。

講義の内容・授業スケジュール 初歩的な読む・話す・書くが身につくよう反復練習を中心に授業を進めていく。

履修上の留意点 辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法 授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後2度の試験で評価する。

教科書 内藤陽哉・玉田健二『フランス語へのパスポート』（白水社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	いま げき 今 関 ア ン	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定4級程度の力を付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

単位習得の条件は4段階に分かれているが、いずれの条件も満たさない学生は理由の如何に関わらず、単位は出さない。出席とは漫然と教室に座っていることを意味しない。積極的に授業に参加しなければ、出席とは認めないから注意すること。

成績評価の方法

- A) フランス語検定4級合格(6月11月実施:各自書店で申し込む。勉強方法は授業時間後に問い合わせること)
 B) 『ふらんす夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+前・後期定期試験=200点以上
 C) フランス語検定5級合格+『ふらんす語夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+後期定期試験=180点以上
 D) 3/4以上の出席+夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社)の実力テスト+前・後期定期試験

教 科 書

澤田直之『アミカルマン』(駿河台出版社)1,800円

参 考 書 等

仏和辞典:『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教 科 書

藤田著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	伊 藤 な お <small>いとう</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いて実際の運用ができるようになることを目指します。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難も解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験、および平常点によって判定します。

教 科 書

藤田裕二『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	谷 川 かおる <small>たにがわ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的なフランス語に親しみつつ、基礎的な文法を最初からゆっくりやり直す。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教 科 書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A 〔再クラス〕	畑 中 千 晶 <small>はたなかちあき</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。

成績評価の方法

成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

澤田直之他著『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い——』（改訂版）（駿河台出版社）2002年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい 辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール 文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点 文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法 前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書 『セレクション・時事フランス語』（1997～2002）クリスチャン・ボームルー著 朝日出版社 1800円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A 〔再クラス〕	たに かわ 谷 川 かおる	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい 簡単なフランス語を読みながら、文法を基礎からやり直す。

講義の内容・授業スケジュール 文法事項の解説、練習問題、訳読など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。後期には、参加者と相談の上、より高度なフランス語の講読にもチャレンジしてもらう予定。

成績評価の方法 前期・後期試験および小テスト。

教 科 書 加藤晴久、一戸とおる、『時事テーマで学ぶ初級フランス語読本』（朝日出版社）2200円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II B 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい 中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。

講義の内容・授業スケジュール 文法的理解を避け、やさしい物語を少しずつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れること、また日常的語法を習得してもらいます。

履修上の留意点 初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。

成績評価の方法 前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席また平常の課題なども考慮します。

教 科 書 数江編『続々・愉快的コント』（第三書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B 〔再クラス〕	<small>ぬま くら ひろ</small> 沼 倉 広 子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語 (2003年版)』(朝日出版社) 1,800円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B 〔再クラス〕	<small>は せ が わ み つ あ き</small> 長谷川 光 明	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を再学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、視聴覚教材を用いながら各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

中山真彦他『ボンジュール・パリ』(白水社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I・I B 〔再クラス〕	江 林 英 基 <small>こう りん ひで もと</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『新版標準中国語 I』（白帝社）1,545 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	戸 張 嘉 勝 <small>と ばり よし かつ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を学ぶ。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して行なう。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験、期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記『中国語精選サラダ』（単語と基本文型）2,200 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	杉 山 静 <small>すぎ やま やすし</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語 I の履修に不十分な人の為に中国語の基礎的なものを与える。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は中国語の最も重要で基礎的なものである発音を重点的に授業をする。発音第一主義から、基礎句型、常用語句の授業に入る。同時に、簡単な文法、句法の解明も行う。

履修上の留意点

中国語発音システムである「漢語拼音方案」の修得に力を注ぐべき。漢字の発音、読み方に留意し、日本漢字との異同を比較する。

成績評価の方法

出席を最重視するが、授業に臨む態度も真面目でなければならない。年間通じて四回の試験やテストがある。出席率とテストの成績を総合的に評価する。

教科書

杉山静編『中国語実験教材』（金安出版社）1,000 円

参考書等

辞書は必要で、試験のときに使用を認める場合がある。但し、辞典は特定しない。各自で購入すればよい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点 授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法 学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書 楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	天野 節	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 中国語に興味を持ち、独習していけるようなきっかけを作りたい。

講義の内容・授業スケジュール 新出語句の発音と意味の確認。文法の説明と練習後、会話文の発音と意味を確かめて練習する。

履修上の留意点 予習、復習、必ず授業に出席。

成績評価の方法 出席、授業態度、課題、テストで総合評価する。

教科書 榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

参考書等 授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点 最初の3、4回は中国語の発音をきちんと確認しながら進むので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、1回に1課のペースで進むが、学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
1時限の授業であるが、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法 前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書 関根謙著『基礎固め中国語』（同学社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	まくら げ かず のり 櫻 庭 和 典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点 授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法 平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書 小川郁夫著『中国語初級対話 64』（白帝社）1,550 円

参考書等 辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他 授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう たい お 曹 泰 和	全学科2・3・4年	2

講義のねらい バリエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	り うん 李 雲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 丁秀山・坂井ひとみ『やさしい入門中国語』（金星堂）2,300 円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	み たむら けい こ 三田村 圭子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・
授業スケジュール 最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点 前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法 前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教 科 書 相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円

参 考 書 等 第1回の授業時に。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	お がわ たかし 小 川 隆	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点 発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしょげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法 年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。

教 科 書 楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	こ ぎょく か 胡 玉 華	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 学習者がすでに持っている貴重な中国語学習の経験を生かして、発音と文法の基礎を学び直す。また、語学の勉強を通して、異文化への理解及び関心を深める。

履修上の留意点 各学習者の事情に合った学習指導を行うため、以下の点を守ってほしい：①1回目の授業に必ず出席する；②その後の授業をやむを得ず欠席の場合、事前申請或いは事後報告が必要。

成績評価の方法 平常点（出席、宿題の状況によって採点）、小テスト、定期試験によって行う。

教 科 書 竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版 中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

佐藤晴彦・玄幸子『私だけの中国語テキスト』（光生館）2,600円（予価）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A 〔再クラス〕	李 雲	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教 科 書

山下輝彦『中国語でコミュニケーション』（金星堂）2,400円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	禅・仏教3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ピンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているので興味をそられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習、復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教 科 書

荒屋勸、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語－故事成語－』（朝日出版社）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A 〔再クラス〕	おおくぼ あきお 大久保 明 男	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

- (1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。
- (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。
- (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価

教 科 書

伊景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	しお はた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

日常の中で中国語に触れる場面が当たり前となりつつある中、短文の大意を掴んだり簡略に意思を伝える文を書けることは、専攻を問わず有用な教養となり得る。この授業はそうした時代の要請に応えるコンピューターリテラシー（読み書き能力）の初歩的訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書以外に、中国の大学生との交信を想定した簡単な作文を2課ごとに作り、メールで提出する。

履修上の留意点

後期には習熟度に応じ、提携校である上海・華東師範大学の学生と通信を行う。生身の人間が相手である。真剣に取り組んでほしい。

成績評価の方法

前・後期ともに宿題の評価を積算し、欠席点を減じる。欠席は3回目から10点ずつ減とし、遅刻2回で欠席1回と数える。

教科書

董燕・遠藤光暁『インターネットで中国語』（三修社）2,600円

参考書等

辞書は小学館または講談社の『中日辞典』（共に第2版）および小学館『日中辞典』（第2版）を推奨する。極端に薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安易な辞書は役に立たない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	り 李 うん 雲	禅・仏教3・4年	2

外国語

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

千鳥英一『楽しく話そう中国語』（金星堂）2,000円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点 最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法 前・後期のテスト及び出席点。

教科書 宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』(大学書林)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いまお 大 岩 功	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール 文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点 予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法 数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書 寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等
辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

江澤照美『パソ ア パソ』（同学社）2,700円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎ の めくみ 荻 野 恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下記テキストを使用し、単身赴任中の父親が暮らすバルセロナにサッカー留学をする太郎君のストーリーを通じて、接続法・現在までの文法事項を整理しながら学習すると共に、日常の会話表現やリスニングにも慣れていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの第1課から第7課、後期は第8課から第12課まで進む予定である。又、各課の理解度に応じ、適宜プリントを配布する。

履修上の留意点

毎回、必ず予復習を心掛け、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

小池・上野『スペイン語を学びましょう』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎのまさし 萩野雅司	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	スペイン語を通して、スペインのみならず、日本では、ともすると遠く、縁のうすいと思われがちな中南米の文化にも親しむ機会を持つことを狙いとする。
講義の内容・授業スケジュール	過去に学んだ事を今一度根本から見直して、スペイン語の基礎を習得する。
成績評価の方法	原則として年2回正規のテストを行うが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行わない。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価する。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとうまりの 佐藤麻里乃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。
履修上の留意点	初回の授業で述べる注意事項を守ること。
成績評価の方法	出席率、授業態度、課題の出来具合により評価する。
教科書	寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）
参考書等	『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） 『新スペイン語辞典』（研究社）など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもとくみこ 福本久美子	禅・仏教3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	基礎文法を一通り終えることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。
成績評価の方法	前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
教科書	西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	禅・仏教3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	禅・仏教3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎文法を復習した後、直説法未来、現在完了、過去、未来完了、過去完了更に接続法の用法を学習し、より複雑な構文が理解できるように指導する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ 田 ひて やす 廣 田 英 靖	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）定価未定

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	木 村 英 明 きむら ひであき	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	安 徳 ニーナ あん とく にーな	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	禅・仏教3・4年	2
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕			

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	禅・仏教3・4年	2
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕			

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

〔英 語〕〔選択科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	はやし 林 おき 明 と	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから観賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを uses。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まえだ 前 田 おさむ 脩	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめにイギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みませ。庭園の概念についての説明はしませんが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教 科 書

- (1) 『イギリス庭園物語』(南雲堂) 1,200 円
- (2) コピーを使用

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	よこもり 横 森 まさ 正 ひこ 彦	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

多読を行い、その内容を理解することを狙いとする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期1編、後期1編、約100ページ以内の小説を取り上げて読み進めていきたい。

履修上の留意点

十分予習を行い、授業に参加して下さい。

成績評価の方法

授業態度(発表など)、テスト100点、レポート100点、欠席—1回4点減点などを総合して評価します。

教 科 書

The Woman in White, Wilkie Collins (南雲堂フェニックス) 1,200 + 税

参 考 書 等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	竹村恵都子 <small>たけむら えつこ</small>	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

馬場彰・佐藤和哉『*Current English - 2002/2003 Edition*（時事英語 - 2002/2003年度版）』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	林明人 <small>はやし あきと</small>	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	河内賢隆 <small>かわうち けんりゅう</small>	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本テキストは最新の新聞の論説やコラムを集めたものである。イギリス系のものが多いので、表現は少し堅いかも知れない。語法がしっかりしているので、きちんとした英語の力をつけるには恰好のテキストである。諸君と共に地味に学んでいきたい。「教えることは学ぶことである」

成績評価の方法

どの程度の学生が集まるかわからないが演習形式で授業をすゝめたい。出席点と発表点を重視する。それに二回の定期テストの結果を加えて評価する。真面目な態度ならば、少し位結果が悪くとも良い評価を下す。

教科書

『時事英語 2002/2003』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち あい かず あき 落 合 和 昭	禪・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の子習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスを受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てようとする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『口語英語の基本的総合演習』（鶴見書店）1,442円
- 2) *Idioms*（オックスフォード大学出版局）2,200円
- 3) 『グッド・ウィル・ハンティング』（松柏社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office2002を使いこなすことである。Office2002は Word (ワープロ), Excel (表計算), PowerPoint (プレゼンテーション), Schedule+ (スケジュール管理)を中心としたアプリケーションである。Wordと電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア)の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方

方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-203教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

本学でのPC講習を受講し、KOMAnetのUserIDとPasswordを取得済みであることが前提となります。授業時間内に完結しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。受講人数は30名程度に限定します。4月第一回授業時間にアンケートを実施しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語ⅡDの振り替え科目として選択できます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English I by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 II (夏季集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエイド, D. A.	全学科2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レ-ン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Reference Books Dictionary

そ の 他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まさ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材。
テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティヴに授業をすすめる。到達目標は TOEIC 700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

そ の 他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC, TOEFL のテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4, 5月：ビデオテープを用い、TOEIC の基本的な練習問題による復習。
 6月と7月第1週：TOEIC スコア700程度を目指した聞き取り練習（添削指導）。
 7月第2・3週：TOEIC リスニング模擬テスト。
 9, 10月：TOEFL のテスト用練習問題の添削指導。
 11, 12月：パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
 最終授業日：テスト

履修上の留意点

Email で連絡・添削等をするので、自習室 (KOMAnet) あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録30名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができることを確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教 科 書

LL 事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies*、*English Master Box (1) (2)*、*Cambridge Preparations for the TOEFL Test* 等を使用します。

参 考 書 等

教場で指示します。

英 語 L L III

〈英語 LL III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL のスコアー500点以上、TOEIC のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	岸 本 茂 和 <small>きし もと しげ かず</small>	全学科2・3・4選	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

前授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。授業の性質上筆記試験を実施するかどうかは未定。

教 科 書

開講時に指示する。

外 国 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	久 保 ひさ子 <small>く ぼ ひさこ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

natives の lecture が聞きとれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

workbook になっている text を、聞きとり、書きとり、録音、再生、反復練習する。前期と後期、各々 announcement を各一回、dedate を各一回、参加すること。

履修上の留意点

LL class は、本来、laboratory による practical training のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50%

教 科 書

Michigan Action English Step 6 (World Times Japan)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC 900程度）をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、プレゼンテーションを中心とした会話コースとなる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

その他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。
 使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL事務室備え付け）。
 使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	まつおかすすむ 松岡晋	禅・仏教3・4選	4

外国語

講義のねらい

ある程度以上の内容を備えたドイツ語の文章を読むことによって、ドイツ語圏の政治、社会、文化にかんする知識を得ることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、授業担当者が選んだ数点のなかから受講者の希望に合わせて、最初の時間内に決定する予定であります。選ばれたテキストを訳読することが中心となりますので、毎回、予習すること、および疑問点を明確にしておくことが求められます。

履修上の留意点

外国語の原テキストを読むことは、誰にとっても簡単なことではありません。ともかく、ねばり強く、独話辞典とほぼ毎回配布される説明コピーを参照しつつ、一年間頑張ってくださいることを切に願っております。

成績評価の方法

成績評価は、最低限2回以上行われる筆記試験に平常点を加味して行うつもりです。くれぐれも定期的出席を！

教科書

コピーで配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ド イ ツ 語	野 ^の 島 ^{しま} 利 ^{とし} 彰 ^{あきら}	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

ドイツでは環境政党である「緑の党」が政権に参加し、環境問題と自然保護、そして動物保護に積極的に取り組んでいます。環境問題先進国であるドイツの状況を知り、日本を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教 科 書

教材には記事のコピーを配布します。

参 考 書 等

日本の新聞で環境問題・動物保護についてよく読むことが、ドイツの記事を理解する早道です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 ド イ ツ 語	栗 ^{くり} 原 ^{はら} 万 ^{かず} 修 ^{のぶ}	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづけられれば、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉強経過を中心に総合的に判断します。

教 科 書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L I	小 ^こ 林 ^{ばやし} ゲアリンデ	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れた。適宜宿題を課す。

教 科 書

テキストは教室で配布する。

そ の 他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 LLⅡ	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	^{くり} 栗原 ^{はら} 万 ^{かず} の ^ぶ 修	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けないと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法 (14課)』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	^お 織田 ^だ 繁 ^{しげ} み ^み 美	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位まで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちはだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位を辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教科書

Stufen 1 (Klett社) 3,580円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語Ⅱ（選）	ちも ずみ いきむ 百 濟 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任しているが、そこでの真摯な学部学生、院生、研究者の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

短期大学生を含めて専門課程に視野を置きながらの語学研修を目指す必要がある。これまでの蓄積を生かし、さらに使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英会話の併用を行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

毎回の出席が前提だ。それ故に出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

会話中心故に、毎回教場でプリントを配布する。

参考書等

既に1年次に購入している「ドイツ語辞書」及び「ドイツ語文法書」を毎回持参のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

2年次までに学習した文法の知識・語彙・読解力を生かし、かつさらに深めながら、きちんとしたフランス語の文章を熟読すること。

講義の内容・授業スケジュール

フランス現代作家の読み易い短篇小说からはじめて、少しずつ程度の高い作品に挑戦していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。自分で読み解くことが大切です。一人だちのためにも。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定しています。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

ル・クレジオの『樹の国への旅』から読みはじめますが、教材はこちらで用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事フランス語	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

フランス（語圏）社会の状況や動きを、フランスのTVニュースをとおして垣間見ること。同時に新聞記事の読解。

講義の内容・授業スケジュール

TVニュースを聴き取ることは至難のわざですが、文字に書き落としたものを配布しますから、まずは（新聞記事とともに）読む練習から。1年の終わりには少しは聴き取れるようになって欲しいと思います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。解説を聞きに来るのではなく、自分で読み、発音し、できれば聴いてみるのが大切です。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定していますが、参加者の人数によっては口述方式に変更するかもしれません。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

そのつどプリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	小 ^こ 玉 ^{だま} 齋 ^{なり} 夫 ^お	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

カルトン・西 著 『資料で読み解くフランス語』（第三書房）1,800円

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} 、M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーパーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 ^{みくら} 、M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
上記の教材をコピーして学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田清子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、フランスの大学生の日常生活やパリをはじめ代表的な地方都市を話題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス人の日常生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

小倉孝誠、小倉和子著『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	長谷川光明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田禮彰	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。

講義の内容・
授業スケジュール

発音・文法についてもしっかり確認しながら、フランス語のテキストを丁寧に読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

テキストは授業開始時に受講者と相談の上、決定します。

参考書等

そのつど授業で指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語外国書講読	佐藤 普美子	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小説）を読んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	塩旗 伸一郎	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読（初見）と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的にピンインのルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取。

参考書等

辞書は中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社 or 小学館）、中国語辞典（白水社）を推奨する。これらよりはるかに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

その他

教場は総合情報センター。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 中 国 語	かまや おさむ 釜 屋 修	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい 今年度は長文解釈力の向上を目標とし、短篇小説、ショート・ショート、随筆等を取りあげる。

講義の内容・授業スケジュール 受講者が分担して、朗読・翻訳を行い、現代中国の社会、人間の生きざま等についての理解を深める。

履修上の留意点 きちんと出席し、予習をすること、積極的に作品と向きあって考えること。

成績評価の方法 読解能力、発音と口頭表現の技術を重視する。出席状況、期末試験の成績とあわせ評価。

教 科 書 釜屋修・王迺珍『北京文学小景』（三修社）1400円

参 考 書 等 中辞典以上の辞典をもつことが望ましいが、開講後に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 L L I	さとう ふみこ 佐 藤 普美子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい 初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を目ざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点 予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法 平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教 科 書 楊達他『音で覚える中国語会話特訓』（同学社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 L L II	おがわ たかし 小 川 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点 短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法 出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教 科 書 楊凱榮『表現する中国語』（自帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	らん 蘭 めい 明	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	かま や 釜屋 おさむ 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音の基礎、基本語法の習得をめざす。耳でしっかり聞き、大胆に発声、表現して現代中国語の楽しさを学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音の習得、発音表記であるピンインの修得を前期の目標とする。後期は学んだ発音のいっそうの向上をめざす。

履修上の留意点

I A (選) とあわせて受講することも可能であるが、この科目だけ選択した人は、週一回のみの学習となるので欠席のないようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況、日ごとの受講態度、平常点・小テスト・期末テスト等の成績を参考に総合的に判定する。

教科書

西川和男ほか『楽々中国語』CD付、(白帝社) 2,400円

参考書等

開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつ もと あつ とし 松 本 丁 俊	全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活等が理解できる内容で、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点として、授業中の発音、訳し方、練習などをチェック、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・干小薇『中国語の魅力』（好文出版）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語外国書講読	真 下 祐 一 <small>ま しも ゆう いち</small>	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで多岐にわたる分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。「困難なものほど刺激的だ」とキューバの詩人J・レサマ・リマは言っています。

講義の内容・授業スケジュール

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多くのテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。

履修上の留意点

個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけて講読が行えるようテキストの選定にあたります。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加を評価します。

教 科 書

初回の授業で受講者と話し合っ決定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事スペイン語	上 野 勝 広 <small>うえ の かつ ひろ</small>	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

インターネットを通じて入手できる最新のニュース記事を中心に、生きのいいマスコミのスペイン語を講読します。
受講者が辞書を使いながら独力で内容を理解できるよう、時事文の特徴や表現法を体得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

最初は短くわかりやすい記事からゆっくり丁寧に読みはじめます。慣れてきたら徐々にスピードを上げて、この種の文章に対して必要な多読速読ができるように進めてゆきます。

履修上の留意点

受講者は毎回指名され、記事の訳読や内容に関する質問を受けます。予習を怠らず出席することが重要です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験やレポートは課しません。

教 科 書

コンピュータおよびプリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級スペイン語	上 野 勝 広 <small>うえ の かつ ひろ</small>	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験・レポートは課しません。

教 科 書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバ口, ホワン J.	全学科 2・3・4 選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者

※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。

授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

Viaje al español

テキスト及び VTR 教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバ口, ホワン J.	全学科 2・3・4 選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者

※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。

授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教科書

『*Viaje al español* 上級編』

テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	なか がわ きよし 中 川 清	全学科 1・2・3・4 選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 2・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
『新スペイン語辞典』（研究社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 II (選)	おさ の まさ し 荻 野 雅 司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教 科 書

プリント配布

そ の 他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語LLI	安徳ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考に平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 L L II	あ ん と く 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A (選)	ク ロ チ コ フ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディールンゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B (選)	木 村 英 明 きむら ひであき	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 II (選)	安 徳 二一ナ あん とく にいな	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Iで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS WE SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語 I A (選)	宋 美 玲 ソン ミ リョン	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝 鮮 語 II (選)	そん み りよん 宋 美 玲	全教科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900 円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000 円

そ の 他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

4 保 健 体 育 科 目



保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要索であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	〈磯崎優子〉	205
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義〉	206
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤政之〉	207
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木淳平〉	208
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	209
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹田幸夫〉	210
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈舘岡儀秋〉	211
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	212
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈山口良博〉	213
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	214
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴木淳平〉	215
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳)	〈大石武士〉	215
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー)	〈秋田浩一〉	216
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村正義〉	217
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ゴルフ)	〈鈴木淳平〉	218
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道)	〈高橋俊介〉	219
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧野茂〉	220
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈山口良博〉	221
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴木淳平〉	222
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	223
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	224
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	224
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	225
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	226
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	227
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	228
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	229
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期/応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	229

生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ 前後期／応用 (バドミントン)	〈鈴木 淳 平〉	230
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ 前後期／応用 (卓球)	〈牧 野 茂〉	231
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ 前後期／応用 (バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	232
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	233
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	234
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三 幣 晴 三〉	235
生涯スポーツ実習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈竹田幸夫 他〉	236
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈佐藤政之 他〉	237
健康・スポーツ論 1 〈佐藤政之〉		238
健康・スポーツ論 2 〈大石武士〉		239
健康・スポーツ論 2 〈川村正義〉		240
健康・スポーツ論 2 〈牧野茂〉		241

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

月曜日・1時限	※竹田	体操
	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ
	光永	トレーニング
	山口	卓球
	川村	室内球技
	佐藤	ジョギング
	鈴木	ソフトボール
	磯崎	フリーダンス

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日		
1時限								
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用	牧	前期・応用
		バドミントン		ニューススポーツ※		卓球		バスケットボール
	濱	後期・基礎	後期・応用	後期・応用		後期・応用		
		バドミントン	ニューススポーツ※	卓球		バスケットボール		
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	前期・応用	牧	前期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技		卓球
	濱	後期・応用		後期・基礎	後期・応用	後期・基礎		後期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※	室内球技	卓球		バスケットボール
4時限	大	前期・応用	石	前期・基礎	鈴	前期・応用	木	前期・応用
		簡化太極拳※		室内球技		バドミントン		
	石	後期・応用		後期・基礎		後期・基礎		後期・応用
		簡化太極拳※		室内球技		バドミントン		

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科保健体育

科
保
健
体
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	いそ ざま ゆう こ 磯 崎 優 子	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ダンスは古代の宗教舞踊に始まり、近世におけるバレエの発展を経て、現代では自由な身体表現を目指し、踊り楽しむものとして発展している。「ジャズダンス」・「HIPHOP」・「HOUSE」など、現代の舞踊のジャンルは多く、高度に発達すると、人々の鑑賞の対象となり芸術になった。この講義を通じて、簡単な基本運動や筋力トレーニングから少し難しいテクニックまでを身につけ、芸術スポーツとして踊り楽しんでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時間目
- 3 時間目 ・ストレッチ1（準備運動）
- 4 時間目 ・基本動作1（クラシックバレエ含む）
- 5 時間目 ・筋力トレーニング（腹筋や腕立て伏せ）
- 6 時間目 ・ストレッチ2（柔軟）
- 7 時間目 ・基本動作2（肩・胸・腰など自在に動かす訓練）
- 8 時間目 ・いろいろなステップ
- 9 時間目 ・コンビネーション（毎回異なったショートダンス）
- 10時間目
- 11時間目 上記の順番で毎回すすめていく。
- 12時間目
- 13時間目：発表会用の振り付け
- 14時間目：〃
- 15時間目：発表会と評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウエアとジャズシューズ又は室内用スニーカーを用意すること。（裸足やソックスでは滑るので危険。）

成績評価の方法

毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は最後の発表会で個人点とグループ点の両方で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむらまさよし 川村正義	禅・仏教1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	佐藤 政之 さとう まさゆき	禅・仏教1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10 時限目：試合(勝ち点制)
- 11 時限目： 〃
- 12 時限目： 〃
- 13 時限目： 〃
- 14 時限目： 〃
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルール解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	禅・仏教1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだ せきお 夫 竹 田 幸 夫	禅・仏教1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たて おか よし おき 館 岡 儀 秋	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 8 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時限目：打撃練習 (パッティング)・ルール of 解説
- 12 時限目：打撃練習 (パッティング)・ラウンドにおけるマナー、エチケット of 解説
- 13 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつ <small>な</small> が <small>よし</small> <small>てる</small> 光 永 吉 輝	禅・仏教1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	やま くち よし ひろ 山 口 良 博	禅・仏教1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	たなか よしたか ながはま ともお 田中 佳孝・長濱 友雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目： 〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3時限目： 〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5時限目： 〃 (ゲーム)
- 6時限目： 〃 (ゲーム)
- 7時限目： 〃 (ゲーム)
- 8時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目： 〃 (ゲーム)
- 13時限目： 〃 (ゲーム)
- 14時限目： 〃 (ゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後：ク
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前：ク
- 5日目午後：ク

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(卓球)	かわむらまさよし 川村正義	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4日目午前：ダブルスゲーム。
- 4日目午後：ダブルスゲーム。
- 5日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(ゴルフ)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション
グリップ、アドレス、スイング
打撃練習 (7・9アイアン)
- 2日目：打撃練習 (7・9アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
打撃練習 (5アイアン)
打撃練習 (5アイアン)
- 3日目：打撃練習 (W1・W3)
打撃練習 (W1・W3)
打撃練習 (アプローチ)
打撃練習 (アプローチ)
- 4日目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説
打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
ラウンド (模擬コース)
- 5日目：ラウンド (模擬コース)
実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

- 雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川グラウンド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(空手道)	たか はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 ①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 ②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 ①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 ②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 ③（カット、ブッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
 （後期）12月21日（日）～25日（木）
 7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	やまぐちよしひろ 山 口 良 博	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	すずき じゆん へい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	<small>おお いし たけ し</small> 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保 科
健 体
育 目

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すず き じゆん へい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	まきの 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時 限 目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時 限 目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時 限 目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時 限 目：シングルスゲームの練習
- 8 時 限 目：
- 9 時 限 目： } 総合練習、シングルスゲーム練習
- 10 時 限 目：
- 11 時 限 目：
- 12 時 限 目：
- 13 時 限 目： } 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時 限 目：
- 15 時 限 目：

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まきの野 牧 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、-halfコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、halfコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、halfコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense① half・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense② half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛練するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しのぶ	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓 球)		全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
3 時限目：サーブ、ラリー
4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
8 時限目： }
9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
13 時限目： }
14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バスケットボール)		全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゆん いち 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス業打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的のスポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・バッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・バッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

その他

- (1) 実施期間：平成 15 年 12 月 21 日（日）～25 日（木）
12 月 21 日更衣の上、午前 10 時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000 円程度必要である。
- (5) 定員：40 名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
特・4 時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけ だ ゆき お 他 竹 田 幸 夫 他	全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：①宿泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 3) 定 員：30名
- 4) 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 5) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 6) 服装・用具：
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレイカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	佐藤 政之 他	全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 40名
スノーボード 10名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 保
健 体
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	さとうまさゆき 佐藤政之	禅・仏教1選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 ♪：♪（食生活と栄養）
- 4 ♪：♪（運動不足と成人病）
- 5 ♪：♪（平均余命と寿命の伸び）
- 6 ♪：♪（健康のための生活習慣）
- 7 ♪：♪（喫煙・飲酒）
- 8 ♪：♪（ストレス社会と健康障害）
- 9 ♪：♪（ストレスと健康測定）
- 10 ♪：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 ♪：♪（スポーツマンのトレーニング）
- 12 ♪：♪（スポーツマンの運動処方）
- 13 ♪：♪（スポーツ医学の一般知識）
- 14 ♪：♪（スポーツと環境・条件）
- 15 ♪：まとめ

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教 科 書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700 円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700 円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	かわむらまさよし 川村正義	全学科選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを念頭に、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。そして今から「知識」と「態度」が連動して成り立つ「行動」を起こしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 講義のねらいと内容説明
- 2 時限目 健康や体力と考え方
- 3 時限目 運動・スポーツの実施の意義
- 4 時限目 ・生物学的意義
- 5 時限目 ・社会的意義
- 6 時限目 ・教育学的意義
- 7 時限目 健康と体力の現状
- 8 時限目 運動・スポーツの実践
- 9 時限目 ・運動の仕組み ・運動技能
- 10時限目 ・トレーニング方法と障害
- 11時限目 ・体力測定と評価方法
- 12時限目 運動・スポーツ実施の効果
- 13時限目 ・身体的効果 ・身体の発達成長
- 14時限目 ・心理的効果 ・生活習慣病の改善
- 15時限目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」

履修上の留意点

数回の小テストを行う予定

成績評価の方法

定期試験と受講態度を加味して評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

参 考 書 等

- 『健康・体力のための運動生理学』(杏林書院)
- 『健康と運動の科学』(大修館書店)
- 『スポーツと寿命』(朝倉書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 牧野 しのぶ 茂	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃 ・ 〃 ・ 〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科
保
健
体
育
目

II 專門教育科目

科
專
門
教
育
目

Ⅱ. 専門教育科目

禅学序	説〈永井政之〉	249
仏教学序	説〈片山一良〉	249
仏教学序	説〈松本史朗〉	250
坐禅	I 〈小坂機融・岩永正晴・晴山俊英〉	250
宗典	典〈小坂機融〉	251
宗典	典〈岩永正晴〉	251
宗典	典〈石井清純〉	251
禅学研究	I 〈岩永正晴〉	252
禅学研究	II 〈峰岸孝哉〉	252
禅学研究	III 〈熊本英人〉	253
禅学研究	IV 〈晴山俊英〉	253
仏教研究	I 〈吉津宜英〉	254
仏教研究	II 〈田上太秀〉	254
仏教研究	III 〈吉村誠〉	255
仏教研究	IV 〈飯塚大展〉	255
インド仏教史	史〈田上太秀〉	256
パリーピット仏教史	史〈奥平龍二〉	257
チベット仏教史	史〈四津谷孝道〉	257
中国仏教史	史〈岡部和雄〉	258
朝鮮仏教史	史〈石井公成〉	258
日本仏教史	史〈飯塚大展〉	259
中国禅宗史	史〈石井修道〉	259
日本禅宗史	史〈佐藤秀孝〉	260
禅籍講読	I 〈石井修道〉	260
禅籍講読	II 〈佐藤秀孝〉	261
禅籍講読	III 〈石井清純〉	262
禅籍講読	IV 〈大谷哲夫〉	262
仏典講読	I 〈岡部和雄〉	263
仏典講読	II 〈四津谷孝道〉	263
仏典講読	III 〈伊藤隆壽〉	264
仏典講読	IV 〈吉村誠〉	264
宗史	史〈長谷部八朗〉	265
インド仏教文化史	史〈金沢篤篤〉	265
中国仏教文化史	史〈永井政之〉	265
日本仏教文化史	史〈袴谷憲昭〉	266
日用経典	典〈飯塚大展〉	266
禅学概論	論〈佐藤秀孝〉	267
仏教概論	論〈吉津宜英〉	268
中国古典語初級	級〈石井公成〉	268
インド哲学史	史〈金沢篤篤〉	269
中国哲学史	史〈前川亨〉	269
西洋哲学史	史〈中村友太郎〉	270
インド仏教思想史	史〈松本史朗〉	270
中国仏教思想史	史〈伊藤隆壽〉	271
原始仏教概論	論〈片山一良〉	271
真宗学概論	論〈渡邊了生〉	272

淨真	土	学	概	論	〈休	講				
日蓮	言	学	概	論	〈休	講				
新宗	蓮	教	学	概	論	〈北川	前肇	272		
神道	宗	教	概	說	〈長谷部	八朗		273		
外国語	道	概		說	〈休	講				
外国語	仏	書	講	読	〈四津谷	孝道		273		
禅学	国	語	講	読	〈大西	龍峯		274		
禅学	特	講	I	〈峰岸	孝哉			274		
禅学	特	講	II	〈晴山	俊英			274		
禅学	特	講	III	〈熊本	英人			275		
禅学	特	講	IV	〈石井	清純			275		
仏教	特	講	I	〈池田	魯參			276		
仏教	特	講	II	〈飯塚	大展			276		
仏教	特	講	III	〈四津谷	大孝			277		
仏教	特	講	IV	〈奥野	光賢			277		
仏教	伝	道	概	說	〈皆川	広義		278		
仏教	伝	道	研	究	〈皆川	広義		279		
青少年	問	題	研	究	〈讚岐	真佐子		280		
青少年	指	導	演	習	〈平野	学		281		
宗教	法	概	說	〈洗		建		282		
詩書			偈	道	〈塩崎	幸雄		283		
現代		と	仏	教	〈峰岸	孝哉		284		
宗教	学	概	論	〈長谷部	八朗			285		
キリス	ス	ト	教	概	論	〈挽地	茂男	286		
イリス	ス	ラ	ム	教	概	論	〈菊地	達也	287	
哲学	概		說	〈飯田	巨	之		288		
宗教	哲	概	學	〈河	谷	淳		288		
現代	哲	学	概	說	〈戸	田	洋樹	289		
仏教	民	俗	学	〈須	藤	寛人		289		
宗教	教	育	論	〈小	山	一乘		290		
心理	学	概	論	〈間	島	英俊		291		
パ	ー	リ	語	初	級	〈片山	一良	291		
パ	ー	リ	語	上	級	〈福田	一孝	292		
サン	ス	ク	リ	ッ	ト	語	初	級	292	
サン	ス	ク	リ	ッ	ト	語	上	級	292	
チ	ベ	ッ	ト	語	初	級	〈松	本	史朗	293
チ	ベ	ッ	ト	語	上	級	〈木	村	誠司	293
中国	古	典	語	上	級	〈小	川	隆	294	
ラ	テ	ン	語	上	級	〈上	野	勝広	294	
仏教	文	献	学	〈野	沢	佳美		295		
中国	文	学	講	読	〈末	木	恭彦	295		
禅	美		術	〈海	老	根聰		296		
仏教	美		術	〈武	笠	朗		296		
坐	禅		II	〈永	井	政之	石井	清純	297	
演習	I	・	II	〈飯	塚	大展		297		
演習	I	・	II	〈池	田	魯參		298		
演習	I	・	II	〈石	井	修道		298		
演習	I	・	II	〈石	井	清純		299		

演習	I	・	II	〈伊藤隆壽〉	299
演習	I	・	II	〈岩正晴〉	300
演習	I	・	II	〈大谷哲夫〉	300
演習	I	・	II	〈岡部和一雄〉	301
演習	I	・	II	〈片山一良〉	301
演習	I	・	II	〈金沢篤人〉	301
演習	I	・	II	〈熊本英人〉	302
演習	I	・	II	〈小坂機融〉	302
演習	I	・	II	〈佐藤秀孝〉	303
演習	I	・	II	〈田上太秀〉	303
演習	I	・	II	〈永井政之〉	304
演習	I	・	II	〈長谷部八朗〉	304
演習	I	・	II	〈晴山俊英〉	304
演習	I	・	II	〈松本史朗〉	305
演習	I	・	II	〈皆川広義〉	305
演習	I	・	II	〈峰岸孝哉〉	306
演習	I	・	II	〈吉津宜英〉	306
演習	I	・	II	〈吉村誠〉	307
演習	I	・	II	〈四津谷孝道〉	307

科
專
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禪 学 序 説	<small>なが い まさ し</small> 永 井 政 之	禪1必	4

講義のねらい

長い仏教の歴史から見れば、菩提達磨（ボダイ・ダルマ）によって伝えられ七、八世紀以降に本格的に展開した「禪」は、いわば新興勢力に過ぎません。でも後の中国の仏教や日本の仏教を考える上で禪をはずすことはできません。しかし禪を学ぶためには、まず仏教に関わる基本的な知識が必要です。

この授業ではまずインドを起源とする「仏教」が、そもそもどのような教えを説く宗教であるかを概説します。ついで中国に伝わった仏教のあらまし、そして禪の基本的な立場、さらにはその歴史へと講義をすすめたいと思います。

すぐに理解できることもあるでしょうし、なかなか理解できないものもあるでしょう。必要に応じて参考書（辞典や研究書、概説書）なども紹介しますから、やる気だけは失わないで出席してください。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席や課題図書についてのレポートの結果などを総合して評価します。

教 科 書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）定価 1,600 円
『宗教学Ⅱ』（更正社）
そのほか適宜プリント資料を配付します。

参 考 書 等

授業中に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 学 序 説	<small>かた やま いち ろう</small> 片 山 一 良	仏教1必	4

講義のねらい

仏教を学ぶ者に必要な基礎的知識の獲得を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、仏教の学問と信仰に触れ、世界の宗教、仏教の歴史と文化を概観する。
前期は、「仏伝」をテーマに、仏・法・僧について講義する。
後期は、「信仰と智慧」をテーマに、戒・定・慧について講義する。
ただし、いずれも経典を中心にしてその理解を求めるものである。

履修上の留意点

仏教学は、もとより「歴史」と「比較」に基づいて成り立つが、人格全体による学である。学びに丁寧であることを期待したい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教学序説	まつもと しろう 松本史朗	仏教1必	4

講義のねらい

これから仏教を学ぼうとする新入生諸君が、仏教研究に必要な基礎的知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

仏陀である釈尊の伝記、原始仏教の基本的教理、その後の仏教の歴史的思想的展開、仏教の經典の説明、術語の説明等を中心に講義する。

成績評価の方法

期末テストによって評価する。

教科書

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅 I	こさか きゆう いわなが しやうせい 小坂機融・岩永正晴 ほれやま しゆんえい 晴山俊英	禅・仏教2必	4

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教的知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのであれば、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勸坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- ① 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- ② 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- ③ 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- ④ 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳粛に勤めること。
- ⑤ 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- ① 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- ② 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勸坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	こ 小 坂 機 融	禅 2 必	4

講義のねらい	道元・瑩山両祖の主著について概説し、その主要な巻ないし章を講読する。
講義の内容・授業スケジュール	前期では両祖の主著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説し、次いで『伝光録』の首章と第五十一章とを講読し、後期では『正法眼蔵』『身心学道』等を講読する。
履修上の留意点	本講座は、仏教学部に学ぶ者が当然熟知していなければならない最も基本的な事柄であるので、十分身を入れて真摯に取り組んで頂きたい。
成績評価の方法	理解度を知るための小テストと夏季休暇中の宿題レポートおよび定期試験、これに出席状況を加味して評価する。
教科書	『正法眼蔵』および『伝光録』の該当箇所をコピーして配布する。
参考書等	『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林）。その他は授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	いわ なが しやう せい 岩 永 正 晴	仏教 2 必	4

講義のねらい	曹洞宗で両祖と仰ぐ道元禅師・瑩山禅師の主著について概説し、その主要な巻ないし章を講読する。
講義の内容・授業スケジュール	先ず両祖の主著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説する。次に、『正法眼蔵』『仏道』ならびに『伝光録』『第五十二祖（懐奘禅師）章』の講読を行う。
履修上の留意点	安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。
成績評価の方法	学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。
教科書	テキストはコピーしたものを配布する。
参考書等	『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社刊）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林刊）。その他は講義の中で適宜紹介する。

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	いし い きよ ずみ 石 井 清 純	仏教 2 必	4

履修上の留意点	曹洞宗の開祖である道元・瑩山両禅師の著作を通じて、禅籍の読解力を養いつつ、日本曹洞宗の宗風の基礎を学ぶ。
成績評価の方法	はじめに両禅師の著作を俯瞰し、日本曹洞宗における両者の位置付けと「宗典」の定義について考える。その後、『伝光録』・『正法眼蔵』の順に、テキストを読み進める。『伝光録』は、「釈迦牟尼章」及び「道元禅師章」を、『正法眼蔵』は「行持」の巻を予定している。
参考書等	前期終了時にレポートを課す。それと学年末の筆記試験によって評価する。
その他	プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 学 研 究 I	いわ ^{なが} 岩 ^{しやう} 永 ^{せい} 正 晴	禅 2・3 選 必 仏教 2・3 選	4

講義のねらい

本講座の主題は「禅の教義」である。いま仮に、「仏教の教義とは、釈尊の語った自己・世界・真理などに関する教説を、のちの仏弟子たちがこれを組織的体系的に表わしたことばである」と定めてみよう。すると、みずからの全生命をかけて直接的に、釈尊と同等の境涯を体得し表現しようとした禅者たちは、教義の確立から縁遠いように思われる。しかし一方では、この禅者自身の言動が語録などの禅籍に教説として記録され、読まれ、さらに注釈が加えられて教義化したのも事実である。そこで本講座では、禅者の言動（教説）・禅籍（教説の記録）・禅籍への注釈（組織体系化）という営みの成果全体を「禅の教義」と見做し、講義を進めることとする。具体的には、『大智禅師偈頌』を取り上げる。入元経験もある大智禅師（1290-1366）の偈頌は、多くの主題を詠み、形式・内容ともにすぐれたものとして広く読まれ、多数の注釈書が作成されており、格好の題材となると考える。

講義の内容・授業スケジュール

まず『大智禅師偈頌』の解題をおこなう。次にいくつかの偈頌を取り上げ、その主題・偈頌の内容・注釈書の示す理解の順で解説をおこなう。

履修上の留意点

安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

教科書

『續曹洞宗全書』『歌頌』所収本をコピーして配布する。

参考書等

伊吹敦『禅の歴史』、石井修道『中国禅宗史話』、鏡島元隆監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ』1-3、水野弥穂子『日本の禅語録 大智』他。その他は講義で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 学 研 究 II	みね ^{きし} 峰 ^{こう} 岸 孝 哉	禅 2・3 選 必 仏教 2・3 選	4

専
門
教
育
目

講義のねらい

本講座は、禅の実践的教義を通して禅における修証の真意義を参究する。

講義の内容・授業スケジュール

禅における清規の成立とその歴史的課題を背景にして、禅における修証観を、特に道元禅師の修証観に焦点を合わせ、『永平広録』、『正法眼蔵』などの実践的な面を取り上げて考察する。

履修上の留意点

関連する資料を配布し、その文献を随時講読するので、配布された資料はよく読んでおいてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席などの平常点ならびにレポート、および期末試験にて行う。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅲ	くまもと えい にん 熊本英人	禅2・3選必	4
		仏教2・3選	

講義のねらい

禅学研究Ⅲは、「教団」を主題とする講座である。近世における、宗学の主張や、仏教に対する批判なども視野に置きながら、明治維新以降の曹洞宗教団の近代化の諸相とその問題点を中心に講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の近代化とはいったい何であったのか。明治以降、仏教教団は、僧侶の世俗化や、教義の再構築など、大きく変貌してきた。さらに、近年の、檀家制度の崩壊や、「葬式仏教」への批判などまで含めて、仏教教団はさまざまな問題を抱えてきた。ここでは、近現代の曹洞宗教団の諸問題や、その変遷の持つ意味について考えてみる。

仏教教団の理想と現実の乖離を見ることによって、教団の存在意義を考える手がかりとしたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験またはレポート。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

柏原祐泉著『日本仏教史 近代』（吉川弘文館）2,524円
池田英俊編『図説日本仏教の歴史 近代』（俊成出版社）1,942円

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅳ	はれ やま しゆん えい 晴山俊英	禅2・3選必	4
		仏教2・3選	

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められ、仏道のスタートは戒律に求められるが、日本においてこれらが現実に遵守されているとは言い難い。形式的側面に着目すれば、現代社会における戒律・清規の遵守は確かに難しいことなのかも知れない。しかし、その精神性は日常生活のあらゆる場面に想定することができよう。その意味において戒律・清規の現実的な役割を模索してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色、ならびに各清規の成立年代・背景・特徴等を概観した後、曹洞宗の清規の内容的歴史を探っていきたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

戒律にしても清規にしても、「何故こうなったのか」ということを考えられたい。

成績評価の方法

受講者が少数であればレポートの提出に出席の状況を加味して評価したい。逆に受講者が多数であれば期末試験にて評価したい。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅰ	よしづ よしひで 吉津 宜英	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

仏教研究Ⅰの目的は釈尊以来、今日に到るまでの仏教者達の教理や思想を研究することです。それらのなかには相互の矛盾するものや、対立するものもありません。また、いったいこれを仏教と認定して良いか疑問になるような教理もあります。それらをできるだけ偏見なく公平に認識したいものです。私は釈尊の白洲（自己を抛り所にする）と法洲（法を抛り所とすること）の教えが重要であると考えています。法洲の立場からすればこれが仏教であるというある一定の基準は存在するものと思われまます。問題は白洲です。白洲は自分を抛り所として、自覚を深めてゆくことですので、人間の多彩なあり方がそのままその人の仏教観に反映すると言えまます。そこで、自分の考えを是とすれば、ある特定の人の仏教観を仏教ではないと批判することもありうるわけです。しかし、私は何らかの教理や思想を仏教ではないと批判することには慎重でありたいと考えています。それは批判する側の自分の立場そのものも問題であると考えからずです。必要なことは、自分の仏教観と古典的な人物や現代の仏教者との絶えざる対話の努力であると思ひます。それが研究ということでしょう。他の人の仏教観をどれだけ正確に理解するかということが、自己認識にも反映して、白洲の公平さに繋がるものと考えまます。講義の中心に釈尊の初転法輪で説かれた中道を置き、それぞれの教理や思想の特色とその特色が発揮される原因をできるだけ公平に深く究明してゆきたいと考えまます。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、最初に律蔵の小品などを読み、釈尊の中道の立場を確認しまます。それは苦楽の二辺を離れる中道と呼ばれるものです。他にも有無の二辺を離れる中道や断常の二辺を離れる中道もありますので、全体的に釈尊の中道説の構造を明らかにしまます。そして、なぜ釈尊が中道を主張し、その立場から他の思想や宗教にいかに対処したかを検討しまます。次に、釈尊以降の仏教の諸形態を取り上げ、中道の立場から、それぞれの問題点を指摘しまます。最後に、現代の日本社会の中で、仏教が活性化し、社会の諸問題に向かつて善い提案を行うことができる思想構造を提案したいと思ひます。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を筆記すると共に御自身の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと思ひます。質問は大歓迎ですが、私語は厳禁です。厳しく注意しまます。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、それらの結果を総合的に勘案し、成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、できるだけ参考資料としてのプリントを配布しまます。

参考書等

講義の際、随時参考図書などを紹介しまます。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅱ	たがみ たいしゆう 田上 太秀	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

本講義は仏教の修行論を講ずる科目である。

講義の内容・授業スケジュール

初期仏教より大乘仏教（インド）に亘る仏教修行の種々相を多面から論述しようと思ひている。すべて書下しの原稿をもとに講述するので、毎時間コピーを配布し、参考に供する。

履修上の留意点

授業には必ず出席し、配布資料を参照しながらノートに記入する姿勢が望ましい。

成績評価の方法

期末テストをもって評価する。

教科書

教科書はない。

参考書等

配布資料に関連してその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅲ	よしむら まこと 吉村 誠	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

唯識思想は中国に伝播して独自の発展をとげ、東アジア地域における仏教の基礎学となった。本講義では、中国における唯識思想の展開と、その間に発達した教義について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに唯識思想の基本的な教義—心識説・三性説など—について解説する。つぎにそれらの教義が中国でどのように受容されたのかについて、歴史的展開—地論学派・撰論学派・唯識学派—にそって検討する。その際、唯識思想と如来蔵思想との交渉に注目し、それが以後の東アジアの仏教にもたらした影響についても考えをめぐらせたい。

履修上の留意点

唯識思想や如来蔵思想の基礎を学びたいもの、思想史の研究を志すものの受講を期待している。出席励行。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる総合評価。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業において随時紹介する。従来概説には混乱があるので、その問題点も検証する。

その他

授業は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅳ	いいづかひろ のぶ 飯塚 大 展	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

室町時代の仏教について、仮名法語・絵巻物・お伽草子・抄物（禅籍抄物・切紙等）を用いながら、講義を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、仮名法語・絵巻物・お伽草子を中心に講義し、後期は切紙史料を用いながら、葬祭・施餓鬼会等の儀礼について、当時における意味を考察する。

履修上の留意点

本講義用のノートを準備し、授業内容を記録すること。

成績評価の方法

夏期休暇中の課題レポートと、期末試験にて評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

石川力山『禅宗相伝史料の研究』

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教史	たがみ たい しゅう 田 上 太 秀	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。

たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年の講義に準じて本年の講義は進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯
ブッダの系譜、ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩提樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想 四諦八正道
- 第5章 仏教の分類
地域的区分、教理展開の時代的区分、修行の価値的区分
- 第6章 アショーカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の種類と思想

教科書

テキストはコピーを配布する。

参考書等

佐々木教悟ほか著『仏教史概説（インド篇）』（平楽寺書店）750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ仏教史	おく だいら りゆう じ 奥平龍二	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インドで発祥し、スリランカで大成した上座部仏教（テーラヴァーダ、パーリ語を聖典用語とする「南方上座部仏教」）は、11～14世紀に東南アジア大陸部のモン、ミャンマー、タイ、クメール、ラーオなどの諸民族によって順次受容され、この地域にパーリ仏教文化が興隆する。これらの民族は上座部仏教を基軸として政治的統合を行い、王権とサンガ（教団組織）の強い結びつきのもと「仏教国家」という独特の政体を樹立した。この政体が崩壊した今日も、ミャンマー、タイ、カンボジア、ラオスおよびカンボジア系住民の居住するベトナム南部の一部では、「上座部仏教圏」という共通の文化領域を形成している。

本授業では、まず、上記のような東南アジア大陸部の歴史文化的枠組（基層文化から「インド化」を経て「シンハラ化」への文化変容）を把握した上で、インド、スリランカを経て東南アジアに至る上座部仏教史（パーリ仏教史）を各国別に概観する。次いで、東南アジア大陸部における仏教の受容と変容の問題を取り上げる。特に、ミャンマーを事例として、出家と在家、上座部仏教と民間信仰、女性と仏教等の関係に焦点を当てながら、東南アジア大陸部の仏教の特徴を考察する。最後に、東南アジア地域の仏教の最近の動向を探る。

講義の内容・授業スケジュール

開講時に年間の授業計画概要を提示する。

成績評価の方法

年2回の期末レポートおよび授業への参加姿勢（ビデオ教材鑑賞後の感想文等）を総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は特に定めず、毎授業時にレジュメないし資料を配布する。

参考書等

開講時に関連文献をまとめて紹介する。

その他

授業は基本的に講義形式。ビデオ、OHPなどの補助教材も積極的に使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット仏教史	よつ や こう どう 四津谷孝道	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

チベット仏教は、長い間アジアの一边境地の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年の仏教研究においては、チベット仏教の理解が如何に重要であるかが見直されつつある。授業では、仏教研究においてチベット仏教が有するその重要性を様々な角度から闡明してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

思想史的な側面と文化史的な側面から、チベット仏教の形成、その変遷、そして現状を説明する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業に必要な資料は、授業において随時配付する。

参考書等

山口瑞鳳：『チベット』（全二巻）（東洋叢書3）（東京大学出版会）
松本史朗：『チベット仏教哲学』（大蔵出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	おがべ かず おお 岡部 和雄	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

中国における仏教の歴史的発展を時代に分けて概説的にたどり、その道すじや特色を明らかにする。いうまでもなく中国仏教という語は Buddhism in China の意味で一般に用いられているが、Chinese Buddhism (「中国人の仏教」または「中国の仏教」)をも意味するのであろう。そして後者の意味するところは、インド仏教や日本仏教とは異なる“中国独自の仏教”ということになろう。この観点に立てば中国仏教史とは、中国独自の仏教の形成史にはかならない。

中国仏教史を正しく理解するには、2つの前提が必要と思われる。1つはいうまでもなく仏教についての知識である。仏教はインドの起源であるから、インドのオリジナルな仏教についての予備知識が不可欠である。他の1つは中国史とくに中国思想史についての大きな知識である。中国では紀元前にすでにインドに劣らない多彩な古典哲学（諸子百家の思想、とくに儒家と道家の思想）が開花した。インドから伝来した仏教は、それらの中国固有の伝統思想と出会い、抗争し、融合した。中国は新しい外来の宗教である仏教を受容して仏教化した。他方、受容された仏教は、それまでの仏教（インドや西域の仏教）とは相貌を異にするほど著しく中国化されてしまった。このように考えれば、中国仏教史とは「中国の仏教化」と「仏教の中国化」を同時に1つの歴史過程のなかにふくむものであり、この2つの契機を思想のダイナミズムとしてたえず注目していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに全体を12章に分けた講義内容を提示する。

履修上の留意点

特に教科書を指定しない。しかし中国仏教史の通史、概説書、研究書は、内外にわたって豊富なので、必要に応じて、それを紹介し、学説が対立している場合は、その問題点を集約し論評を試みる。中国史については『中国史研究入門』上下（山根幸夫編、山川出版社 1983）がすぐれている。

成績評価の方法

年度末の試験による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮仏教史	いし い こう せい 石井 公成	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教に重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。その際、中国・日本・チベット・ベトナムなどの仏教受容との共通点と違いに注意したい。

履修上の留意点

漢文文献が中心となる。仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくような授業形態とするが、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢が必要となる。

成績評価の方法

年度末試験によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、平常点を加算する。

教科書

参考書は数が少ないため、授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。

参考書等

鎌田茂雄『朝鮮仏教史』（東京大学出版会）2,400円

専科
専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	飯塚大 展 <small>いづか ひろのぶ</small>	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

日本仏教史に関する枠組みについて概論し、仏教が日本の歴史的環境の中でいかに変貌を遂げ、独自の展開を経て定着していったのかを講義する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本仏教の源流としてのインド・中国・朝鮮半島における仏教受容の特色を論じた後、東アジアにおける仏教伝播の過程について論じる。ついで、日本への仏教伝来以来、飛鳥朝期の仏教について論じる予定である。

履修上の留意点

講義の中で紹介する仏教史関連の概説書や論文について、興味を持って読んでほしい。

成績評価の方法

前・後期各2回ずつの小テストと、期末のレポート試験によって判定する。

教科書

特に用いないが、随時レジュメを配布する。

参考書等

講義の最初に概説書の紹介を行うが、以降も講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修 道 <small>いし いしゅう どう</small>	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方折りにも触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨廬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭馮山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート(400字詰め5枚程度)の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	石井修道	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者として伝えられ、最も読まれてきた『六祖壇経』を今年度は読む。『六祖壇経』は六祖慧能（638～713）の伝記と説法の記録である。テキストには大きく3種ある。敦煌本・恵昕本・宗宝本（流布本）である。この講義では恵昕本『六祖壇経』を講読する。慧能の言行を知らないでは、禅を学んだとは言えない。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に六祖慧能の伝記（400字詰め5枚以上）のレポートの提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 II	佐 藤 秀 孝 <small>さとう しゅうこう</small>	禅 3・4 選必 仏教 3・4 選	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも宋代以降の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して宋代以降の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。南北朝時代の菩提達磨を初祖とする中国禅宗は、唐代に独自の発展を遂げて祖師禅として定着し、唐末五代には中国禅の五家（沩仰・臨済・曹洞・雲門・法眼の五宗）が起こり、北宋時代には臨済宗が黄龍・楊岐の二派に分かれている。宋代の禅宗には、頌古などの禅文学の興隆や、公案参究の看話禅の隆盛、五山十刹などの官寺機構の制度化、さらに日本への禅宗の伝来など、究明すべき興味深い課題が多い。そうした諸問題を踏まえながら、最初に宋代の禅宗と禅籍について講義形式で概観し、その後に『碧巖録』『宏智禅師語録』『大慧正法眼蔵』などの当該の禅籍を講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の語録・文集であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教 科 書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参 考 書 等

筑摩書房『禅の語録』シリーズの『輔教篇』『雪竇頌古』『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』『大慧書』『無門関』『禅関策進』など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	いし い きよ ずみ 石井清純	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できると考えている。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の宗峰妙超の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ること、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法和漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

『禅宗入門4 大燈』（講談社）
講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

専門教育
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅳ	おお たに てつ お 大谷哲夫	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

本講座は、近世・江戸時代、強固な宗教統制の下で展開された洞門の宗統復古運動を記録した『宗統復古志』（上下2巻）を主として、他のそれに関連する書物を併読しながら、その運動が醸し出し、それ以後の洞門の二大支流となった亘山道白（1636～1715）師とそれに対立する天桂伝尊（1648～1735）師を中心とする二派との宗義論争の比較検討を通して、“宗統”の現代的意義について参究する。

講義の内容・授業スケジュール

『宗統復古志』を演習形式をとりながら、かなりの速さで読み込んで行くので、その時間内に進む範囲ぐらゐの予習は欠かさずに行っておいてもらいたい。

成績評価の方法

出欠・レポート・期末試験による。

教科書

教科書となる『宗統復古志』（上下2巻・『曹洞宗全書』所収）は開講時にコピーを配布する。

参考書等

参考書は適宜に指示し、参考文献は適宜にコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅰ	おがべかずお 岡部和雄	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

本学の片山一良教授がパーリ仏典の新しい日本語訳をつぎつぎと刊行されている。そこで既刊のもの（中部経典）のなかから、適切なものを選び講読することにした。初期の仏典のつ、みずみずしい息吹きにふれつつ、仏説の原点を探求してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに「仏典入門」の意味で、初心者向けの仏典解題をする。われわれになじみぶかい漢文仏典についても新しい角度から問題点を洗いなおしたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。

教科書

テキストはプリントしたものを配布する予定。

参考書等

片山一良訳『中部マッジマニカーヤ』（全6冊、既刊4冊、大蔵出版刊）
大蔵経学術用語研究会編『仏典入門事典』（永田文昌堂刊）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅱ	よつやこうどう 四津谷孝道	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

仏教においては、一般に「真実」、所謂「悟り」の立場に固執するあまり、「思惟」を「執着」と短絡的に結びつけ、前者を軽視する傾向が少なからずある。この問題は、中観思想史上において、「真実を言語を通して論証すべきであるか否か」とする「中観自立派」とそれを認めない「中観帰謬派」の間で多くの議論が積み重ねられた。この授業では、中観思想発展史上において最も重要と思われるこの議論についての理解を深めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インド・チベットにおける中観思想の発展を概観した上で、次にチベットの最も優れた学僧の一人であるツォンカバ（1359-1417）の当該の問題に関する解釈を中心に考察を進めてゆきたい。

履修上の留意点

授業においては、サンスクリット語やチベット語の知識を必ずしも必要とはしない。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読 Ⅲ	伊 藤 隆 壽 <small>いとう たかとし</small>	仏教3・4選必 禪3・4選	4

講義のねらい

吉蔵撰『三論玄義』の講読
『三論玄義』は、中国隋代に三論(中論・百論・十二門論)の教学を大成した吉蔵(549-623)の代表的な著書である。内容は、三論宗の立場を鮮明にしつつ、インド・中国の仏教を概説しており、これを読むことによって、中国仏教のみならず日本仏教にも影響を与えた三論宗の特色を知ることができる。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講読予定は次の通り
第1篇 すべての教えの根本
第1章 破邪
第1節 外道に対する批判
第2節 毘曇に対する批判
第3節 成実に対する批判
第4節 大乘仏教の執見に対する批判
第2章 顕正
第1節 人についての正義
第2節 法についての正義

履修上の留意点

テキストは漢文なので、予習をするぐらいの積極的学習を望む

成績評価の方法

年度末の筆記試験による

教科書

テキスト・参考書は、最初の授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読 Ⅳ	吉 村 誠 <small>よしむら まこと</small>	仏教3・4選必 禪3・4選	4

専科
教育
目

講義のねらい

唯識思想に関する基本文献(漢訳)を講読する。唯識教学への理解を深めるとともに、漢訳仏典を正確かつ批判的に読む力を養ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は玄奘訳『解深密経』をとりあげる。『解深密経』は唯識の根本教典であり、『瑜伽師地論』の一部をなす重要な論書でもある。授業では本文内容の理解に重点をおくが、円測撰『解深密経疏』や遁倫撰『瑜伽論記』なども随時参照する。

履修上の留意点

漢文や中国語の学習歴は問わないが、受講者は訓読の予習をして授業に臨む必要がある。

成績評価の方法

平常点とレポートによる総合評価。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

太田久紀『仏教の深層心理』(有斐閣)
横山絃一『唯識思想入門』(第三文明社)
袴谷憲昭『唯識の解釈学—『解深密経』を読む—』(春秋社)

その他

授業は輪読形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 史	ほせべ はち ろう 長谷部 八 郎	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頹にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

中国で成立した「禅」は、難解とも言える「禅問答」でその名を馳せました。しかし「問答」が繰り返されるのは、それなりの理由があるからです。方外の人である禅僧といえども、社会と全く無縁では存在しませんでした。今年の講義は中国の民衆と禅との関係を考える一環として、禅僧の言葉にあらわれた中国の文化、特に風俗習慣との関係を論じてみたいと思います。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席、課題図書についてのレポートなどを総合して評価します。

教科書

適宜プリントを配布します。大切に保管してください。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、その問題に応じた関連文献を講読することを通じて、批判的に考察することを主眼とする。取り上げられる問題は多様になるかもしれないが、できれば、通史的に扱っていきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義において取り上げられる問題やその順序をここに明記することはできないが、だいたいは、下記に示すような予定である。

- 序 : 仏教東漸—半跏思惟像
 第1章: 『玉虫厨子』と捨身供養
 第2章: 『往生要集』と地獄極楽
 第3章: 『一言芳談』と後世物語
 第4章: 『日本史』における仏教
 第5章: 『新論』の国体論と仏教
 結 : 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

渡辺照宏著『日本の仏教』（岩波新書、1958年第1刷、2002年4月第61刷）定価740円＋税

参考書等

末木文美士著『日本仏教史』（新潮文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 用 経 典	い い つか ひろ のぶ 飯 塚 大 展	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日既存の仏教教団、主に平安仏教二宗、及び鎌倉時代に成立した諸宗において読論される経典について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教経典の成立過程を概観した後、漢訳仏典として東アジアに伝播した経典の受容形態について講義する。更に主要な経典（般若経典・法華経・浄土三部経等）について論ずる予定である。

成績評価の方法

平常点、及び期末テストによって評価する。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禪 学 概 論	佐 藤 秀 孝 さとう しゅうこう	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

禪学とは禪に関する学である。禪（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禪と禪宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禪学研究のあり方について触れるものである。禪宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禪を学問的に考察せんとするのが禪学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禪（禪定）について触れ、さらに禪の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禪（禪宗）の基本的な歴史（禪宗史）を禪思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禪宗にも及びたい。さらに思想面としては、禪の立場、禪の人間観・修行観、禪の生活さらに禪と文化、禪の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禪に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禪学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教 科 書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参 考 書 等

参考書としては伊吹敦『禪の歴史』（法蔵館）や駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）および田中良昭編『禪学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

そ の 他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	吉 津 宜 英	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

仏教概論とは仏教を全体的に把握し、仏教とは何かを明示することを目的とします。ただ、釈尊以来の仏教は多彩であり、ある場合には相互に対立したり、矛盾する場合があります。私は釈尊の自洲（自己を抛り所にする）と法洲（法を抛り所にする）の教えを重視します。法洲の立場では、この範囲の教えを仏教と認定して良いとの基準があると思います。ただ、問題は自洲です。人間は千差万別ですから、さまざまな自覚の形態があり、それによってさまざまな仏教観が生まれることとなります。この仏教概論では釈尊の教えとして縁起と中道を中心として把握し、私自身は現代の日本社会に生きる仏教研究者としての自覚の一端を披瀝します。ただ、仏教の特色は仏教だけを認識していても明らかになるものではありません。仏教以外の思想や宗教などを比較検討してみても始めて仏教の特色が鮮明になることもあります。そこで、私は現代の世界で無視できない思想や宗教として、一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム）、儒教、ヒンズー教、そして科学思想の四つを選び、仏教と対峙させてみたいと思います。それらとの比較によって、仏教の特色が強い点や弱い面、また濃い点や薄い面などとして総合的に把握され、現代社会で仏教の果たすべき役割も具体的に浮き彫りにされると考えております。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に釈尊の縁起や中道の教えの意義をインド思想史の立場から明らかにします。次に、それらの教えを私自身がいかにかに認識し、実践しているかを語ります。さらに、現在の世界で盛んに活躍している思想や宗教を取り上げ、それらの特色や意義を把握します。また、それらの思想や宗教と仏教との比較検討を行います。その上で、現代における仏教の意義や役割を明らかにします。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を記録すると共に皆さん方の意見や疑問を書き留めていって下さい。結果的に1年間の受講と思索の軌跡が残るようにしてもらうことを希望します。私が講義している最中でも手を挙げて質問して下さい。ただ、私語は厳禁であり、厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回の出席、年間2～3回の課題提出、最後の期末試験、これらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しませんが、参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

講義の中で、随時参考図書などを紹介します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 古 典 語 初 級	石 井 公 成	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『莊子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ン ド 哲 学 史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

履修上の留意点

日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常になにがしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教 科 書

早島鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）

参 考 書 等

講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 哲 学 史	まえ かわ とおる 前 川 亨	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視点を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにすることは、中国思想の強い影響を受けている日本人の思考様式を相対化することにもつながるであろう。今日の我々の主観的な価値観によって過去を断罪するような態度からはっきり一線を画し、評価する前にまず理解するように勉めよう。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は唐代から始めて近代（辛亥革命時期）に至る時代を扱う。その場合にも、断代史的にはなく、問題史的に進めていくつもりである。唐代以前の時代についても、前提となる知識には触れるように努める。「近代とは何か」特に「中国近代とは何か」ということが、全体を貫くテーマとなるであろう。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもつことが望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。積極的な問題関心をもっているひとの受講を期待する。継続して出席する意志と意欲をもたない者の受講はお断りする。

成績評価の方法

授業内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。ただし、継続して出席しないで、レポートだけ提出しても、決して単位を取得することはできない。

教 科 書

特に必要としない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多くの知識を提供するため講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起・討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋哲学史	<small>なかむらともたろう</small> 中村友太郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

古代ギリシア文明を源泉とする生命観や人間観の形成を歴史的に展望することを主眼とするが、なるべく古典的なテキストに触れることを重視したい。

講義の内容・授業スケジュール

そのために、前後期にそれぞれ1点ずつ、今年度はプラトンの作品を熟読するチャンスもきたい。

履修上の留意点

単なる知識の集積よりも、自分なりの思想史的展望がもてるように、自ら積極的に思考することが期待される。

成績評価の方法

夏休み及び学年末のレポート（各2ないし3千字程度）・毎回のリアクション・ペーパーにもとづく平常点などで総合的に成績評価する。

教科書

テキストは開講時に指示するが、適宜にプリント類を配布する。

参考書等

参考書は開講時に指示するが、適宜にプリント類を配布する。

その他

討論のチャンスはぜひ持つようにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教思想史	<small>まつもとしろう</small> 松本史朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a) 仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b) 原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(c) 部派仏教のアビダルマ哲学、(d) 大乘經典の思想(『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e) 中観派の空思想、(f) 如来蔵思想、(g) 瑜伽行派の唯識思想、(h) 仏教論理学の思想。

履修上の留意点

厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国 仏 教 思 想 史	伊 藤 隆 壽 <small>いとう たかとし</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教伝来以前の中国思想 2. 仏教の基本思想 3. 仏教の中国への伝来 4. 中国での仏教理解のあり方 5. 中国仏教思想の諸相

履修上の留意点

仏教のみならず中国伝統思想についても関心をもち、自主的に参加し学習してほしい。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教 科 書

コピー資料を配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 始 仏 教	片 山 一 良 <small>かた やま いち ろう</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
真宗学概論	わた べ のり お 渡 邊 了 生	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	自らを「愚禿」と呼び、「いつれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」と信知する親鸞（1173～1262）。当講義では、その生涯にもふれながら、親鸞浄土教の思想的特色をおさえ、親鸞が「生死出づべき道」として明らかにした「他力念仏道」を見つめていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	①親鸞教学の成立背景にある浄土教思想の概要 ②親鸞の生涯 ③親鸞思想の特徴（親鸞の弥陀身土論・他力廻向義・信心の構造と現生正定聚説、等） 上記のごとく講義をすすめる。
履修上の留意点	講義中に快適な私語・さわやかな爆睡をむさぼりたい学生にとっては、不快な環境となるであろうことを留意されたい。
成績評価の方法	原則として定期試験により、出席点・平常点を加味する。
教科書	毎講義時にテキストとしてレジユメを配布する。
参考書等	前田専学・山崎龍明編『親鸞入門』（永田文昌堂）。その他の参考書・文献については講義時に説明する。
その他	講義形式を中心とするが、可能であれば質疑応答の場も設けていきたいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日蓮教学概論	きた がわ ぜん ちょう 北 川 前 肇	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	日蓮（1222～82）の生涯をたどり、「法華経の行者」としての行動を確認する。そのことによって、日蓮の目指した仏弟子としての姿にせまる。
講義の内容・授業スケジュール	日蓮の生涯と代表的著作である『立正安国論』を講読する。
履修上の留意点	鎌倉時代の仏教者（道元、親鸞等）との比較を試みたいので、鎌倉時代の仏教に関心をもってもらいたい。
成績評価の方法	前期のレポート、後期のレポートと、通常の出席点を加えて評価する。2/3の出席を必要とする。
教科書	北川前肇編『原文対訳立正安国論』（大東出版社）1,800円。プリント配布。
参考書等	立正大学日蓮教学研究部編『日蓮辞典』（東京堂出版）。渡辺宝陽・小松邦彰著『日蓮』（日本の仏典9）（筑摩書房）。
その他	講義および講読、演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
新宗教概説	はせべ 八郎 長谷部 八郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

近年以降、我が国の諸宗教の中で、新宗教は看過しえない位置を占め、影響力を持つに至った。本講義では、そうした新宗教の歴史と実態についての基礎的な理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2つの視点からすすめる。まずは新宗教の歴史をトレースすることから始めたい。とくに神道系と法華系の諸教団が大きく勢力を拡大していった状況に着目する。また、新宗教の展開過程で、官憲やマスコミ、既成宗教がどのような対応姿勢をとったかについても考える。さらに新宗教発生の歴史的基盤をなす近世末期の社会的状況にも言及する。

次に、新宗教の具体的な活動の諸側面をとりあげる。とりわけ修行、儀礼・行事、布教などの実態に着目する。また、これら諸活動の思想的基盤となる教えの性格にも触れたい。

成績評価の方法

評価方法は開講後決定するが、授業の中で小論文を課し、成績に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語仏書講読	よつや こうどう 四津谷 孝道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、外国語で著された仏教に関する研究論文を読解することを通して、欧米の研究者の優れた仏教理解に触れることばかりでなく、語学力の向上も目指す。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、昨年度に引き続き、Tilman Vetterの"The Ideas and Meditative Practices of Early Buddhism"を教材とし、釈尊の悟りに関する諸問題についての同博士の興味深い文献学的成果を検討する。

履修上の留意点

授業においては、受講生にテキストを訳出してもらおう。各回においてはさほど多く進むつもりはないが、その分だけ予習・復習を綿密にしてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

上記（最初の授業の際に、必要な部分を配付する）

参考書等

授業において、随時紹介する。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語禪書講読	おおにしりゅうぼう 大西龍峯	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禪独特の表現や考え方を、日本語のみで触れていると、つい曖昧な形で感覚的に受けとめていたり、論理的な意味などにかまわず漠然と理解してしまっていることが少なくない。その点、英語に翻訳された禪の文献を読むことで、それらが具体的にどんな意味をもつのか、また実践的にどうとらえるべきかについて、より明確に考えてみる事ができよう。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は Philip Yampolsky “The Platform Sutra of the Sixth Patriarch” (『六祖壇経』) を読むことにします。

本書は禪宗史においてきわめて重要な著作であり、これまで多くの研究者がとりあげ、さまざまな角度から検討がなされてきました。それらの研究成果をふまえつつ、丹念に読んでいきたいと思えます。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

テキスト、資料等は、授業で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講 I	みねがしこうさい 峰岸孝哉	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

公案禪の成立

中国禅宗を通じて「公案」の成立と展開はまことに興味深いテーマである。この成立の過程・その歴史的 성격について考えることは、中国禅を理解する上で不可欠な手段であると思われる。今年度は禅宗における公案禅について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1「公案」の起源とその展開、2公案禅の成立について、3公案禅の意義について。

成績評価の方法

成績評価は期末試験の結果を中心とする。

教科書

テキスト・参考書は教場で指示する。

専科
専門
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講 II	はれやましゆんえい 晴山俊英	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禅戒のベースとなる『梵網経』を通じて、教家と禅家の立場の違いを明確にし、道元禅師ないし曹洞宗の戒律思想の特質を探る。

講義の内容・授業スケジュール

『梵網経』の成立について講じた後、各条項を追いながら教家と禅家における戒律の解釈の違いを中心に戒律の存在意義を探ってみたい。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、現実的な戒律の在り方を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

受講者が多い場合は期末試験に出席の状況を加味した評価を、少人数の場合はレポートの提出による評価を考えている。

教科書

石田瑞磨『《仏典講座14》梵網経』(大蔵出版) その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅲ	くまもと えい にん 熊本英人	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は、宗学研究史を主題とする。
宗学及び禅学の、近代以降の研究史とその分析を中心に講義を進め、さらに、宗学それ自身を思想史の一部として捉え、現代における宗学の持つ意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗学とは何か。禅学とは何か。宗乗とは何か。宗学は科学なのか、文化なのか。研究史や方法論も含め、あえてその定義を考えてみたい。
ここでは、明治以降の道元禅師の思想と伝記の研究を中心に紹介しつつ、現代における宗学の課題と問題を明らかにしていく。
また、これによって、受講者自身においても、自らの問題意識を確認し、その研究方法の基礎を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験またはレポート。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）5,825円
同編集委員会編『道元思想大系 全21巻 別巻1』（同朋舎出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅳ	いし い きよ ずみ 石井清純	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

一口に「禅」といっても、その具体的な表現方法は多様である。それは、多く、それを説く祖師の個性に依るところが大きい。その中でも、中国・日本それぞれの特徴付けを行いうることが可能であろう。この講義では、日本において選述された禅籍を読み進めながら、日本における禅の思想および修行形態の展開の様相を、中国禅の特徴と対比しながら理解してゆくことを目的とする。漢文で書かれたテキストを用いることにより、漢文の読解力も養ってゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、『永平初学道用心集(学道用心集)』を講読する。このテキストは、道元禅師が、初心者に対して、仏道を学ぶ用心をその心構えを示したものである。道元禅師の禅の基盤を理解するため、全十章を、第一章より順次読み進める。

履修上の留意点

テキストを一方的に講義するだけでなく、講義中に語句の意味の具体的な検索方法なども指示するので、基本的な辞書を各自でそろえておくこと。

成績評価の方法

講義中に随時課題を課す。また、各章の終了時にペーパーテストを行い、これと年度末の試験の三点を併せて成績を評価する。

教科書

プリント配布

参考書等

『道元禅師全集』巻五（春秋社）ほか。講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅰ	いけ だろ さん 池田魯参	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教の基礎学として必読書の一つである『天台小止観』を講読する。多くの人によって読み継がれて来た本であるから、伝統的な読み方が確立しており、仏教漢文を学ぶには最適のテキストである。本書は坐禅儀の模範として高い評価を受け、多方面に大きな影響を与えた。道元禅師や瑩山禅師の坐禅儀にもその影響の跡がみえる。後期には、諸禅師の坐禅儀を読みながら、天台止観の意義について明らかにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

『天台小止観』の中程にある「正修行章」の段から読んでいく。慣れて来たら当番を決め、順次に原文を読んでもらい、質問を受けながら、問題点についてコメントするような授業形態にしていきたい。

履修上の留意点

仏教の専門用語を厳密に調べ、意味を明らかにし、仏教の修理論とはどのようなものであるのか、体系的に把握してみようという学習意欲のある人を歓迎する。

成績評価の方法

平常点とレポート提出によって一括して行う。当番を担当した人、積極的に質問したり自分の考えを表明した人には高い評価を与えたい。

教科書

担当者がコピーしたものを使う。

参考書等

『天台小止観—禅の実践原理—』(岩波文庫本・関口真大校注)外。最初の講義で『天台小止観』の成立背景やその後の歴史的展開について講義する中で、その他の参考書や研究書・論文等について紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅱ	い い つか ひろ のぶ 飯塚大展	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

無住道暁(1226~1312)の著作『沙石集』『雑談集』等を通して、中世日本における仏教者の生き方とその思想について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

無住の伝記と著作について概説した上で、その著作の中からテーマ毎に用例を挙げながら講義を進める予定である。

成績評価の方法

平常点、及び期末テストによって評価する。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 Ⅲ	よつや こう どう 四津谷 孝 道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

「中観思想」、特に「空」という考え方をできるだけわかりやすく解説し、一人でも多くの学生に仏教教理に興味をもってもらうことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の主な内容は、以下のものである。Ⅰ中観思想理解の前提、Ⅱ中観派の開祖であるナーガールジュナの伝記とその思想の概観、Ⅲナーガールジュナの著書である『中論』の抜粋の講読、Ⅳ二諦説について、Ⅴインド・チベットにおける中観思想の展開。

履修上の留意点

受講生には発言の機会をできるだけ多く与えるので、積極的に自らの意見や質問をするよう努めてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

梶山雄一・上山春平：『仏教思想3 空の論理（中観）』（角川文庫）
中村元：『ナーガールジュナ』人類の知的遺産13（講談社）
中村元：『空の論理大乘仏教Ⅲ』中村元選集〔決定版〕第22巻
『講座・大乘仏教7 中観思想』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 Ⅳ	おく の みつ よし 奥 野 光 賢	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国、日本仏教における如来蔵・仏性思想の思想的展開の講義を目標とする。如来蔵・仏性思想は、「我が国の仏教諸宗派のほとんどが受け容れている教理で、大乘にとっての根元的なもの」といわれている。本講義では、こうした如来蔵・仏性思想の思想的展開を主として中国、日本仏教史上に跡づけることを目標とする。なお、近年、如来蔵・仏性思想に対しては、批判的見解も提示されているので、本講義では必然的にそれらの問題についても触れることになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

最初にこれまでの如来蔵・仏性思想に対する研究史の概説を行なう。それを踏まえた上で各論に及ぶ。今年度は『涅槃経』の講読をしながら中国、日本仏教における「仏性論争」を考察する予定である。

履修上の留意点

疑問点は、そのままにせず遠慮せずに質問してもらいたい。なお、配布プリント作成の関係上、履修希望者は開講初日には必ず出席されたい。

成績評価の方法

出席点とレポートによって評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、配布プリントによって講義を進める。年間を通じて相当な枚数のプリントを配布することになるであろう。

参考書等

参考書はあまたある。それらの一つについては講義中に適宜指示する。さしあたって、次の書のみをあげておく。高崎直道『増補新版・仏性とは何か』（法蔵館）定価2,800円（税別）。

その他

授業は、受講者の人数にもよるが受講生との対論がなされる形式になるよう努めるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道概説	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教における伝道について、理論と実践の二面より、概説したい。仏教伝道は、教主釈尊の生涯や教えを宣布する布教活動と、その教えにより人々を育成する教化活動よりなっている。理論面では、まず、釈尊の教えをふまえて、仏教における伝道の原理を明らかにして、なんのために伝道をするのかを把握したい。次に、①教法、②人間(対機)、③伝道法の三点より、生死の苦悩からの解脱道としての仏教伝道を説明する。実践面では、教えの広宣流布を中心とする布教活動と、教えにより人々を教化育成し、悟りと安心をあたえる教化活動に分け、現場における具体的実践を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 宗教における伝道 有所得の伝道と無所得の伝道
- II 仏教における伝道の原理
1. 教主釈尊の伝道 悲智慈の展開としての伝道
 2. 仏教伝道の歩み インド・中国・日本・その他の国々へ
 3. 仏教伝道における①教法②人間(対機)③伝道法(布教と教化)
 - ① 教法(仏法 教理 教え)
 - 1 菩提樹下の悟り 2 根本教理 縁起説 四諦説 3 教え 対機相応の説法
 - ② 人間(対機)
 - 1 仏教における人間、生命論(縁起、無自性、空、仮説有)
 - 2 未信者と信者 3 現代人の意識と行動
 - ③ 伝道法
 - 1 伝道者の理念(自信教人信、自未得度先度他、四摂法、自利と利他の伝道)
 - 2 伝道者の資格 3 布教教化カリキュラム(信仰の誘引と形成)
 - 4 伝道組織としての教団と、伝道の場としての寺院
- III 仏教伝道における布教活動と教化活動
1. 布教活動(未信者を対象とした伝道活動)
 - 1 文書布教 2 唱導布教 3 視聴覚布教 4 総合布教
 - 5 無意図的布教(仏教文化、寺院の社会活動など)
 2. 教化活動(信者を対象とした伝道活動)
 - 1 自己教化 2 1対1の教化
 - 3 禅的合宿研修による集団教化 4 法座(講、仏青、仏婦)
 - 5 儀礼(日曜礼拝、恒例法要、葬祭法要) 6 聖典講読会
 - 7 聖地巡礼(インド釈尊聖地巡礼、中国日本祖師聖地巡礼、観音霊地巡礼)
 - 8 写経 写仏など
- IV その他の伝道
1. 世代別伝道
 - ①児童布教 ②青少年伝道 ③婦人伝道 ④壮年伝道 ⑤老人伝道
 2. 地域別伝道
 - ①地方伝道 ②都市伝道 ③国外伝道

専科
教育目

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。仏教伝道の活動は、人々への思いやりと自己の安心形成のためになされるものであることを、この授業を通して学びとっていただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度(出席率など)、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

増谷文雄編『仏教の根本聖典』(大蔵出版) 定価 2,500 円

参考書等

大西憲明著『現代仏教教化法』(百華苑) 定価 2,000 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道研究	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

——対機研究と死の教育——

この仏教伝道研究では、伝道上とくに重要な課題をとりあげて、詳細にかつ深く考察する。このたびは、「対機研究」「葬祭儀礼」「死の教育」の三点をとりあげる。

「対機研究」では、仏教論、生命論をふまえ、新しい生命、人間科学の研究成果なども参照して、現代における伝道対機としての人間を考察する。

「葬祭儀礼」では、仏教の伝統的な葬祭儀則をふまえながら、現代人の葬祭に関する意識調査などを参照して、現在の仏教的葬祭より葬祭仏教を創造する道をさぐりたい。

「死の教育」では、生死の苦悩からの解脱道としての仏教の立場より、現代の「死の教育」の歴史、その内容などを考察して、安らかな死の受容をつくりだしてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 対機研究と仏教伝道
 - 1. 釈尊における生命論と人間論
 - 2. 現代科学の生命論と人間論
 - ① 生命の歴史（生命科学）
 - ② 生命の構造（分子生物学）
 - ③ 人間の歴史（文化人類学）
 - ④ 人間の生涯（生理学 医学）
 - ⑤ 人間の心（大脳生理学、心理学、社会学）
 - ⑥ 人間の苦悩（臨床心理学）
 - 3. 現代の人間論と伝道
- II 葬祭と仏教伝道
 - 1. 人間と葬祭について
 - 2. 仏教における葬祭の歴史
 - 3. 葬祭仏教 儀則と儀礼
 - 4. 現代人の葬祭意識
 - 5. 葬祭仏教の創造と伝道
- III 死の教育と仏教伝道
 - 1. 生老病死の教育としての仏教
 - 2. 「死の教育」の歴史
 - 3. 死に関する文化
 - 4. 現代人の死生観 死の不在の時代
 - 5. 死に対する恐怖（意識調査）
 - 6. 死の受容のプロセス
 - 7. 病名告知とターミナル・ケア
 - 8. ホスピス緩和ケアの理念と役割
 - 9. 悲嘆のケアと葬祭
 - 10. 脳死と臓器移植
 - 11. 現代における安らかな死の受容と伝道

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。今年のテーマ「人間 生命論」「葬祭」「死の教育」の考察を通して、生きた仏教伝道を修得していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度(出席率など)、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

- I 「人間 生命論」
植原和郎『人類進化学人間』（中央公論社）
『生命 40 億年はるかな旅』全 6 巻（NHK 出版）
- II 「葬祭」
主室諦成『葬式仏教』（大法輪閣）
- III 「死の教育」
キューブラロス『死の瞬間』（読売新聞社）
近藤裕著『自分の死にそなえる』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が長期化傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す一つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心のテーマになると思われる。講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達や事例に即して具体的に学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中で青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

授業は講義中心となるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

成績評価の方法

出席状況と定期試験

教科書

必要な資料は適宜配布する

参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法藏館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）『子どもの宇宙』（岩波新書 386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円
- ・小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』（心理臨床の実際2）金子書店 4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年指導演習	ひらの 平野 学	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が「青少年指導」について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例（不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング）の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題、セクハラやストーカー、ドメスティックバイオレンスの問題とそのカウンセリング(4回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験（ボランティア活動他）の報告と討議。同時にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(3回)
7. その他（全体の振り返り他）。(2回)

履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。

出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらおう、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)

尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話しするが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

成績評価の方法

学年末レポート（年間授業を振り返る形でのもの）、夏休みレポート（体験報告または読書感想）、平常点（出席等）の三本柱で行なう予定。尚、出席は7割以上を求めたい。

教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る（上下）』（創元社）各1,300円

参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える（上下）』（創元社）各1,300円

同 『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）1,240円

同 『ユング心理学と仏教』（岩波書店）1,800円

佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』（東大出版会）2,800円

乾吉佑・平野学編『臨床心理士になるには』（ぺりかん社）1,230円

他にも授業の中で随時紹介していきたい。

その他

VTRも多く使用して、具体的に学べるようにしたい。

授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 法 概 説	あらい けん 洗 建	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本の宗教法制について概説する。わが国における宗教法制の根幹は、憲法の保証する信教の自由と、政教分離の原則によって規定され、これに基づき宗教団体に法人格を賦与する目的で宗教法人法が定められている。憲法原理の意義をしっかりと理解した上で、今回の宗教法人法の一部改正問題を含めて民法と宗教法人法の間にある諸問題などを理解し、法の精神を理解することを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、現憲法の原理が導入されるまでの近代日本宗教法制史を概観する。信教の自由の理念がいかなる背景から生まれ、どのように導入されたのか、わが国の宗教文化との間にどのような問題が存在するのかを理解して貰いたい。

後半は、宗教法人法の諸規定について概説し、民法との関係、税制との関係、法の精神とその諸問題についての理解を深める。

履修上の留意点

将来、寺院に携わる人のために実務の問題にも触れなければならないが、寺院と関係のない人も多いようであるから、法の精神やその意義に力点を置いて講義する。具体的実務問題などで質問のある人は、積極的に質問して貰いたい。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

指定しないが、後半の授業では憲法第20条、第89条、および宗教法人法の条文を、六法全書などからコピーして、持っておくようにして貰いたい。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
詩 偈	しお ざき ぬき お 塩 崎 幸 雄	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

漢詩をつくる行為とは、わが国民族伝統の破壊消滅を防遏する最後に残された橋頭堡なのである。わが国の文化は、大陸所伝の漢字で書かれた文書を解読することより始まった。その解読の営為（すなわち訓読）により、日本民族の文章語が産み出され日本文化の礎が形づくられたということをまず第一に肝に銘ずべきである。つまりそれ以前の時代においては、わが民族は文化を有しなかったどころか、「文」すらも有しなかったわけなのである。明治維新後、応神朝以来積み上げられてきた古典的伝統は打ち捨てられて、昭和20年においては完全に廃滅した。それより今日に至るまで50年以上の星霜が流れ、作詩という行為がきわめてアイロニカルであり、時代錯誤を感じさせる行いであると一般的に認識されるに至っている。だがしかし、現今有識者の間で叫ばれつつある〈教養埋没〉〈道義地を払う惨状〉〈人間的尊厳の解体〉といった問題の解決の鍵が、作詩というおよそ問題解決の即戦力とは程遠いとみなされがちな行為のうちに潜められているのである。疑問と思う者はわが教場に來たれ。諸君は本講義においてきわめて重要な事柄を把持するであろうと信ずる。詩をつくるという行為は、単なる文字遊戯などではない。それは古典世界への突破口であり、人格陶冶のための秘論なのである。

講義の内容・授業スケジュール

旧字体の読み書き、漢和辞典の引き方より始め、そののち漢文に習熟させるため例年の如く司馬遷『史記』『刺客列伝』荆軻の条を読み古典的人士の詩的志操と詩的美意識を体得する。漢文への習熟なくして作詩など到底ありえないのである。ついで簡単な「漢作文」のあと、試作を課し、各自の感懐を規矩準繩を無視して綴らせ、その上で諸種の法則について伝授する。さらに多くの詩題を与え、実作練習を繰り返す。

履修上の留意点

受講者各自の果敢なる創作意欲の発揮を期待する。好餌を前にした牛馬の如く旺盛食欲に、能力の有無を問わず懸念なる挑戦を試みてもらいたい。単位は棚ぼた式に得られるものではなく、自ら努力して奪い取るものである。漫然と座席に座って講義を聴いているだけではなにも得られはしない。創作意欲に欠ける怠惰な学生は初回から最終回に至るまで出席謝絶である。

成績評価の方法

各自の提出した作品の程度により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

鈴木虎雄『支那詩論史』（弘文堂、昭和2年）、野口寧斎『少年詩話』（『寧斎詩話』（博文館、明治38年）所収）、森槐南『作詩法講話』（桑文社、昭和10年）、三浦梅園『詩轍』（『梅園全集』所収）、何文煥編『歴代詩話』（芸文印書館）、丁福保編『統歴代詩話』『清詩話』（芸文印書館）、郭紹虞編『清詩話続編』（上海古籍出版社、1983）

その他

本講義は、本来曹洞宗門子弟が将来住職となったときに葬儀時等に必要とされる作詩能力を養うためのものである。現在多くの寺院においては安直本や雛型を用いて「作詩をしたようなふりをする」悪弊が盛行しつつあると仄聞している。この授業では、かかる陋習を克服し、真に各自が自らの力で縦横無尽に作詩できるようになることを目標としている。己が感懐を己が言葉を駆使して詩に仕立ててゆくことをめざしているのである。すなわち各自が詩人としての意識を堅持し、真摯に受講することこそが要求されるのだ。したがって、本講義は本学のすべての授業のなかでも最も苛酷峻烈な授業といえようかと思う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	な す たか よし 那 須 隆 吉	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたるところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- 書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等）について理解を深める。
- 中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教 科 書

『書の世界』（中教出版）約 1,200 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 と 仏 教	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教が現代からさらに未来社会において果たす責任・役割とは何であろうか。しかもこれらの課題をすすめる立場とはどのような視点が確立されなければならないのか。この課題を、人権・反差別という視座を中心にして、検討し確認することを、この講義の目標とする。仏教が有する普遍宗教としての性格やその有効性は、こうした検討を通して、より一層発揮されると考えられるからである。

講義の内容・授業スケジュール

人権思想の世界的なながれを学習し、差別事象をとりあげていく。とりわけ仏教と差別の関係について、中心課題としたい。

履修上の留意点

単に知識としての学習ではなく、自分のくらしの中で、反差別とは何かを考えて欲しい。

成績評価の方法

レポート・期末テスト。

教 科 書

曹洞宗宗務庁編『差別語を考えるガイドブック』（解放出版社）

参 考 書 等

講義の進行に合わせてその都度紹介する。

そ の 他

必要に応じてコピーも参考にする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 論	はせべ はち ろう 長谷部 八 郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、日本人の宗教行動の特質を、既成宗教、新宗教、民俗宗教の比較検討を通して探究する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教学の基本的な術語や概念の解説を中心に進め、この学問の特徴を把握する。後期では、それを踏まえて日本宗教の性格を理解する。とくに、神仏習合と称される我が国の宗教の習合性・重層性に着目し、種々の儀礼を通して検証すると同時に、そのような形態を生んだ理由や背景について、歴史性を考慮しながら論ずる。

また、民衆の宗教的ニーズの在り様にも言及する。主に現代社会をめぐる、諸宗教の交錯する状況の下で、人びとは宗教に何を求め、かつ宗教はそれにどう対応しているのかを、具体例に沿って探ってみたい。

成績評価の方法

評価方法は未定である。なお、授業の中で小論文を課す予定である。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 論	ひき ち しげ お 挽 地 茂 男	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとする時、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している。(1) 宗教思想(ビリーフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や経典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される。(2) 宗教儀礼。この象徴な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらす。このように形成される。(3) 宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のビリーフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。(4) 宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際はこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

講義の内容・授業スケジュール

前期	1	キリスト教研究の射程	1) 宗教研究の立場と分野 (1)
	2	〃	2) 宗教研究の立場と分野 (2)
	3	〃	3) 宗教の構成要素 (1)
	4	〃	4) 宗教の構成要素 (2)
	5	聖書の思想	1) 聖書の虚無思想
	6	〃	2) 神の言の思想
	7	〃	3) 罪と救済の思想
	8	〃	4) 「救し」の思想
	9	〃	5) キリスト教における愛の思想
	10	〃	6) 隣人愛の思想
後期	1	聖書と文学	1) 史的イエスとキリスト (1)
	2	〃	2) 史的イエスとキリスト (2)
	3	〃	3) 遠藤周作のキリスト論 (1)
	4	〃	4) 遠藤周作のキリスト論 (2)
	5	〃	5) 映画「深い河」を見る (1)
	6	〃	6) 映画「深い河」を見る (2)
	7	〃	7) ドストエフスキーと聖書 (1)
	8	〃	8) ドストエフスキーと聖書 (2)
	9	キリスト教思想と倫理の基礎	1) 生への畏敬と倫理
	10	〃	2) キリスト教的死生観

専科
教育目

履修上の留意点

必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

成績評価の方法

試験と出席率

教科書

挽地茂男『キリスト教入門A』、『キリスト教入門B』(DTP出版)
『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

参考書等

挽地茂男『図解雑学キリスト教』(ナツメ社)
金子晴勇『キリスト教思想史入門』(日本基督教団出版局)
木田、山内、土岐編『聖書の世界』(自由国民社)

その他

授業の進め方—講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ス ラ ム 教 概 論	きくち たつや 菊 地 達 也	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

世界三大宗教の一つとされるイスラームであるが、仏教、キリスト教と比べた場合、日本人はあまりにイスラームに無知である。イスラームに関する限られた知識も、9・11同時多発テロ以降は特に戦争やテロリズムといった偏ったイメージによって覆われている場合が多い。

しかし、グローバル化が進み、否が応でもムスリム（イスラーム教徒）と無関係に生きることができなくなっているこの時代に、そのような無知が許されるわけがない。そこで、この講義においては、イスラームの創生から現代に至るまでの幅広い時代を取り扱い、その全体像を解き明かすことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

授業においては、7世紀におけるムハンマドのイスラーム創始とその後の歴史を概括し、宗教としてのイスラームの基本的なあり方について先ずは説明する。その後は、法学、神学、哲学、スーフィズム（神秘主義）、シーア派などの個別分野を取り扱う。授業の最終段階においては、現代イスラームの動向について概括する。ビデオなどの映像・音響素材、中東に関わる様々な事物を適宜紹介するので、学生にはムスリムの信仰や日常生活になるべく触れてもらいたい。

履修上の留意点

イスラームの全体像を把握するためには、なるべく全ての授業に出席してもらいたい。馴染みの薄い分野について話をする場合もありえるので、疑問がある場合には積極的に質問していただきたい。

成績評価の方法

夏休み明けに提出してもらったレポートとテストで成績を判定する。

参 考 書 等

教科書は特に定めないが、主要参考書は下記の通りである。それ以外の参考書については、授業内で紹介する。

井筒俊彦『イスラーム思想史』（中公文庫）

中村廣治郎『イスラーム教入門』（岩波新書）

マリス・ルスヴェン『イスラーム』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	飯田 巨之	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

生命の操作が大幅に可能となった時代にそれがどこまで許されるとすべきか、人間の尊厳を軸にすえて議論するのが本講のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)
生命操作とその問題；IVF、胚研究、遺伝子操作他。
人間の尊厳概念とその歴史；ストア派の思想、キリスト教における神の似姿と人間の尊厳、ルネッサンスにおける人間の尊厳の概念、パスカルとF. ベーコンにおける人間の尊厳概念の展開。
(後期)
カント哲学における人間の尊厳概念。
人間の尊厳、生命の神聖性と生命の操作。

履修上の留意点

教師の側からの一方通行ではなく学生諸君にも発言してもらいながら対話方式で授業を行うのでテキストを前もって読んでおくことが大切。

成績評価の方法

①最終回の論述テスト、②出席状況、③レポート、④授業中の質問、コメント等による授業への参加度により総合的に評価を行う。

教科書

特に定めない。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
金子著『ヨーロッパの人間像』（知泉書館）
高橋編『ヒトの生命と人間の尊厳』（九州大学出版会）
<http://www.fine.chiba-u.ac.jp/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教哲学	河谷 淳	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

宗教 (religion) が「信じる」ことであり、哲学 (philosophy) が「知を愛する」ことであった場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとするならば、両者は互いに対立するもののように見えるかもしれない。だが、そうした理解は古代ギリシア以来の西洋思想史をひとたび眺めてみるならば必ずしも事実とは言えない。宗教哲学とはそうした信と知とが織りなす「あやめ」について考える営みである。「宗教哲学」は、(1) 特定の宗教的立場に立ってそこから様々な哲学的問題について考える、あるいは、(2) 宗教という世界についての語り方を哲学的アプローチによって考える、との少なくとも二通りの仕方で行われる。本講義の趣旨はあくまで後者であって、授業では主に西洋の宗教哲学（とりわけキリスト教的哲学）を題材として取り上げはするものの、特定の宗教の教義についての解説を目指すというわけではなく、むしろ、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて考えてもらうところに本講義の目的はある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のようなテーマを取り扱う。宗教と哲学、ギリシア神話の性格、神話的語りと哲学的語りとの関係、信の論理構造と知の論理構造、神について語ることの意味、神の存在証明（宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明）、悪の問題、天使論

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

上枝美典『「神」という謎－宗教哲学入門－』（世界思想社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代哲学概説	戸田 洋樹	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀から20世紀の哲学を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

①功利主義 ②実証主義 ③マルクス ④生の哲学 ⑤現象学 ⑥実存主義 ⑦プラグマティズム ⑧分析哲学

成績評価の方法

レポートによる。出席を重視する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教民俗学	須藤 寛人	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。日本人の宗教とは何かを理解することは、日本人とは何かという問題に深く関わっていますし、ひいては自分とは何かを考えるための足がかりになると思われます。また、日頃、目にする出来事でも、そこに何かしらの宗教的意味が見いだされることがあります。視座を少し変えるだけで、それが可能になる場合もあります。本講義がそのための助けになればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

a. 宗教とは何か？ 宗教学とは何か？ 宗教と呪術。聖と俗。
 b. 儀礼。呪術。シャーマニズム。噂・怪談・都市伝説。
 c. 日本人の他界観。諸宗教の歴史。日本の宗教。現代の宗教状況。
 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。また具体的な事例やタイムリーな話題を交えて講義をおこなっていききたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験80%とし、出欠状況を加味して総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参考書等

授業の流れに応じて、適宜、紹介したいと思います。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教教育	こやま かず のり 小山 一 乗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。この不均衡を醸成してきた歴史的背景も検証する。

講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事例を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬等を注意深く観察する。(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を組上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実も見る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点——』(宣協社) 2,940円

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣) 1,600円

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 概 論	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,800円

参 考 書 等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものの後日配布はしません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パ ー リ 語 初 級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	禅・仏教2・3・4選	4

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前半は文法全体について講義し、後半は『清浄経』（Pāsādikā-sutta）を読みたいと思う。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

コピーにて配布する。

参 考 書 等

水野弘元『パーリ語辞典』（春秋社）

そ の 他

随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
パ ー リ 語 上 級	ふく だ たか お 雄 福 田 孝 雄	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

パリリ・テキストの中から、原始仏教の基礎を構成する諸文献を選び、仏教の発展史に沿って、講読して行く予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講読中のテキストに相当する他の資料も、必要に応じて適宜参照し検討を加える。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、平常の授業中の履修者の状態を参酌して、最終的に成績の評価を行う。

教 科 書

講読用の資料等は、適宜必要に応じて当方で用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
サンスクリット語初級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教 科 書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
サンスクリット語上級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際の力を養う。演習形式。

履修上の留意点

サンスクリット語初級程度の修了者であることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

教 科 書

ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R. Lanman, A Sanskrit Reader）OUP

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語上級	きむら せいし 木村誠司	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット人学僧の著作を読む。

講義の内容・授業スケジュール

チャンキャ ICang skya (1717-1786) 作『教義規定』は宗義文献として高い評価を受けている。本年度は、その中の『昆婆沙師』章を講読する予定である。講読は、ゆっくり、着実に進めたい。

成績評価の方法

評価は平常点によって行う。

教科書

テキストは初回にコピー配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語上級	小 ^お 川 ^{がわ} 隆 ^{たかし}	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

これまで精読を主に行ってきたが、近年は方針を転換し、多読をめざすことにしている。昔に比べて高校・大学で接する「漢文」の量が極度に少なくなり、語学的な知識を勉強しても、それがなかなか実際の読解力に結びつかなくなってきたからである。具体的には下記の教科書を使って詩・散文・小説の各分野の作品を選読する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は散文の作品を読み、中国古典語の基本的な文法・文型を学習する。後期は詩の形式と規則をおぼえながら有名な詩を読んでみる。予習・復習を怠らないなら、現時点で基礎学力に自信のない人でも、履修してもらってかまわない。

履修上の留意点

「中国古典語初級」か「中国語 IA-IB」か、できれば一方はすでに学び終えていることが望ましいが、それを履修の絶対条件とはしない。しかし、もしどちらもまだなら、なるべく今年度、この科目と並行して、少くともどちらかの勉強に着手してほしい（初回の授業で個別に学習相談に応ずる）。

成績評価の方法

平常点評価。

教科書

八木章好『古典文学二十講』（白帝社）2,000円

参考書等

辞書：『全訳・漢辞海』（三省堂）2,840円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラテン語	上 ^{うえ} 野 ^の 勝 ^{かつ} 広 ^{ひろ}	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第10課まで、後期は第11課から第24課まで進めます。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨んでください。また常に最低限の復習が欠かせません。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60%）に平常点（40%）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文献学	野 ^の 沢 ^{ざわ} 佳 ^{よし} 美 ^み	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教教典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵経の意義などを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、中国における大蔵経編纂の概観をおこない、おもに宋～元代以降の印刷大蔵経の変遷と周辺諸国への伝播などを取り上げます。後期では、明代以降の大蔵経を取り上げ、とくには明初の南蔵・北蔵・嘉興蔵などの各大蔵経の編纂経緯、仏典入蔵問題などを取り上げ、その問題点などを考えていきます。

履修上の留意点

本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。また講義の性格上、中国や朝鮮半島、日本の歴史についての基礎知識が必要となりますので、予習を欠かさないように努めてください。

成績評価の方法

出席状況と前期末・後期末のレポート提出にて評価します。また、随時課題を求めることもあります。

教科書

とくには定めません。随時プリントを配布いたします。

参考書等

『大蔵経-成立と変遷-』（百華苑、1989年再刊）、竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院、2000）、同「大蔵経編纂」（『大谷大学通信』50号、2000）、椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社、1993）、野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院、1998）。

その他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学講読	末 ^{すえ} 木 ^き 恭 ^{やす} 彦 ^{ひこ}	禅・仏教2・3・4選	4

科 専
目 門
教 教
育 育

講義のねらい

本講義は中国古典学文献講読であると理解してもらいたい。中国古典語（即ち漢文）で書かれた文献は、現代の文献と論理・修辭・構成が異なっている。この差異を理解しなくては、中国古典文献を読みこなすことはできない。本講義では、中国古典語で書かれた文献を読む為の基礎的教養の獲得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、江戸時代の僧千丈の詩文集『幽谷餘韻』から記事類を読む。この作品は一種の奇談集であり、東アジアの伝統的な意味での小説である。日本人の手になるが、正統の漢文（中国古典語）で書かれているので取りあげる。

授業は、内容を深く掘り下げるよりも、奇談の面白さを楽しみながら、できるだけ読み進みたいと考えている。

履修上の留意点

正確に読めるように十分豫習して授業に臨んで欲しい。又、大學生にふさわしい漢和辞典を必ず携えて来ること。

成績評価の方法

以下のものを材料として成績をつける。

1. 平常点（出缺だけでなく、授業への参加の程度、豫習の有無なども重要な材料とする。）
2. 試験又はレポート
3. その他（質問〈書面を出してもらおう〉任意のレポートなど）

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 美 術	う び お と し お 海老根 聰 郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禅美術を、禅僧の絵画活動としてとらえて述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

禅僧の絵画活動のはじまった鎌倉時代から、南北朝、室町時代の禅僧の絵画活動をたどるが、影響を与えた中国の動きについても適宜とりあげる。毎回スライドを映写。

成績評価の方法

成績は、学年末の試験によって行なうが、出題は授業中話したことから選択する。よって、出席することを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	む か さ あ き ら 武 笠 朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

東洋（インド・中国等）及び日本の仏教彫刻を中心とする仏教美術の流れを通覧し、信仰の変容がもたらした造形への影響を考える。前期にインドと中国、後期に日本の飛鳥から平安時代ぐらいまでを考える予定である。各時代の主要作例や重要課題を中心にして検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 仏教美術の研究方法 | 11 朝鮮半島 |
| 2 尊像の種類とその姿形 | 12 飛鳥前期1（止利仏師） |
| 3 インド1（パールフトとサーンチャー） | 13 飛鳥前期2（救世観音と百済観音） |
| 4 インド2（仏像の出現） | 14 飛鳥後期（半跏思惟像） |
| 5 インド3（ガンダーラ仏とマトウラー仏） | 15 奈良1（興福寺阿修羅像など） |
| 6 インド4（仏伝浮彫り） | 16 奈良2（東大寺法華堂諸像と大仏） |
| 7 中国1（敦煌石窟と炳靈寺石窟） | 17 奈良3（鑑真と唐招提寺諸像） |
| 8 中国2（雲岡石窟） | 18 平安前期1（神護寺薬師如来像） |
| 9 中国3（龍門石窟） | 19 平安前期2（密教の造像） |
| 10 中国4（単独造像） | 20 平安前期3（一木造り木彫像） |

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

前・後期の試験（あるいはレポート）の成績を中心に、出席状況、展覧会見学レポートなどを総合して評価する。

教 科 書

なし。講義資料を配布する。

参 考 書 等

『カラー版日本仏像史』（美術出版社）2002年。

そ の 他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅 II	ながい まさし いしい きよすみ 永井 政之・石井 清純	禅・仏教3・4選	4
坐 禅 I (再クラス)		禅・仏教(再クラス)	

講義のねらい

只管打坐の実践・学習

講義の内容・授業スケジュール

実習時間の前半は只管打坐、経行をはさんで後半は『坐禅用心記』を講じる。授業の実施要領および基本的な心構え等については、「坐禅I」に全く同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻を認めず、追再試験やレポート提出等による救済措置は、一切講じられない。また、坐禅堂内およびその周辺における、服装・態度・言語・動作等の厳粛・整齊なるを、きびしく要求するから、これらのことを予めよく承知しておくこと。

なお、学年度最初の授業には、席次の決定や必要な諸注意をするから、受講する者は全員かならず出席すること。

成績評価の方法

授業実施時間に対する出席時間数をもって機械的に判定する。ただし、坐禅堂の内外における服装・態度・言語・動作等に、著しく適当を欠くと思われる者、および、講本の忘失者は厳しく減点の対象とする。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演 習 I	いい つか ひろ のぶ 飯塚 大 展	禅・仏教3必	4
演 習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

『狂雲集』を読む。

林下大徳寺派の僧である一休宗純（1394～1481）の詩偈集である『狂雲集』の読解を通して、その生きた時代背景を明らかにするとともに、一休の「風狂」「風流」の意味を考察してゆきたい。評価は、演習時の発表と期末レポートによって判断する。

参考書等

平野宗浄『一休和尚全集』第一巻『狂雲集（上）』（春秋社）
 蔭木英雄『一休和尚全集』第二巻『狂雲集（下）』（春秋社）
 平野宗浄『一休和尚全集』第三巻『一休和尚年譜』その他（春秋社）
 飯塚大展『一休和尚全集』第四巻『一休仮名法語集』（春秋社）
 寺山旦中『一休和尚全集』別巻『一休墨跡』（春秋社）
 今泉淑夫『一休和尚年譜1. 2』（平凡社）

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	池田魯参	禪・仏教3必	4
演習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

天台教学思想を介して仏教の根本思想を学ぶ。
『摩訶止観』は中国隋代の天台智顛（538～597）によって講説され、当時の南北の地で活躍した仏教者たちの実践理論を踏まえ、独自の仏教理解を提示する。我が国では平安時代以後の日本仏教の展開において極めて重要な役割をはたした。禅宗の展開においても本書の学説は常に意識されている。我が道元も『摩訶止観』やその注釈書である『摩訶止観輔行伝弘決』などから種々の考えを参照している。多くの注釈研究書があるので、本書の仏教観を多角的に検討し、仏教思想の現代的意義を究明したい。

講義の内容・授業スケジュール

漢文で書かれた仏教教理学のテキストを読解できる学力を養うために、根気よく難字難語・専門用語などを一字一句辞書を使って調べて頂き、勉強の成果を当番を決めて発表してもらう。できたらその発表事項について問題点を質疑応答してもらう。

成績評価の方法

毎時限、休まず出席すること、演習の当番に当たったときは全力を傾注して責任を果たすこと、授業中に積極的に質疑応答をすること、等の平常の授業態度を見て評価する。

教科書

池田魯参『詳解摩訶止観』現代語訳編・定本訓読編・研究註釈編全三巻（大蔵出版刊）から講読箇所を適宜コピーして渡す。

参考書等

関口真大校注『摩訶止観』上下巻（岩波文庫）。
『天台大師全集』所収『摩訶止観』会本全五巻。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石井修道	禪・仏教3必	4
演習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

演習のテキストとして禅の究明に欠かせない『景德伝燈録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝燈録』は、それ以前の禅とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禅を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禅師が暗記するまで読まれたことは間違いないので、道元禅師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれる。この演習はその一つ一つを丁寧に読む。なお今年度は昨年度に続いて巻17以降の石頭系の著名な禅者を読む。

履修上の留意点

元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禅者一人一人を禅宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。
できる人は中国語の発音まで調べてくること。

成績評価の方法

演習は当番が担当する。また、その年度内に読んだ禅者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰5枚程度（ワープロ可）。

教科書

『景德伝燈録』中文出版社（京都） 2,880円

参考書等

入矢義高監修『景德伝燈録三』『同 四』禅文化研究所 各8,500円
入矢義高監修『禅語辞典』思文閣出版 9,785円
石井修道『中国禅宗史話』禅文化研究所 3,605円

専科
専門教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いし い きよ ずみ 石 井 清 純	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

近年、コンピュータにおける漢字表記法の発展に伴い、世界各国で仏典・禅籍の電子化が行なわれ、それがインターネットを通じて公開されるようになった。本演習は、それら数多くの電子化情報に対する知識を養い、その有効利用の技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期中は、ネットワークに関する基礎知識を養いつつ、インターネットサイトへのアクセス、検索方法を学ぶ。その後、仏教関係情報の集取；整理へと移行してゆく。
最終的には、インターネット上の情報の質的評価をし、適切な取捨を行いうる程度の知識を身につけてゆく。

履修上の留意点

課題の提出やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンを自身で保有しているか、所有する予定であること、またインターネットに関する基礎的な知識を有していることを希望する。

成績評価の方法

演習中の発表内容をもって評価する。

参 考 書 等

インターネット関連リファレンスブックが多数発売されているので、必要に応じて購入されたい。

そ の 他

コンピュータの基本操作に関する技術指導は、原則として講義中には行なわない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い どう たか とし 伊 藤 隆 壽	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

中国仏教の特色を知ることが目的とし、中国人の書いた諸文献を読むことにより、中国の人々は仏教をどのように受け止め、どのように理解したのかを明らかにし、さらに日本仏教との関わりも考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国仏教特有の現象ともいえる「靈魂の滅・不滅に関する論争」をテーマに、関係する文献を読み、その展開をたどり思想的意味をさぐる。

履修上の留意点

漢文のテキストを予習することが中心となるので、主体的積極的な学習を期待する。

成績評価の方法

授業における予習内容及び期末のレポートによって評価する。

教 科 書

テキスト等の基本資料はコピーを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いわ なが しろう せい 晴 岩 永 正 晴	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵聞解』（斧山玄トツ述）を中心に演習を行う。

履修上の留意点

大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。

成績評価の方法

平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。

教科書

『正法眼蔵注解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。

参考書等

『永平正法眼蔵菟書大成』17（大修館書店）・鏡島元隆『道元禅師とその門流』（誠信書房）・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』（春秋社）など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おお たに てつ お 夫 大 谷 哲 夫	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

『永平広録』（10巻）は、道元禅師の弟子たちが編纂した禅師の語録であり、禅師の名著である『正法眼蔵』以外では、特に禅師晩年の宗旨吐露の大演法はまさにここに極まるので、その現代的意義を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、祖山本『永平広録』を底本とし、それに亘山本『永平広録』を対比し、現今経眼しうる江戸期の宗学者の注解をも考究し、伝灯宗学の立場をも併せ勘案しながら、そこに展開される正伝の仏法の真意義を基礎的に順次参究する。

履修上の留意点

指定する演習部分を事前に熟読してくること。

成績評価の方法

年間二度のレポート提出と出席。

教科書

祖山本『永平広録』・亘山本『永平広録』。
演習箇所は適宜にコピーし配布する。

参考書等

『道元禅師 おりおりの法話』（曹洞宗宗務庁）
『祖山本 永平広録 考註集成』（上下二巻 大蔵出版）
『亘山本 永平広録 考註集成』（全一卷 一穂社）
『永平広録注解全書』（上中下索四巻 鴻盟社）
その他の必要文献は適宜コピーし配布する。

科目名			担当者名	配当学科	単 位
演	習	I	おかのべ かずお 和雄	禪・仏教3必	4
演	習	II		禪・仏教4選	

講義のねらい

漢文仏典に親しむ。訓読や現代語訳について基礎知識を得る。英訳も参照できるような読解力を養う。玄奘や義浄の偉業について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

『大唐大慈恩寺三蔵法師伝』『大唐西域記』『南海寄帰内法伝』から主要な節を選んで読む。原文はそれぞれ大正蔵経第50巻、第51巻、第54巻に収められている。すでに刊行されている訳文（英訳・和訳）を参照する。

履修上の留意点

意欲のある人・下調べをいとわない人の参加をのぞむ。玄奘や義浄に興味ある人、西域や南海の仏教事情に関心のある人でもよい。

成績評価の方法

試験は行なわない。詳細は出席と平常点で行なう。

教科書

テキスト・訳文・参考文献は学年度の初めに配布する。

その他

当番をきめ演習（テキストの解説）をしてもらう。

科目名			担当者名	配当学科	単 位
演	習	I	かたのやま いちろう 片山 一良	禪・仏教3必	4
演	習	II		禪・仏教4選	

講義のねらい

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えを正しく理解し、いわゆる「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容・授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた原始仏典を読む。本年はその最古層に属する『相應部』（サンユッタ・ニカーヤ）を選び、五蘊、縁起、中道などについて、またその教えをめぐる文化的背景を考える。

履修上の留意点

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は各自の課題に基づく発表により行なう。

教科書

テキストはPTS本（Sayutta-nikya）を使用。（コピー配布）

参考書等

南伝大蔵経『相應部経典』、その他。

その他

授業は講読・討論を主とする。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名			担当者名	配当学科	単 位
演	習	I	かなのざわ あつし 金沢 篤	禪・仏教3必	4
演	習	II		禪・仏教4選	

講義のねらい

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を何う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。

履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時尖鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	くまもと えい にん 熊 本 英 人	禪・仏教 3 必	4
演 習 II		禪・仏教 4 選	

講義のねらい

『明治維新神仏分離史料』を中心に、日本の仏教の近代について考える

講義の内容・
授業スケジュール

神仏分離（神仏判然）・廃仏毀釈は、法難の一例、歴史のひとつまとして通り過ぎることが多い。しかし、明治維新を境として、日本の仏教、さらには宗教は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。神仏分離・廃仏毀釈の前と後とでの、仏教および寺院の実態を分析する。あわせて、僧侶、宗学者および信仰者の意識の変化などもさぐってみたい。

まずはじめに、神仏習合の歴史を概観する。そのうえで、明治維新時の神仏分離の実態がどのようなものであったか、またそれが当時どう捉えられていたのかなど、『明治維新神仏分離史料』を軸として、関連史料もあわせて読み進める。テキストの神仏分離の事例については、受講者の興味も考慮して選択する。

成績評価の方法

平常点及びレポート。

教 科 書

『明治維新神仏分離史料』（東方書院刊、名著出版復刻）。テキストおよび参考史料は、必要に応じてコピーで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ さか き けい じゅう 小 坂 機 融	禪・仏教 3 必	4
演 習 II		禪・仏教 4 選	

講義のねらい

道元禅師の主著である『正法眼蔵』を精読することを通じて宗義の諸問題（修証観、坐禅観、行持観、經典観、心性観、因果観、嗣法観、清規戒法観、時空観、生死観等）を究明すること。

講義の内容・
授業スケジュール

取り上げる問題に該当する『正法眼蔵』の諸巻について各自が演習し、そのテーマの真義を正確に解明するよう努めて行く。

今年は、嗣法観を中心にして諸問題を考えて行くことにしたい。

履修上の留意点

演習する巻を、特に古註釈書を活用して各自解読に努め、道元禅師の説示の特徴を把握して貰いたい。

成績評価の方法

毎時間各自が演習に取り組んでいる姿勢とその成果とによって評価する。

教 科 書

『道元禅師全集』第一巻・第二巻（春秋社）。

参 考 書 等

『正法眼蔵註釈全書』（同刊行会一中山書房発行一）、岸澤惟安『正法眼蔵全講』（大法輪閣）。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	さ とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	禅・仏教3必	4
演	習	II		禅・仏教4選	

講義のねらい

日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらう。

履修上の留意点

資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法

担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教科書

特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建誓記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参考書等

大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆眞『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

その他

演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	た がみ たい しゅう 田 上 太 秀	禅・仏教3必	4
演	習	II		禅・仏教4選	

講義のねらい

本論書を読むに当り、仏性思想の原典の『涅槃経』を取り上げ、思想の原点を説明し、仏性思想の発展史を把握させたい。

講義の内容・授業スケジュール

漢文が読めるようになるまで読み方を指導し、仏教用語の独特な読み方を指導する。

履修上の留意点

予習・復習を必ず行い、必ず出席すること。

成績評価の方法

日頃の学習態度によって評価する。

教科書

大正蔵経所収の『仏性論』をコピーしたもの。

参考書等

授業中にその都度指示する。

科 専
門 教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なが い まさ し之 永 井 政 之	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

北宋を代表する禪者の一人、慧洪（1071～1128）の著わした『林間録』を読みます。北宋を代表する禪者の一人である慧洪は、その生涯において4度の下獄を経験するほどの波乱の人生を送ります。一方、その著作『石門文学禪』は「五山文学」の世界に大きな影響をあたえました。かくしてその評価はさまざまとなりますが、彼が「あるべき教え」と「人」を模索し続けたことは疑いありません。その集約が『林間録』にあります。

時には皮肉を込め、時には慨嘆しつつ語られる北宋禪の世界は、「灯史」に限定されない生き生きとした様相そのものを語っているのではないのでしょうか。

成績評価の方法

評価は当番に当たった際の発表や、ふだんの履修態度を総合的に評価します。

教 科 書

テキストは江戸時代の木版本をコピーして使用します。返り点や送りがなも付されているので、比較的読みやすいと思います。

参 考 書 等

参考書については授業中に適宜指示しますが「漢和辞典」は必ず用意してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	は せ べ はち ろう 長谷部 八 朗	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

仏教をはじめとした種々の宗教儀礼を構成する道具・言説・所作などのシンボリックな解釈、あるいは曼荼羅・絵巻・聖画・偶像などのイコノロジカルな分析を通して、宗教的な行為や造形物の背景にあるところの教えに裏打ちされた意味・価値の世界を探究する。

講義の内容・授業スケジュール

上記に関する主要な文献を取り上げ、検討する。また、履修者に関連テーマを与え、調べた内容をレポートしてもらい、それに基づいて議論する機会も持ちたい。

成績評価の方法

授業態度や提出物、出席状況などを総合して評価する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

専 門 教 育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	は れ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗禪戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあつて禪宗の戒律思想は頗る特異で、作家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禪戒について詳細に議論をする中で随所に教学的考察を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禪師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。

成績評価の方法

出席の状況ならびに平常点によって評価する。

教 科 書

適宜指示する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	まつ 松	もと 本	し 郎	禅・仏教3必 禅・仏教4選
演習	II				

講義のねらい

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、初期瑜伽行派の重要なテキストである『菩薩地』を、サンスクリット語（梵語）の原典で読む。

講義の内容・授業スケジュール

原典を履修者に和訳してもらう。

履修上の留意点

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価の方法

成績評価は、出席を含む平常点による。

教科書

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	みな 皆	がわ 川	ひろ 義	禅・仏教3必 禅・仏教4選
演習	II				

講義のねらい

救主釈尊の教えをふまえて、仏教の根本課題である悲と智と慈について考察する。悲は、すべての人々にある生死の苦悩であり、仏教の原点である。智は、釈尊の菩提樹下の悟りであり、人々を生死の苦悩より解脱させる道の発見である。慈は、生死の苦悩からの解脱道を思いやりとして人々に説示することであり、仏教伝道の力である。この演習では、仏教の悲と智と慈という視点より、人々の苦悩をふまえて、新しい癒しの仏教の創造をしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、悲と智と慈の人・釈尊の生涯と教えについて、概説する。その後、担当者を決めて、テキストを読み、研究を発表し、討論し、課題を明らかにする。

履修上の留意点

授業日数の三分の二以上出席すること。
次に、テキストの予習を必ずして、演習にのぞむこと。

成績評価の方法

各自の研究発表と学習態度（出席日数など）、それに学年末の試験の成績などを、総合して評価する。

教科書

増谷文雄編『仏教の根本聖典』（大蔵出版）

参考書等

増谷文雄著『仏陀』（角川書店）

その他

夏休みの後半ごろ、合宿研究会を行う。また、随時、仏教や禅の実践的学習をすすめる。

科
専
門
教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

「永平道元」(1200～53)は13世紀前半に活躍した禅僧である。彼の思想をはじめて現代人に紹介したのは、和辻哲郎の「沙門道元」(大正9年～12年)であったとされる。これ以来内外の知識人によってさまざまに読まれ続けてきている。このような作品はどのような特色をもつのか、まことに興味深いものがある。とりわけ宗門内に宗学として伝承されてきた講学はどのような性格をもつのか、この比較も大事な視点であろう。これまでの代表的な成果について総括してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

年代順に成果を追ってみる。とり上げる成果については教場で指示する。

履修上の留意点

その都度解説していく。

成績評価の方法

レポート作成による評価。

教科書

進行に合わせて指示する。

参考書等

上記に同じ。

その他

必要な点はその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	よし づ よし ひで 吉 津 宣 英	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

東アジア仏教における起信論思想の展開。

大乘起信論はインドで成立したのか、中国の仏教者が撰述したのかについて古来からの論争がある。いずれにしても、6世紀半ばに中国に出現してから、東アジア全域で大いに依用された。私は先ず大乘起信論の教学の原点を確認し、その上で曇延・慧遠・元曉・法蔵・宗密などの諸註釈書の研究へと進みたい。彼等はそれぞれ起信論を独自に裁断し、自分流の教学に合うものに仕立て上げている。また、中国の禅者達は頓悟の典拠として起信論を依用する。また、日本仏教では起信論は本覚思想の源流ともされた。東アジアの仏教を起信論を中心に、起信論思想の展開として考察してみたい。

成績評価の方法

各自のテーマを設けさせ、年間1回以上、15分の小発表を要請する。司会などもゼミ生に担当させる。発表内容の評価だけでなく、質疑応答に積極的に参加するかどうか重要なポイントである。1月定期試験前日締め切りで、10枚以上の小論文を課題として提出させる。年間の出席状況も勘案し全体的に評価するものとする。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	よしむら まこと 吉村 誠	禅・仏教3必	4
演	習	II		禅・仏教4選	

講義のねらい

中国仏教の諸問題を取りあげ、中国における仏教理解の特徴を考察する。具体的には、魏晋南北朝隋唐時代を中心に、実践教義や教学体系の発達、歴史意識や宗派意識の形成、儒教・仏教・道教の交渉、文物にみる仏教信仰の実態などについて検証する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は曇無讖（385-433）の事蹟について検討する。曇無讖は『涅槃経』を翻訳し中国に仏性思想を伝えた人物であるが、同時に『菩薩戒経』『優婆塞戒経』『金光明経』などの受戒や懺悔の儀礼に関する教典も多数翻訳している。授業では、曇無讖の伝記やその翻訳経典などを講読し、曇無讖の仏教が後世に与えた影響について考えてみたい。

履修上の留意点

真に漢文の読解力を身につけたいもの、中国仏教を広い視野から学びたいものの受講を期待する。平生から中国文化に広い関心を持つようにし、仏教を通じてあらわれた中国人の思惟や感性をとらえるよう努めてもらいたい。

成績評価の方法

平常点とレポートによる総合評価。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

その他

授業は輪読形式。演習は受講者自身の研究テーマを発見し、そのための適切な研究方法を探索するのに役立ててもらいたい。受講者の研究発表も予定している。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	よつや こう どう 四津谷 孝道	禅・仏教3必	4
演	習	II		禅・仏教4選	

講義のねらい

この演習では、大乘仏教における、特に中観思想における「空」について検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

『般若経』において説かれた「空」に論理的な根拠を与え、中観思想の礎を築いたのは、龍樹（ナーガールジュナ、紀元2-3世紀）という人物である。当演習では、この龍樹を開祖とする中観派の思想を中心に、大乘仏教を広い視野で考察してみたい。

履修上の留意点

この授業の受講生に関しては、必ずしもサンスクリット語やチベット語等の知識を前提としない。

成績評価の方法

年度末のレポートによって評価する。

科専
門
教
育

專科
專門
教育
目

Ⅲ 他学部履修科目

第Ⅰ開講部
他学部履修科目

他学部履修科目
第1A開
部講

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

上代文学研究Ⅰ〈小野寛〉	315
中古文学研究Ⅰ〈松岡智之〉	315
中世文学研究Ⅰ〈武田昌憲〉	316
近世文学研究Ⅰ〈近衛典子〉	316
比較文学〈満谷マーガレット〉	317
西洋思想史〈柴野博子〉	317
演劇概論〈阿部由香子〉	318
イギリス文学特講Ⅰ〈石原孝哉〉	318
イギリス文学特講Ⅱ〈高野正夫〉	319
イギリス文学特講Ⅲ〈岡崎寿一郎〉	319
イギリス文学特講Ⅳ〈中岡洋〉	320
イギリス文学特講Ⅴ〈富士川義之〉	320
イギリス文学特講Ⅵ〈丸小哲雄〉	321
アメリカ文学特講Ⅰ〈東雄一郎〉	322
アメリカ文学特講Ⅲ〈足田和人〉	322
演劇特講(イギリス・アメリカ)〈落合和昭〉	323
時事英語〈荒井良雄〉	323
地理思想史〈吉田敏弘〉	324
地形学〈小池一之〉	325
人口地理学〈大友篤〉	325
文化地理学〈小田匡保〉	326
応用地理学〈高木正博〉	326
現代地理学特論〈長谷川均〉	327
日本史特講Ⅶ〔近代〕〈小泉雅弘〉	327
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕〈趙軍〉	328
考古学特講Ⅲ〈休講〉	
日本仏教史Ⅱ〈松本信道〉	328
西洋文化史Ⅰ〈休講〉	
日本民俗学〈谷口貢〉	329
歴史哲学〈山口祐弘〉	329
産業・職業社会学〈休講〉	
マス・コミュニケーション論〈川本勝〉	330
社会福祉発達史〈林千代〉	330
国民所得論〈吉野紀〉	331
日本経済史〈橋野知子〉	332
中小企業論〈吉田敬一〉	333
社会政策〈光岡博美〉	334
教育経済論〈谷敷正光〉	335
日本経済論〈小林正人〉	337
アジア経済論〈鄭章淵〉	338
中国経済論〈小杉修二〉	339
アメリカ経済論〈瀬戸岡紘〉	339
ロシア・東欧経済論〈山縣弘志〉	340
商業政策〈番場博之〉	341
マーケティング〈曾我信孝〉	342

第1部
フレックスA
履修科目
開講部

行	弘龍	島	國	論	〈	二	資	宏	二	343
行	龍	島	堀	論	〈	二	資	宏	二	344
資	崇	栗	小	論	〈	二	資	宏	二	345
宏	佳	田	森	論	〈	二	資	宏	二	346
二	祐	川	石	論	〈	二	資	宏	二	347
	講	休	論	〈	二	資	宏	二	二	
造	紘	沢	古	論	〈	二	資	宏	二	348
講	講	休	論	〈	二	資	宏	二	二	
平	昇	子	金	論	〈	二	資	宏	二	349
修	修	西	法	〈	二	資	宏	二	二	349
子	京	島	五	法	〈	二	資	宏	二	350
子	乃	廣	門	法	〈	二	資	宏	二	350
子	か	野	北	史	〈	二	資	宏	二	351
か	か	野	北	法	〈	二	資	宏	二	352
博	外	岡	法	〈	二	資	宏	二	二	353
二	裕	野	中	論	〈	二	資	宏	二	354
二	二	野	中	論	〈	二	資	宏	二	355
男	訓	堀	小	学	〈	二	資	宏	二	356
苗	早	田	浦	史	〈	二	資	宏	二	356
雄	幸	井	富	法	〈	二	資	宏	二	357
哉	直	竹	三	学	〈	二	資	宏	二	358
桂	大	塚	大	論	〈	二	資	宏	二	359
講	休	講	論	〈	二	資	宏	二	二	
志	垣	廣	茂	論	〈	二	資	宏	二	360
勝	田	勝	山	史	〈	二	資	宏	二	360
昭	邦	昭	石	論	〈	二	資	宏	二	361
一郎	邊	惠	渡	論	〈	二	資	宏	二	362
夫	伸	夫	片	論	〈	二	資	宏	二	363
己	克	己	高	論	〈	二	資	宏	二	364
雄	井	徹	高	論	〈	二	資	宏	二	365
夫	和	夫	西	論	〈	二	資	宏	二	366
強	長	國	長	計	〈	二	資	宏	二	367
講	休	講	学	〈	二	資	宏	二	二	
講	休	講	学	〈	二	資	宏	二	二	
賢	山	晴	片	学	〈	二	資	宏	二	367
雄	原	義	萩	史	〈	二	資	宏	二	368
み	嶋	め	高	史	〈	二	資	宏	二	369
他	部	生	論	〈	二	資	宏	二	二	369
他	林	治	小	論	〈	二	資	宏	二	370
子	田	万	岡	劇	〈	二	資	宏	二	370
行	直	直	松	現	〈	二	資	宏	二	371
誠	本	誠	岡	語	〈	二	資	宏	二	371
講	休	講	論	〈	二	資	宏	二	二	

他学部履修科目
第1A開講部

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	372
社会思想史	〈休講〉		
国際経済論	〈徳永俊明〉	373
社会政策	〈休講〉		
価値格理論	〈荒木勝啓〉	374
国民所得論	〈休講〉		
銀行業論	〈休講〉		
中小企業論	〈吉田敬一〉	375
人口論	〈森岡仁〉	376
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	377
ヨーロッパ経済論	〈休講〉		
貿易論	〈古沢紘造〉	378
会計監査論	〈休講〉		
管理会計論	〈石川祐二〉	379
法思想史	〈河見誠〉	380
日本法制史	〈休講〉		
西洋法制史	〈北野かほる〉	381
経済法	〈岡田外司博〉	382
国際関係論	〈南山淳〉	382
地方自治法	〈富井幸雄〉	383
国際紛争解決法	〈王志安〉	384
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	384
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	385
経営財務論	〈高田光明〉	386
経営組織論	〈日野健太〉	387
公益企業論	〈園田哲男〉	388
管理会計論	〈猿山義広〉	388
会計監査論	〈阿部一人〉	389
日本経済論	〈休講〉		

他学部履修科目
第1A開部講

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究 I	おののひろし 小野 寛	禅・仏教	4

講義のねらい 万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール 万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点 講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法 数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書 小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究 I	まつおかともゆき 松岡智之	禅・仏教	4

講義のねらい 平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール ①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語のないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法 レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書 プリント配布。

参考書等 授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	たけだまさのり 武 田 昌 憲	禅・仏教	4

講義のねらい

無常観の美学に触れる—「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」で始まる、格調高くも、また人の心を打つ『平家物語』の調べを鑑賞。本作品は平安貴族の優美・鎌倉武士の勇壯さを併せ持ち、また、琵琶法師が語り歩いたという不思議な作品です。平清盛、木曾義仲、源義経、那須与一、などの英雄像。建礼門院、祇王、巴御前などの女性像を追って人間の生きる美しさをみます。

講義の内容・授業スケジュール

軍記の定義と流れ—軍記の発生・将門記。軍記の展開・陸奥話記。軍記の成長・保元物語・平治物語。軍記の達成・平家物語。
作品読解—祇園精舎。祇王—白拍子と遊び女・清盛の悪行。源氏揃え—源頼政の位置。橋合戦。木曾の最後—乳母子との愛・巴との愛。那須与一—扇の的美学
その後の軍記—太平記の世界・後期軍記の世界。

履修上の留意点

授業中の私語、遅刻は厳禁。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験またはどちらかレポート。また、教場レポート、出席状況、授業態度を含め、総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 角川文庫『平家物語』上・下 (角川書店)

参考書等

参考書その他は授業の都度、紹介・指示する。

その他

授業方法は講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	このえのりこ 近 衛 典 子	禅・仏教	4

講義のねらい

上田秋成の読本『兩月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読兩月物語』(和泉書院)

その他

講義

第7他学部履修科目
1A履修科目
部講目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	禅・仏教	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	<small>しば の ひろ こ</small> 柴野博子	禅・仏教	4

講義のねらい

前半は、西洋哲学史の古代・中世・近代を概観する。その後、現代哲学の一つとして生の哲学をとりあげたい。とくにデイルタイの解釈学とその現代的発展に力点をおき、解釈学が現代に生きる私達にどのような意味をもつか考えてみたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教 科 書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

他第
学部
履修
後開
科目
講部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	あ べ ゆ か こ 阿 部 由 香 子	禪・仏教	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多様であるのはなぜなのか？演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、演劇と近代化の問題、劇壇と文壇との関係、劇団や女優の問題などをとりあげていく。

講義の内容・授業スケジュール

近代、現代の日本演劇の流れを中心に講義するとともに、いくつかの作品の戯曲を読み、ビデオを鑑賞する時間も取り入れる。

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ足をはこんで観劇してもらう場合があるので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講がのぞましい。

成績評価の方法

前期は試験をおこない、後期はレポートの予定。出席点、平常点も加味する。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	い し はら こう さい 石 原 孝 哉	禪・仏教	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。
成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教 科 書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

そ の 他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	禅・仏教	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしちろう 岡崎寿一郎	禅・仏教	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出發として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

第1期開講
佛学
他学部履修科目

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	禅・仏教	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Bronte (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よし ゆき 富士川 義 之	禅・仏教	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。とくにロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性について文化史的背景のなかで述べる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・ *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ・ プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講 I	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	禅・仏教	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand 等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講 III	あし だ かず ひと 足 田 和 人	禅・仏教	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	禪・仏教	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell(1882-1948)、Alice Gerstenberg(1885-1972)、Engene O'Neill(1888-1953)、Thornton Wilder(1897-1975)、Tennessee Williams(1911-83)、Arthur Miller(1915-)、Shirley Jackson(1919-65)、Edward Albee(1928-)、Sam Shepard(1943-)、David Mamet(1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge(1871-1909)、Samuel Beckett(1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley(1894-1984)、Harold Pinter(1930-)等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	あら い よし お 荒 井 良 雄	禪・仏教	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper EnglishとRadio Englishを中心に、Current Englishを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current Englishと英米文化の背景を研究し、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『ニュース英語パワーボキャブル4,000語』(語研)1,900円

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テーブを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	よし だ とし ひろ 吉 田 敏 弘	禅・仏教	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教科書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参考書等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）
 織田武雄『地図の歴史』（講談社）
 織田武雄『古地図の世界』（講談社）
 葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）
 小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）
 水津一朗『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）
 野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	禅・仏教	4

講義のねらい 地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール 年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、
組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形
（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点 地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書 貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等 貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他 授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友篤	禅・仏教	4

講義のねらい 地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール 人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

成績評価の方法 定期試験による。

他学部
履修A1
開講部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田 匡保	禅・仏教	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木 正博	禅・仏教	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他学部履修科目
第1A開講部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 地 理 学 特 論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禪・仏教	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金が積み込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとらえて、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、講義のねらいの最後で述べた内容に関して講義の準備を進めているが、学生から積極的な希望がなければ省略する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の講義内試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、PCによるプレゼンを多用するが、基本的には講義形式の授業である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII (近代)	こいずみ まさひろ 小泉 雅 弘	禪・仏教	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

他フ第
学レ
部履A1
修開
科講
目部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X (近・現代)	ちよう 趙 ぐん 軍	禪・仏教	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参 考 書 等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史 II	まつ 松 もと 本 のぶ 信 みち 道	禪・仏教	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点とし、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆の視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで評価したい。

教 科 書

随時、プリントにて配布します。

参 考 書 等

速水侑『日本仏教史』古代編（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たにぐち みつぎ 谷 口 貢	禅・仏教	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	禅・仏教	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチェの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウェーバー）
6. ホモ・ファーベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構造（メルロ・ボンティイ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教科書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチェ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

他7第
学レ
部履A1
修開
科講
目講部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと まさる 川 本 勝	禅・仏教	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーション活動の現代的特質と社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
 ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 ・社会生活とコミュニケーション行動。
 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
 ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

特に用いない。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし ちよ 林 千代	禅・仏教	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとりたい。
 特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

第7 他学部履修科目
1A 開講部講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの 吉野 おさむ 紀	禪・仏教	4

講義のねらい

わが国の労働力は就業者 6,660 万人（平成 12 年）を数え、その内で約 5,600 万人の人が事業所等で雇用者として働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを 1 年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言って GDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは 4,400 万にのぼる家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の 1 年間の規模は平成 12 暦年の GDP によって 514 兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その 1 つ 1 つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5 回
GDP、GNP などの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成 13 年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4 回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第 3 講で活躍する IS 曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第 3 章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8 回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS 曲線と LM 曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現状との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第 9 章
4. 「金融政策、財政政策」……………4 回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP 出版）第 4 章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5 回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

他フ第
学部レ
履 A 1
修開
科目講
部

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2 回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス（上）』（第 6 版）（多賀出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 橋 の とも こ 子 橋 野 知 子	禅・仏教	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. 近代日本経済史へのアプローチー日本経済史を学ぶ意義
2. 幕末の経済と開港
3. 明治維新
4. 殖産興業と松方財政
5. 近代産業の発達／軽工業と重工業
6. 日清・日露戦争と日本経済
7. 第一次大戦と日本経済
8. 1920年代～昭和恐慌へ
9. 高橋財政
10. 戦時経済
11. 戦後経済改革
12. 経済復興
13. 高度経済成長
14. 高度成長の終焉～バブルの時代へ
15. 平成不況と現代経済

成績評価の方法

講義中の小テストと試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教 科 書

特に指定しません。毎回資料を配付します。

参 考 書 等

講義の中でその都度紹介します。

そ の 他

この講義は週2回おこなわれ半期で終了する集中科目です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	禪・仏教	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業員は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおかはくみ 光岡博美	禅・仏教	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光 や しき ただ みつ	禅・仏教	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、21世紀に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育「教育委員会の民営化」(一部ビデオ)
- (11) ブレア首相の経済と教育「オブテイングアウト」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5~6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40~50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)

他7第
学レ
部履
A1
修開
科講
目議
部

G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
A・グリーン, J・ハリスン『英国病』（新評論社）
揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	禅・仏教	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

定期試験（論述式）による。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちやん よん 章 淵	禅・仏教	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	こ 杉 修 二 すぎ しゅう じ	禅・仏教	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』（龍溪書舎）4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』（古今書院）3800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せ と お か 瀬 戸 岡 紘 ひろし	禅・仏教	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

他フ第
学レA1
部履開
修科講
科目部

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店 1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がん ひろ し 山 縣 弘 志	禅・仏教	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後とも独自に経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエンと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上で、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

第7他学部履修科目
1A開
部講義

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひろ ゆき 番 場 博 之	禅・仏教	4

講義のねらい

商業政策（流通政策）とは、流通に関わる企業の活動に対する公的な介入（政策）を意味する。日本ではグローバルスタンダードの名のもとに規制緩和が進んでいるが、欧米では必ずしもそうではない。日本の商業政策とは何か、どのような特徴を持つのかを本講義では考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は総論、後期は各論を行う。総論では流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の商業政策体系を解説する。各論では競争政策と出店政策を中心に説明する。また、講義の流れとは別に、テーマ講義を数回行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。詳細なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。必要に応じて小レポートを課すことも検討しているが加点の程度は高くない。

教 科 書

前期の総論では使用しないが、後期の各論では使用する予定である。書名等は後期の開講時に提示する。

そ の 他

講義ではOHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。

問い合わせ先、E-mail: h2banba@cuc.ac.jp、HP: <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マーケティング	曾 ^そ 我 ^が 信 ^{のぶ} 孝 ^{たか}	禅・仏教	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

- マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと取奪関係
- 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
- 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
- チャネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャネル（販売チャネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
- 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
- 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけでなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができているかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜書き解答等には厳しい評価となる。
2. 夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはず可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	くにしまひろゆき 國島弘行	禅・仏教	4

講義のねらい

経営管理論では、人間の集団労働に対する計画、組織、指揮、統制などの管理の問題を、主として企業において検討します。

講義では、経営管理の多面的側面を学び、企業の実践的課題の歴史的展開に従って進化してきた具体的内容と現代的課題とを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ロマン（社会的使命）とそろばん（所有、市場競争、利益）
- 2) 科学的管理の歴史的条件と理論的・技術的構造
- 3) フォード・システムと日本的生産システム
- 4) 職能論的管理論、組織構造論、日本の組織構造
- 5) 人間関係論、モチベーション、労働の人間化
- 6) 企業文化、日本の企業文化、企業倫理
- 7) 近代的管理論と意思決定
- 8) 経営戦略論と環境適応、戦略経営と創発的戦略
- 9) 情報ネットワーク経営、バーチャル企業、価値創造経営

現在、経営管理は、大量生産・販売・廃棄からの転換、グローバル化、情報ネットワーク化のもとで、革新が求められている。経営管理の基本を学ぶなかで、人間生活や市民生活を本当に豊かにする価値創造のための経営革新のあり方を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、数回の試験

教科書

國島他著『経営革新のアプローチ』（八千代出版）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 じゅう 龍 二	禪・仏教	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本の労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本の労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本の労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本の労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本の労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本の労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	小栗崇資	禅・仏教	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要で、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	禪・仏教	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

（財）財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし かわ ゆう じ 石川 祐二	禅・仏教	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜紹介する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるまわこうぞう 古 沢 紘 造	禪・仏教	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教 科 書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かねこしょうへい 金子昇平	禪・仏教	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にしおさむ 西修	禪・仏教	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART 3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『世界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	ごとう きょうこ 五 島 京 子	禪・仏教	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かど ひろ のりこ 門 広 乃 里 子	禪・仏教	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野かほる	禅・仏教	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

他フ第
レA1
学部履修
開講部
科目講部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北 野 かほる	禪・仏教	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法
 - (2) 二大法体系
 - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴
 - (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域
 - (2) 法源
 - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性
 - (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念
 - (2) 法システムにおける裁判の位置
 - (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論
 - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法
 - (2) 判決における法考察
 - (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠
 - (2) 内実
 - (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ
 - (2) 厳格な分離解釈の理論

第7他
学
部
履
修
課
目
1A
開
講
部
講
義

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

そ の 他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	<small>おか だ としひろ</small> 岡 田 外司博	禅・仏教	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なかのゆうじ 中野裕二	禪・仏教	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(1)」はフランスを対象とする。フランスの政治制度を概観した後、近年のフランス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 大統領も首相もいる国
2. 「半大統領制」
3. 「合理化された議会制」

第2章 社会編成原理としての共和制

1. フランス共和制の理念
2. 共和制の現実
3. 「フランス的統合」

第3章 移民問題

1. 移民の概観
2. 移民問題の顕在化
3. 移民問題とフランス共和制

第4章 国民戦線の台頭

1. フランスの新右翼
2. 新右翼の主張
3. 国民戦線台頭の意味

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
フランス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

- 田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年
畑山敏夫『フランス極右の新展開』国際書院、1997年
山口定・高橋進編『ヨーロッパ新右翼』朝日新聞社、1998年
奥島孝康・中村絃一編『フランスの政治』早稲田大学出版部、1993年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
長部重康『変貌するフランス』中央公論社、1995年
渡邊啓貴『フランス現代史』中央公論社、1998年
本間圭一『パリの移民・外国人』高文研、2001年
三浦信孝編『普遍性か差異か』藤原書店、2001年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	禅・仏教	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(2)」はイギリスを対象とする。イギリスの政治制度を概観した後、近年のイギリス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 複合国家から準連邦国家へ
2. 議会優位

第2章 政党政治——サッチャリズムからブレアの「ニュー・レイバー」へ

1. 準備作業——概念、理論の確認
2. イギリスの伝統的政党制
3. サッチャリズム
4. ブレアの「ニュー・レイバー」

第3章 北アイルランド紛争

1. 北アイルランド紛争の歴史的経緯
2. 北アイルランド紛争の基底

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
イギリス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらおう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
梅川正美『イギリス政治の構造』成文堂、1998年
山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』筑摩書房、1998年
舟場正富『ブレアのイギリス』PHP 研究所、1998年
自治・分権ジャーナリストの会編『英国の地方分権改革』日本評論社、2000年
豊永郁子『サッチャリズムの世紀』創文社、1998年
川勝平太／三好陽編『イギリスの政治』早稲田大学出版部、1999年
ポール・スノードン／大竹正次『イギリスの社会』早稲田大学出版部、1997年
鈴木良平『アイルランド問題とは何か』丸善、2000年
M・イグナティエフ『民族はなぜ殺し合うのか』河出書房新社、1996年
富田正史『「多文化主義ネーション」に向けて』晃洋書房、1996年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。
前期の「ヨーロッパ政治論(1)」の第一回目の授業に出席し、受講許可書を得た上で、履修届に記入し、登録して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのお 小堀訓男	禅・仏教	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦田早苗	禅・仏教	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート——7~8×400字——は任意ではあるが、年5~6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禅・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	み たけ なお や 三 竹 直 哉	禅・仏教	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2003年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2002年度用です。2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
 他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせっかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	禪・仏教	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1 国家論の課題 2 幕末政治過程 3 幕末政治思想（水戸学、国学） 4 公議政体論 5 太政官制・内閣官制 6 大日本帝国憲法 7 法典整備・司法制度 8 統帥権・戒厳（令） 9 地方官官制 10 自由民権運動 11 帝国議会 12 財政制度 13 教育勅語 14 国家神道 15 社会主義運動 16 大正デモクラシー 17 天皇機関説 18 天皇制ファシズム 19 統制経済 20 まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	もがきひろし 茂垣広志	禪・仏教	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	やまだまさる 山田勝	禪・仏教	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなぞが くに あき 石名坂 邦 昭	禪・仏教	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	禅・仏教	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたがりのぶお夫 片桐伸夫	禅・仏教	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆ 提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

* テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。
☆ 質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	禪・仏教	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹雄	禅・仏教	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムの的なもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお 西村和夫	禪・仏教	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしていきます。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつと紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	なが 国 強 <small>きょう</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：季節指数、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定
 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	禅・仏教	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声／音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
 なお、概要は次の通りです。
 ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
 ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
 ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

他フ第
 学レA1
 部履開
 修科
 目講部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	萩原 義雄	禅・仏教	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』(国宝真福寺本) & 最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について(現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記)
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』(書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』)について
- 第6回の講義内容 『土左日記』(爲家本と定家本との異なり)について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』(人物系図・京大付属国書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察)
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について(源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族)
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書き込むことを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。[192頁]
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎(浦島伝説・浦島太郎伝説の謎)・ものくさ太郎・鉢かづき・酒呑童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。[260頁]。
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』[362頁]
- 第24回の講義内容 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』 について

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

『講座国語史』第1巻から第6巻(大修館)
『日本語の歴史』全7巻(平凡社)
紀田順一郎著作集第4巻『日本の書物』

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	高嶋 めぐみ	禅・仏教	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	菌部 幹生・井上 優 佐藤 憲昭・町田 尚子 末藤美津子・内藤 寿子 藤田 和美	禅・仏教	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月16日(水) オリエンテーション

菌部幹生

① 近代文学とタブー 《4/23、5/7、5/14、5/21 (4回)》

井上優

② タブーと宗教 《5/28、6/4、6/11、6/18 (4回)》

佐藤憲昭

③ 言語とタブー 《6/25、7/2、7/9、7/16 (4回)》

町田尚子

④ 教育におけるタブー 《9/17、9/24、10/1、10/8 (4回)》

末藤美津子

⑤ メディアとタブー 《10/22、10/29、11/5 (3回)》

内藤寿子

⑥ 慣習のタブー 《11/12、11/19、11/26、12/3 (4回)》

藤田和美

◎12月10日 まとめ

菌部幹生

◎1月8日 レポート提出(資料室)

菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/16)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

他第
学部
履修
科目
開講
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林 治・鈴木 裕子 <small>こばやし おさむ すずき ひろこ</small> <small>そのべ みるお まつだ なおゆき</small> 蘭部 幹生・松田 直行	禅・仏教	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者

- は、次の通りである。
- ① 近現代文学の中の音と音楽 (4/10, 4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22, 5/29) 小林治
 - ② 説話文学における音 (6/5, 6/12, 6/19, 6/26, 7/3, 7/10) 蘭部幹生
 - ③ 歌の近代史～J-POPへの道程 (9/18, 9/25, 10/2, 10/9, 10/16, 10/23, 10/30) 松田直行
 - ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から— (11/6, 11/13, 11/20, 11/27, 12/4, 12/11) 鈴木裕子

履修上の留意点

最初の授業時 (4/10) にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	岡田 万里子 <small>おか た まりこ</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

演劇を実演された戯曲であると坪内逍遙は定義したが、実際にわれわれが演劇と考える作品には戯曲に根ざしたこの演劇観で把握しきれない面があるのではないだろうか。今日古典的な演劇のジャンルにあげられる能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃には、出演者の極度な身体表現あるいは舞台上の仕掛けや象徴性、観客と一体化した場の創造などが見られ、これらは「古典」「戯曲」「演劇」といった近代的概念では理解しづらいものである。「戯曲」を超越したこのような表現こそが近代以前の演劇を支配していたともいえよう。本講義では主として歌舞伎を扱う。当然のことながら、歌舞伎を通して、「演劇」とは何か、「戯曲」とは何か、「古典」「伝統」といった問題について、あらためて考えていくことになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

あることがらを考える際、その歴史をひもとくことはひとつの有効な方法である。歌舞伎は、今日では日本を代表する文化・技術として、もっとも高尚な趣味のひとつに数えられていると

履修上の留意点

いってよい。しかし、多くの芸術活動が既存の芸術への否定と新しさへの混沌とした欲求から生まれるように、歌舞伎もまたその例にもれない面が見られる。前期は、歌舞伎という演劇ジャンルの誕生から今日にいたる変遷を学び、後期は演技、演出など特徴と考えられていること

成績評価の方法

期末レポートと出席による。

教科書

古井戸秀夫、河野多恵子『歌舞伎』（新潮古典文学アルバム 22）（新潮社）1,300円

参考書等

教場において指示する。

第7他
学部
1A履修
開講
科目
部講目

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつだ なおゆき 松田直行	禅・仏教	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストはまだ未定だが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

成績評価の方法

レポートの提出と出席状況により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	おかもと まこと 岡本誠	禅・仏教	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば"Current English"ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

他7第
学レ
部履A1
修開
科講
目部

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	禅・仏教	4

講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集团的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、裏を返せば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるてだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といいかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでも使い捨てのサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、eコマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

教 科 書

1. 大吹勝男著『流通過程の基礎理論』（梓出版社、4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	とく なが とし あき 徳 永 俊 明	禪・仏教	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか？」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ（予定）〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——（「援助」と多国籍企業）・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は、読書ノート（2～3回）および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。（追・再試験は行ないません）

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらきよしひろ 荒木勝啓	禅・仏教	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつきまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	禪・仏教	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしている（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	禪・仏教	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬戸岡 <small>せとおか</small> 紘 <small>ひろし</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ
 た授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえか
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資
 本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	禪・仏教	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り、授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	禅・仏教	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会计学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜紹介する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	かわみ まこと 河 見 誠	禅・仏教	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀の枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想(ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス)、
中世ローマ・キリスト教の法思想(キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス)
近代：自然権・社会契約論(ホッブス、ロック、ルソー)、ドイツ観念論(カント、ヘーゲル)
近代から現代へ：社会主義法思想(マルクス)、新カント派法哲学(ケルゼン、ラートブルフ)、新しい自然法論(コーイング、カウフマン、フィニス)、現代の法思想状況について

履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること(<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>)。

成績評価の方法

定期試験(後期終了後1回)を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

参考書等

田中成明他『法思想史(第2版)』(有斐閣Sシリーズ、1997年)1,700円。
三島淑臣『法思想史(新版)』(青林書院、1993年)5,000円
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	^{きた} の 北 野 かほる	禪・仏教	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おがだとしひろ 岡田 外司博	禅・仏教	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	みなみやまあつし 南山 淳	禅・仏教	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

教科書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

文献リストを配布する。

フ他学部履修科目
B開講

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禅・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	禅・仏教	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもつまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	禅・仏教	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかという学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。

参考書等

同様に開講時に指定する。

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 城 徹	禅・仏教	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコン内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2003年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹『情報と企業経営の理論的諸問題』日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹『組織の経済理論の基礎構造』日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	禪・仏教	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを旨とする。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参 考 書 等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ひのけんた 日野健太	禅・仏教	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うマイクロ組織論に大別される。ここでは、マイクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の教回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对应しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト80% 小テスト等のウエイト20%
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	<small>その</small> 園 <small>だ</small> 田 <small>てつ</small> 哲 <small>お</small> 男	禪・仏教	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教 科 書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	<small>さる</small> 猿 <small>やま</small> 山 <small>よし</small> 義 <small>ひろ</small> 広	禪・仏教	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

他学部履修科目
フレキシブル開講

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	禅・仏教	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）(1)
 - ①監査の必要
 - ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - ①監査の目的
 - ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査
 - ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - ①必要性
 - ②生成と展開
9. 監査基準（2）
 - ①意義
 - ②体系
 - ③一般基準
 - ④実施基準
 - ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試算
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調査
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

- 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山榎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

他学部履修科目
フレB開講

IV 短大仏教科開設科目

短大仏教科
開設科目

開設科目
短大仏教科

IV. 短大仏教科開設科目

インド・チベット仏教演習〈木村誠司〉	395
中国仏教演習〈奥野光賢〉	395
仏教思想演習〈袴谷憲昭〉	396
仏教文学演習〈石井公成〉	396

開設科目
短大仏教科

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド・チベット仏教演習	木村誠司	禅・仏教	4

講義のねらい 本年度は、『俱舎論』と『中論』というインド仏教の代表的論書を対比しながら講読する。

成績評価の方法 レポートによって行う。

教科書 テキストや資料はコピーして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教演習	奥野光賢	禅・仏教	4

講義のねらい 「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成を主たる目標とする。

講義の内容・授業スケジュール わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標とした。今年度は本書冒頭より読み始める。最初に講義形式で基礎的事項に関する説明をなした後、毎週当番を決めて演習形式で授業を進める。

履修上の留意点 演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なう。受講生の人数等にもよるが、授業の進め方や内容は適宜変更していく。

成績評価の方法 純然たる演習科目なので、成績評価は通常点のみの評価となる。

教科書 鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）

参考書等 授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教思想演習	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	禪・仏教	4

講義のねらい

この演習は、仏教文献、特に、日本のそれを通して、仏教思想を解明せんと設けられたものである。その目的のために、当面は、源信（942-1017）に先立つことほぼ一世紀前に活躍した我が国の安然（841-?）の著わした『真言宗教時義』を講読する。本書の四一教判によって、仏教の「全一思想」ともいうべき「本覚思想」が我が国においても確立されたと見做しうるのであるが、その「本覚思想」とはなにかを、この思想のその後の日本仏教へ与えた影響の大きさに鑑み、考察せんとするのが、本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

原漢文を最初より順次講読していく。

履修上の留意点

漢文の読解が苦手なものであっても、「本覚思想」のなんたるかを自ら吟味してみようと思うものであれば歓迎したい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

安然『真言宗教時義』、大正新修大蔵経、第75巻、374頁上-450頁上所収のものをテキストとする。入手困難なものにはコピーを用意したい。

参考書等

国訳一切経、和漢撰述部、諸宗部18。末木文美士訳『安然・源信』（大乘仏典、中国・日本篇19、中央公論社、1991年）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文学演習	いし い こう せい 石 井 公 成	禪・仏教	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答によるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

V 「日本語」・「日本事情」科目



〔日本事情〕
〔日本語〕

V. 日本語・日本事情科目

(対象:外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	401
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	401
日 本 語	II	〈佐野典子〉	401
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	402
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	402
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	403
日 本 語	IV	〈石川守〉	403
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	403
日 本 語	V	〈石川守〉	404
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	404
日 本 語	VI	〈石川守〉	405
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	405

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	405
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	406
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	407
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	407
日本事情 V	〔社会〕	(前期)	〈李 妍 炎〉	408
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈中野 裕二〉	409
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈奥原 淳子〉	409
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	410
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈吉田 敬一〉	410
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈鈴木 幸毅〉	410

「日本事情」
「日本語」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	さ の のり こ 佐 野 典 子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	た た ら あ き こ 多田羅 哲 子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要と思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	さ の のり こ 佐 野 典 子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	湯 村 礼 子 <small>ゆ むら らい こ</small>	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	石 川 守 <small>いし がわ まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教 科 書

授業中に配布する。

参 考 書 等

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	湯 村 礼 子 <small>ゆ むら らい こ</small>	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	たたら あき こ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
・現在マスコミ等によく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いしかわ まもる 石川 守	全学科	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	たたら あきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。

文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I (前期) 〔地理〕	すやま さとし 須山 聡	全学科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はゼミ形式を進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

「日本語」
「日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅱ (前期) 〔自然〕	し みづ よし かず 清 水 善 和	全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし。

参 考 書 等

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ (後期) 〔歴史〕	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ (前期) 〔思想〕	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V (後期) 〔社会〕	李 妍 炎 り けん えん	全学科	2

講義のねらい

この講義では、一般的に「日本的」「日本型」「日本らしい」と言われるような社会事象を発見し、その意味を探り、それについて理解し、検討していくことを目的とする。それによって、受講生とともに日本社会への理解を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

新聞記事や映像などを素材として、受講生が「日本的」「日本型」「日本らしい」と思うようなものを選んで、授業で発表する。その発表をベースにコメントや議論を加えて授業を進めていく。大まかなテーマとスケジュールは以下のとおりである。

1. ガイダンス
2. 日本の政治 (政治家)
3. 日本の経済 (企業)
4. 日本の外交 (国際交流・国際援助)
5. 日本の教育 (学校・子育て)
6. 日本の若者
7. 日本の芸能
8. 日本の事件簿
9. 日本の事件簿
10. 日本の暮らし
11. 日本の暮らし
12. ディスカッション: 「日本的」と「日本らしい」から考える日本社会論
13. まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点 (出席) とレポートによる。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	なかの ゆうじ 中野裕二	全学科	2

講義のねらい

この講義は、日本語を母語としない学生を対象にして、日本の政治制度を概観し、現在の日本政治の争点と課題を理解することを目的とする。
項目ごとにまず講義を行い、そのうえでその項目に即したテーマを設定し、受講生の間で討論をして内容の理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる項目は次のとおり。
1. 国会
2. 政党政治
3. 首相
4. 官僚
5. 地方政治
6. 政治参加

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。できるだけ双方向型の授業にしたいと考えている。

成績評価の方法

①出席、②質問、発言など授業への積極的参加度、③期末試験を総合的に評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。毎回プリントを配布するので、そのプリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

適宜紹介する。

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ(後期) 〔文学〕	おくはら じゆんこ 奥原淳子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。
テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。
第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・レポート

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ(後期) 〔文化・芸術〕	あかばゆきこ 赤羽由規子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ(前期) 〔経済〕	よしだけいいち 吉田敬一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に敗れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本

履修上の留意点

難しい経済学の前習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	すずきこうき 鈴木幸毅	全学科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教科書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

VI 随 意 科 目

随意科目

VI. 随意科目

英語(海外演習)	415
中国語(海外演習)	415
日本宗教文化史〈小川順敬〉	415
民間信仰論〈谷口貢〉	416
書道史〈那須隆吉〉	416
編集実務〈長谷川孝〉	417

科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	お <small>がわ</small> とし <small>ゆき</small> 小 川 順 敬	禅・仏教2年次～	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教 科 書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口貢	禪・仏教2年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道史	那須隆吉	禪・仏教2年次～	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社） 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	ほせがわ たかし 長谷川 孝	禅・仏教2年次～	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した（自分なりに感じ気づき考えた）ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と授業で書く短文（感想文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

